

≡側室 台本

●第1章

白「お殿様、失礼いたします。」

艶「失礼いたします、お殿様。ふふふ。

本日より、お殿様の精通役として勤めさせていただきます、

艶美と申します。」

白「同じく、本日よりお殿様の精通役を勤めさせていただきます、

白雪と申します。

お殿様の…ひいてはこの国の将来を決める、大事なお役目…。

しっかりと果たさせていただきます。

以後、お見知りおきを。」

艶「とまあ、堅苦しい挨拶はこのくらいにして…。

ねえねえ、お殿様っ♪ 私たちのこと、覚えてます？

私も白雪も、何度か身の回りのお世話とかで、

顔合わせたことあるんだけど…。」

白「こら、艶美っ。殿の前なのですよ。そのような態度はおやめなさい。

第一…このお城には、百近い人数のお世話役がいるのです。

私たちのことなど、覚えていらっしゃるわけが…。

え？」

艶「覚えててくれてるの？ あはっ♪

嬉しいなあ〜♪ ありがとう、お殿様♪ んふふ…♡

ねえねえ、お殿様♡

そっち…行っている？」

白「え、艶美…っ。だから、そのような軽い態度は…っ。

え、お側に行ってもよろしいのですか？

で、でしたら、私も…っ♡」

艶「んふふ…♡ お殿様あ…♡

ねえねえ、なんで私たちのこと、覚えててくれたの？

私たちが、お世話役の中でとびっきりかわいいから？ なぁんて…♪」

白「…な、なるほど…。まさしく、そのような理由で…。

いえ、大変うれしく思います…。

お殿様に、そんな風に思っていただけで…♪

光栄でございます…♪」

艶「でも、それだけじゃあないよねえ…？

お殿様が私たちのこと、覚えてた理由…。

私たちが、お殿様に、ちゃあんと覚えてもらえるように…。

このやらしい身体、何度も見せつけるようにしてたからだよね？

大きいおっぱい、まあるいお尻…♪

お殿様の目に入るよう、わざとらしく押し付けたり、

振り振りしたりしたからねえ…♪」

白「そ、そのようなことを、いつの間に…!!？

はしたない…っ。」

艶「でもそのおかげで、私も白雪もちやんと覚えてもらえたでしょ？

私が谷間見せつけたり、お尻が見えるようにかがんだりするだけで、

一緒にいる白雪のお尻やおっぱいも、気になっちゃうもんねえ♪

んふふ…♪」

白「う、く…。それは…そうかもしれませんが…。」

艶「本当に、覚えててくれてありがとね、お殿様♡

私たち、最近お殿様のお世話に全然選ばれなくてねえ。

館のお掃除とか、お洗濯とか、その他もろもろの雑用ばかりで…。
退屈してたんだあ。」

白「こら、艶美。

お掃除やお洗濯も、いくら雑用だろうと大事なお務めです。

そういう言い方は控えなさい。」

艶「だってえ…。白雪だってそうでしょ？

本当は毎日だって、かわいいお殿様のお側で、

いつまでも見つめていたい…。

見守っていてあげたいって…思ってたんでしょ？」

白「そ、それは、そうですが…。

と、とにかく、その馴れ馴れしい態度や言葉遣いは改めなさい。

お殿様に失礼ですから。」

艶「はいはい。わかりました。

んふふ…。ごめんね、お殿様。騒がしくしちゃって。

それじゃあ早速…始めようか♡」

白「ええ…。慌ただしくしてしまい、申し訳ありません。

お布団に入って、始めましょうか。

お殿様の、初めての…精通式…♡」

艶「私たちのいやらしい身体…。

お殿様も大好きな、おっぱい、お尻、ふともも…。

それに、おまんこ…♡」

白「お殿様のかわいらしいおちんちんで、

たっぷりと…味わってください♡」

艶「(吐息たっぷり) 初めてののお射精…♡

楽しみましょうね、お殿様♡ ふふふふふ…♡」

白「(吐息たっぷり) 初めてののお射精…♡

楽しみましょうね、お殿様♡ ふふふふふ…♡」

● 第2章

艶「それじゃあ、お殿様…♡」

白「おちんちん、失礼いたしますね…♡」

艶「こゝら♡ 動いちゃだゝめ♡

おちんちん、お外に出せないでしょ?」

白「大丈夫ですよ♡ 恥ずかしくありませんから…♡

さあ、おちんちん、お外に…♡」

艶「あはっ♡ 出てきたあ♡ これがお殿様の…♡」

白「ふふ、さすがお殿様…♡

ご立派なおちんちんでございます♡

これなら問題なく、子作りも行えるでしょうね…♡」

艶「うん♡ でもその前に、まずは精通…♡

お殿様が子供をきちんと作れるように、

タマタマから精子、出せるようにしないとね…♡」

白「艶美の言うとおり…♡

まずはおちんちんから、子種汁が出せるようにいたしましょうね♡

です…♡」

艶「は〜あ…♡」

白「は〜あ…♡」

艶「(耳舐め 5秒)」

白「(耳舐め 5秒)」

艶「お殿様のお耳、ぺろぺろしながら…♡」

白「おちんちんを、しこしこ♡ してさしあげますね♡」

艶「(耳舐め 5秒)」

白「(耳舐め 5秒)」

艶「ほうら、お殿様♡

どうです？ 私たちの、耳舐め♡

お耳の奥までねっとりペロ入れられて、

ちゅるちゅる、にゅるにゅる…♡

気持ちいいでしょ？ あは…っ♡」

白「(耳舐め 5秒)」

白「お耳を舐められながら、おちんちん、しこしこ…♡

おちんちん、気持ちいいですか？

この感覚、この快感…しっかりおちんちに覚えさせてくださいね♡

このしこしこの気持ち良さが、すべての基本になりますから…♡」

艶「(耳舐め 5秒)」

艶「私たちがいるから、基本的にそんなことはないだろうけど…♡

お殿様一人でおちんちんしこしこする時も、こうするんだよ？

おちんちん優しく握って、ごしごおし♡ってね♡」

白「(耳舐め 5秒)」

白「そうすれば、タマタマの方からお熱い汁が昇ってきて…。

終いには、そのお熱い精液が、びゅー…と、お出になりますからね♡」

艶「それが射精だよ♡ お射精ぴゅっぴゅだよ♡

ちゃあんと覚えておこうねえ…♡」

白「お射精するのはとっても気持ちがよく…♡

そして、子作りにとって、とっても大事なことですからね♡

ふふふ…♡」

艶「(耳舐め 5秒)」

白「(耳舐め 5秒)」

艶「おちんちんしこしこ♡ おちんちんしこし…♡

お手々でおちんちん、いいこいいこお…♡」

白「おちんちんいっぱい甘やかして、しこしこしこし…♡

おちんちん、気持ちいい、気持ちいい…♡」

艶「(耳舐め 5秒)」

白「(耳舐め 5秒)」

艶「あは♡ かわいい声、出ちゃってる♡

おちんちん気持ち良くて、声、止まらないんだ…♡」

白「いいんですよ…♡

気持ちいい時は、いっぱいそういう声を出す者ですから♡

私たちもお殿様に気持ち良くされたら、そういう声が出てしまいます♡」

艶「お殿様が精通した後…いっぱいおちんちんの快感、

楽しんだ後…♡

この立派なおちんちんで、私たちのこと、感じさせてもらうから…♡」

白「その時は、今、お殿様が出しているような、

あん♡ あん♡ という声を…♡

お殿様に聞かせてさしあげますからね…♡」

艶「(耳舐め 5秒)」

白「(耳舐め 5秒)」

艶「んふ…♡

タマタマうずうずしてきてる…♡

初めてのお射精、昇ってきてるんだねえ…♡

いいよお、ほうら…♡ いっぱいぴゅっぴゅ出来るように、

タマタマも、撫で撫でてあげる…♡

ほうら、おちんちんしこしこ♡ タマタマ撫で撫でえ…♡

おちんちんもタマタマも、がんばれ♡ がんばれえ…♡」

白「(耳舐め 5秒)」

白「出ちゃいそうですか…？」

いいですよ…♡ 我慢しないでくださいね♡

最初のお射精…♡ 人生でたった一度の、精通お漏らし…♡

一番気持ちいいおちんちんぴゅっぴゅ…♡

しっかり味わってくださいね…♡」

艶「(耳舐め 5秒)」

艶「(耳舐め 5秒)」

白「(耳舐め 5秒)」

艶「ほうら、余計な力は抜いちゃって…♡

おちんちにだけ、意識を集中…♡

金玉から昇ってきてる、あったかほかほかお汁、

おちんちん通しちゃうねえ…♡」

白「いいですよお…♡ はあい、はあい♡

私たちのお手々の中で、おちんちんどっぴゅう…♡

精通お漏らしで、大人になりましたようねえ…♡」

艶「(耳舐め 5秒)」

白「(耳舐め 5秒)」

艶「はあい…♡ お射精どうぞお…♡」

白「はあい…♡ お射精どうぞお…♡」

艶「びゅっ、びゅっ、びゅっ、びゅー…♡」

白「どぅっ、どぅっ、どぅっ、どぅっ、びゅるるう…♡」

艶「(耳舐め 5秒)」

白「(耳舐め 5秒)」

艶「出てますよお…♡

お殿様の、初めてお射精…♡」

白「今までずっと、金玉の中に溜まってきた、新鮮オス汁…♡

初めてののお出かけです…♡」

艶「びゅー…♡　びゅー…♡

止めちゃダメだよお…♡

おちんちに任せて、お射精、続けてねえ…♡」

白「おちんちんしこしこ、していてあげますから…♡

長あい精通お漏らし、楽しんでくださあい…♡」

艶「(耳舐め　5秒)」

白「(耳舐め　5秒)」

艶「っはあ…♡　んふふ…♡

おちんちん、まだびくびくしてる…♡」

白「精通お射精、お疲れさまでした…♡

いかがですか？　これが射精…♡

おちんちんぴゅっぴゅでございます♡

艶「すっごく気持ちいいでしょ…？」

これから何度も、何度も、何度も味わえちゃう…♡

しかも、もおっと気持ちいいお射精を…♡」

白「お手々でのお射精は、あくまでも基本…♡

これからもっと気持ち良くなって、最高に幸せな気分になれるお射精…。

楽しんでもらいますからね…♡」

艶「だけどもまずは、その前に…♡

もう一回、お手々でぴゅっぴゅ、しちゃおうね♡」

白「精通したての敏感おちんちんに、これ以上の快感を教え込んだら…。

弱いおちんちんになってしまいかねませんから♡

お殿様のおちんちは、強くあらねばなりません♡」

艶「これから何人って女の人と、子作りすることになるからね…♡

つよつよおちんちんになるために、もう一回、しこしこどっぴゅん♡

しちゃおうねえ…♡」

白「はあい、しこしこしこしこ♡

おちんちん、よしよし…♡ ふふふ…♡」

艶「ふふ…♡

「回ぴゅっぴゅできたから、ちょっとだけ、

おちんちんも落ち着いたかな？

なら…もっとドキドキさせてあげる♡」

白「今度は耳舐めだけではなく…♡

私たちの、爆乳おっぱい…♡

お殿様のお身体に、押し付けて…♡ ほぅら…♡」

艶「あったか柔らかかおっぱいに包まれながら、おちんちん、

気持ちよくなろうねえ…♡」

艶「(耳舐め 5秒)」

白「(耳舐め 5秒)」

白「ふふふ…♡

おっぱいむにゅむにゅ♡ おっぱいもちもち…♡」

艶「身体を両側から、あったかおっぱいで挟まれて、

おちんちんしこしこ…♡

恥ずかしくて気持ち良くなって、もう最高だねえ…♡」

白「(耳舐め 5秒)」

白「でも、もう恥ずかしがる必要はありません…♡

無事に子作りできる身体となったお殿様でしたら、

このおっぱいはすべて、お殿様のもの…♡」

艶「(耳舐め 5秒)」

艶「子作りの最中も、そうでなくっても…♡

お殿様なら、いつでもおっぱい、触って、揉んで、

吸い付いちゃってもいいからね…♡」

白「お恥ずかしいですが、例えば、人前であろうとも…♡

いつでも私たちのお召し物に手を突っ込んで、

もみもみ♡ むにゅむにゅ…♡

していただいていいですからね…♡」

艶「(耳舐め 5秒)」

白「(耳舐め 5秒)」

艶「あは…♡ おちんちん、また熱くなった…♡

おっぱい、自分のものになったんだって、興奮したんだ…♡

うんうん♡ そうだよお…♡ それでいいんだよ、お殿様…♡

おっぱいも、太ももも、お尻も、おまんこも…♡

これから全部、お殿様のもの…♡」

白「(耳舐め 5秒)」

白「私たちの、ドスケベでいやらしい肉体はすべて…♡

お殿様がおちんちん気持ち良くするために、お使いくださいね…♡

私たちに拒否権はありません♡

いえ…拒否することなど、ありえません♡

私たちはお殿様のことが、大好きですから…♡」

艶「(耳舐め 5秒)」

艶「(耳舐め 5秒)」

白「(耳舐め 5秒)」

艶「お殿様…だあい好き♡

好き♡ 好き♡ だあい好きだよお…♡」

白「愛しております…♡

お殿様…♡ お慕いしております…♡

一生、添い遂げさせていただきます…♡」

艶「(耳舐め 5秒)」

白「(耳舐め 5秒)」

艶「はあい…♡ おちんちん出ちゃうんだねえ♡ いいよお、いいよお♡

またたつぷり、ぴゅっぴゅしようねえ…♡」

白「身体をおっぱいに包まれて、

おちんちん、柔らかお手々で包まれて…♡

おちんちんどぴゅどぴゅ♡ お射精びゅるるっ…♡

しましようねえ…♡」

艶「(耳舐め 5秒)」

白「(耳舐め 5秒)」

艶「はい、はい、はあい…♡」

二度目のお射精、してください…♡」

白「はい、はい、はあい…♡」

二度目のお射精、してください…♡」

艶「(耳舐め 5秒)」

白「(耳舐め 5秒)」

艶「どっぴゅう♡ どっぴゅう♡ おちんちんお漏らし♡

びゅっびゅっびゅー…♡」

白「おちんちん出る…♡ おちんちん出ちゃうう…♡

びゅっぴゅっぴゅう…♡」

艶「(耳舐め 5秒)」

白「(耳舐め 5秒)」

艶「おちんちん止まんないねえ…♡

タマタマからお汁、出続けちゃうねえ…♡」

白「濃厚お射精出来て、すばらしいです、お殿様…♡

とってもかっこいいですよ…♡ ふふふ…♡」

艶「(耳舐め 5秒)」

白「(耳舐め 5秒)」

艶「はあ…♡ はあい、お疲れさまでした♡」

白「これでもう、全部わかりましたよね？」

おちんちんお射精の快楽のこと…♡」

艶「うんうん♡ お射精気持ちいいって、わかっちゃったねえ…♡

おかげでまだまだ、おちんちん、勃起しっぱなし…♡

これからもおっと気持ち良くなれるからねえ…♡

期待しまくっていいからねえ♡」

白「ええ。そのご期待に応えられるような、最高に気持ちいい、

おちんちんぴゅっぴゅ…♡

これからたっぷり、教えてさしあげますから…♡」

艶「何度でも、楽しませようね♡ お殿様…♡」

白「何度でも、楽しみたいよね♡ お殿様…♡」

● 第3章

艶「さあ、お殿様…♡

今度はこの、勃ちっぱなしおちんちん…♡

どこで気持ち良くしてあげよっか？」

白「なんて…もう、私たちの中では決まっていますのですけれど♡

こうして、お顔をおちんちんの目の前に、近付けて…♡

ここに私たちがいるのであれば、何をされるのか…

なんとなく、おわかりですよね？」

艶「お殿様のおちんちん…私たちの、この爆乳おっぱいで…♡

挟んで、潰して、もみくちゃにして…♡ とろかしてあげちゃうね♡」

白「おちんちん、乳擦り（ちちずり）…。

おっぱいでむっぎゅうと抱きしめて、おちんちん、

たくさん感じさせてあげますね…♡

艶「ほうらあ…行くよお…。

そっちの白雪と同時にい…♡」

白「おちんちんを、おっぱいでえ…♡」

艶「ぱっふん…♡」

白「ぼっふん…♡」

艶「あはあ…♡

おちんちん、びっくんって跳ねた♡

お殿様、かぁわいい♡」

白「おちんちんで挟まれただけで、腰がへこへこ、

浮いてしまっておりますね…♡

ふふ、乳擦りの快楽、すさまじいのですね…♡」

艶「だけど、私たちの乳擦りは、こんなものじゃあないよ？

おっぱいみっちり、おちんちん押し潰しながらあ…♡」

白「上下にぐちゅぐちゅ、おっぱい動かしてさしあげます…♡」

艶「ほうら、ずちゅずちゅ、ぬちゅぬちゅ…っ♡

おっぱいずりずりい…♡」

白「先ほどお漏らししてくださった、とろとろ精液…♡

私たちのおっぱいに絡まって、ぬめりがよくなって…♡

おちんちんの上を、ずりりゅ、ずりりゅ…♡

たくさん滑っておりますね…♡」

艶「おちんちん乳擦り、まだ少し、お殿様には刺激が強すぎたかなあ？

お顔とろけて、とってもかわいなお顔で、喘ぎ声も止まらない…♡」

白「そうですね…♡

ですが、残念ながら、お殿様？

乳擦りだけでは終わらないですよ…♡♡

この乳擦りだけでも極上の快樂だとは思いますが、

ここからさらに…♡」

艶「私たちの、このお口…♡ この舌で、おちんちんぺろぺろ…♡

舐め舐めしてあげちゃいます…♡」

艶「(フェラ・舌で舐める 5秒)」

白「(フェラ・舌で舐める 5秒)」

艶「っへあ…っ♡

おちんちん、とろとろ…♡

我慢汁がいっぱい出てきて、とっても美味しい…♡」

白「お殿様…♡ おちんちんが痙攣しっぱなしで、

ずうっと感じてしまっているのですね…♡

乳擦り舌舐めで、おちんちんがぐがく…♡ 腰振りへこへこ…♡」

艶「(フェラ 5秒)」

白「(フェラ 5秒)」

艶「んふふ…♡

まだ、なんにも知らないはずなのに、この腰へこ…♡

本能なのかな？ それとも…お殿様って、

そういう才能あったりするのかな？

あは…♡」

白「いいですよ、お殿様…♡

おちんちん気持ち良すぎて、お腰をへこへこ…♡

それがいずれ、大事になりますからね…♡

その動き、忘れないように…♡」

艶「(フェラ 5秒)」

白「(フェラ 5秒)」

艶「あはあ…♡

どんどん我慢汁溢れてくる…♡

お殿様のお味、美味しいですよ…♡」

白「ええ…♡

このお味、いくらでも舐められます…♡

ぐくぐく飲んでさしあげられます…♡」

艶「(フェラ 5秒)」

白「(フェラ 5秒)」

艶「あは…♡

金玉までびくびくしてきちゃってる♡

もう出ちやいそうなのかな？

ね、お殿様」

白「でしたらどうぞ、我慢なさらず、そのままお射精してください♡

今は余計なことなど考えず、おちんちん、

気持ちよくなることだけに集中してください…♡」

艶「早く出し過ぎちゃって、かっこ悪いなんてこと、ないからねえ…♡

いつでもびゅーびゅー、していいよお…♡」

艶「(フェラ 5秒)」

白「(フェラ 5秒)」

白「乳圧もっと強く、おちんちん締め付けてさしあげますからね…♡

さあ、タマタマから昇ってきた精液、

ぶびゅううっと出してしまってください…♡

おちんちんどうぞ…♡

おちんちんどうぞお…♡」

艶「(フェラ 5秒)」

白「(フェラ 5秒)」

艶「(舐めながら話す)出して♡出して♡ お殿様ぁ…♡」

白「(舐めながら話す) おちんちんお漏らし♡ してくださいませ…♡」

艶「(フェラ 5秒)」

白「(フェラ 5秒)」

艶「(顔射) んっくうっ…♡ やっ、あんっ♡

精液いっぱい♡ あはぁっ♡」

白「(顔射) んっぁ、はぁん…♡

あっ、んっ、びゅるびゅるっ、熱い…♡」

艶「はっぁ、はっぁん…♡

ぁぁ、お殿様…♡ すごい、たくさん…♡」

白「私たちの顔に、おっぱいに…♡

こんなにぶっかけられて…♡ ふふふ…♡」

艶「はぁ、はぁ、はぁ…♡

お殿様…お射精、かっこいい…♡」

白「先ほどの量と勢いは、

精通お射精だからだと思っておりましたが…♡

どうやら、違っていたようですね…♡

お殿様のおちんちは、素晴らしいお力を持っていて…♡

ねばっねばの重たいお汁を、勢いよく、お出しできる、

最高のおちんちんようです…♡」

艶「お殿様のおちんちん…♡

これ、めちゃくちゃすごいね…♡

これで子作り本番、始まっちゃったら、私たち…♡

どうなっちゃうかなあ…♡ ね、白雪♡」

白「ええ…♡

今から楽しみです♡ ふふふ…♡

ですが、その前に…♡」

艶「もう一度、乳擦り舌舐めでおちんちんどっぴゅん♡ させたげる♡」

白「お殿様のすばらしい勢いのお射精…♡

もう一度、このおっぱいで、このお顔で…♡

受け止めさせてくださいませ…♡」

艶「はっあんっ、んっうんっ、はあ、はあ…♡

ほうら、ほうら…♡ お殿様あ…♡

おちんちんずりずりい…♡

おちんちんぬちゅぬちゅう…♡」

白「ただいまのお射精で、さらにぬめりが強くなって…♡

乳擦りがさらに、おちんちに食い込むように

なってしまいましたね…♡」

艶「イッたばかりのおちんちん、またびくびく…♡

かわいく震えて、こっちまで興奮してきちゃう…♡」

白「身体が熱く火照ってきて、乳擦りさらに、熱く、強く…♡

おちんちん締め付けてしまいます…♡」

艶「ほうら、お口でも、また…♡」

白「おちんちん舐め舐め、してあげます…♡」

艶「(フェラ 5秒)」

白「(フェラ 5秒)」

艶「っはあ…♡

先っぽ硬あい…♡ まだ皮被りだけど、中でこんなに膨らんで…♡」

白「こちらの皮も、後で剥き剥きしてさしあげないといけませんね…♡

おちんちん、さらに敏感になってしまいますが…♡

お殿様なら、平気ですよね？」

艶「せっかく精通できたんだもんねえ♡

おちんちん、もおっと大人になっちゃおうねえ…♡」

艶「(フェラ 5秒)」

白「(フェラ 5秒)」

白「一歩ずつ、ゆっくりでいいですから…♡

少しずつ大人になって行って…♡

最後には、正しい子作りを覚えて、身も心もご立派な

お殿様になりましょうね…♡」

艶「だからまずは、もう一度…♡

かっこいいお漏らしお射精、しちやおうね…♡

タマタマ精液、勢いよく、びゆるびゆるびゆるう…って♡

私たちのおっぱいの中で、吐き出しちやおうねえ…♡」

艶「(フェラ 5秒)」

白「(フェラ 5秒)」

白「ほら、お殿様…♡

また乳圧強く、ぎゅうぎゅうぎゅう…♡」

艶「熱いおっぱいで、おちんちん揉みくちやにして…♡

気持ち良おくなってねえ…♡」

白「強烈乳擦り口吸いで、おちんちんびゅっぷん…♡

しましゅうね…っ♡」

艶「(フェラ 5秒)」

白「(フェラ 5秒)」

艶「ほうら、お殿様♡

お顔こっち、向けられるかなあ♡」

白「おっぱいむっきゅう♡

お口でぺろぺろしてる私たちを、その目で見つめてくださいませ…♡」

艶「(フェラ 5秒)」

白「(フェラ 5秒)」

艶「私たち、いやらしいでしょ？

目からもこのいやらしさ、いっぱい感じて…♡」

白「おちんちんに興奮、伝えてくださいね…♡」

艶「(フェラ 5秒)」

白「(フェラ 5秒)」

艶「おちんちんじゅるじゅる舐められてる音も、しっかり聞いて…♡」

白「**全身で、おちんちん気持ち良くしてしまいたいですよね…♡**」

艶「(フェラ 5秒)」

白「(フェラ 5秒)」

艶「っはぁ、っはぁ…♡

また、無意識腰へこ激しくなって…♡

金玉汁、出てきちゃいそうだね…♡」

白「いいですよお…♡

また、おっぱいの中で、おちんちんどっくん…♡

お顔にもお口にも、精液吐き出してください…♡」

艶「(フェラ 5秒)」

白「(フェラ 5秒)」

艶「(舐めながら話す) 出して♡ 出して♡ 出して♡ 出してえ…♡」

白「(舐めながら話す) おちんちんお漏らし♡ ぶっぞ、ぶっぞお…♡」

艶「(フェラ 5秒)」

白「(フェラ 5秒)」

艶「(顔射) うっくうん…♡ ううんっ、やっああん…♡

精液、熱う…♡ あっ、やっ、やあん…♡」

白「(顔射) んぶっえあ…♡ あっ、くっ、はっああん…っ♡

あっ、あっ、お顔にびちゃびちゃ…♡ ふっふっふっ…♡」

艶「ふー…♡ ふー…♡

んっふう♡ へっぁあ…♡

ぁあ、精液、くっさあ…♡」

白「お殿様の匂いが、お顔中に…♡ ほっおう…♡

この匂い…♡ たまりません…♡」

艶「ありがとう、お殿様♡

たっぷりぶっかけ、最高だったよ…♡」

白「さあ…最後はおちんちん、お掃除しましょう…♡」

艶「おちんちん、ぺろぺろじゃなくて、ぱっくんって啜えて…♡」

白「おちんちんの中まで、お掃除してさしあげます…♡」

艶「(フェラ・ゆっくり 5秒)」

白「(フェラ・ゆっくり 5秒)」

艶「(啜えたまま鼻呼吸) んふー…、んっふう、んううん…♡」

白「(啜えたまま鼻呼吸) んっ、ふっ、んふう…♡ んう…♡」

艶「(フエラ 5秒)」

白「(フエラ 5秒)」

艶「(□離す) んうえあ…♡ んう、ほう…♡」

白「(□離す) んっぷ…♡ つふっう…♡」

艶「(飲む) んぎゅ…♡ んっぎゅ、んぎゅっきゅん…♡」

白「(飲む) んぐ、いぐ、んぎゅっきゅん…♡ いぐん…♡」

艶「っはあ…♡ はあ、ふう…♡」

あは…♡ おちんちん残り汁、ごちそうさま…♡」

白「匂い同様、お味の方も最高でしたね…♡」

ごちそうさまでした、お殿様…♡

ふふふふふふ…♡」

● 第4章

艶「さあさ、お殿様…♡

さっき言ったとおり、今度はおちんちんの皮剥き、しちやおつか…♡」

白「おちんちんの先端に被さった皮は、

敏感おちんちんを守る鎧のようなもの…。

ですが、こうした夜の営みの際は、

大抵の場合邪魔になってしまいますから…♡」

艶「さっさと剥き剥きしちやって、

大人のおちんちにしちやおうねえ…♡」

白「さあ、行きますよ、お殿様♡

おちんちんの先っぽを、軽くつまんで…♡

このまま皮を、下の方に引っ張って…♡」

艶「はい…♡ 生の亀さん、こんにちは♡ っと♡」

白「ふふふ…♡

いかがですか、お殿様♡

生のおちんちんが、初めてお外にお出かけです♡」

艶「おちんちんの先っぱ、すごいでしょ？

ちよっと動いて、先っぱがお布団にこすれるだけで…♡

風に触れるだけでも、ぞくぞくしちゃう…♡」

白「おちんちん、お辛いですか？

ですが、これに耐えられなければ大人の男にはなれませんよ♡

少々荒療治ですが…敏感亀頭、特訓手コキ…いたしましょうね♡」

艶「ほうら…♡

剥きたて先っぱ巻き込んで、おちんちんしこしこ…♡

どう？ お殿様♡

おちんちん気持ちいい？

気持ち良すぎちゃうかなあ？ あは♡」

白「がんばってください、お殿様♡

これに耐えられれば、

あとは気持ちいいご褒美が待っているだけですからね♡

ほうら、おちんちんの先っぽ、いいじ、いいじ…♡」

艶「ふふふ…♡

またたくさん、喘ぎ声出ちゃってる♡

かわいいなあ…♡ お殿様あ…♡

だけど、さすがにちょっとかわいそうになってきちゃったなあ…♡」

白「ですが、やめるわけにはいきません。

ですので…辛い快感に耐えられるよう、

お殿様にいっぱい、幸せな気持ちになってもらいます♡

さあ、お殿様♡ こちらのおっぱい…桃色乳首を、

ぱくくと、啜えてください♡

ええ、そうです♡ おっぱいちゅうちゅ♡

私のおっぱいを、赤子のように啜えて、舐めて、しゃぶってください♡

大好きなおっぱいを味わっていれば、おちんちん、がんばれるでしょう？

さあ、どうぞ♡ お殿様♡

おっぱい、啜えてください♡

っあん…っ♡ ふふふ…♡」

艶「いいなあ、白雪♡

お殿様におっぱいちゅうちゅしてもらって…♡

ねえねえ、お殿様♡ 白雪のだけじゃあなくて、

私のおっぱいも吸っていいよ♡

〜人分のおっぱい、交互にちゅうちゅう、味比べして♡

っあん♡ あはっ、さっそく来たあ…♡

やあん、はあん…♡ お殿様…っ♡

おっぱいちゅうちゅう、とっても上手…♡

んっ、あっ、あっあんっ、はあん…♡」

白「ふふ、お殿様…♡

おちんちんこんなに大きくなって…♡

これでは先っぽも、さらに敏感になってしまいますね♡

でも、大丈夫ですよ？ 私たちのおっぱいがあれば、きっと…♡

いくらでも、辛い我慢できますよね？

ええ、さすがです♡ さすが我らのお殿様です…♡

んっうん…っ♡

はい、はい…♡ おっぱいどうぞ♡

たくさんちゅうちゅう♡ 吸ってください…♡

んっ、ふっ、はっあ、んうん…♡

ふー…っ、はー…♡

お殿様…♡ おっぱい、気持ちいいです…♡」

艶「んっぁ…♡ また、おっぱい来たぁ…♡

あんっ、あんっ、あっあん…♡

すぐ、お殿様…♡ おっぱい吸うの、上手すぎて…♡

私たち、ホントに感じさせられちゃってる…♡

んっ、っあん…♡

わかる？ お殿様…♡

お殿様が、おちんちんいじられて出しちゃったような声…♡

んっく…♡

私たちも、おっぱい吸われて、出しちゃってる…♡

んっううん…♡」

白「んっぁぁ…♡ 乳首、ちゅうちゅう…♡ つふう、はぁ…っ♡

はぁ、ふう…♡ 私たちの身体も、どんどん熱く…♡

ぽかぽかのお肉で、お殿様を、包み込んで…♡

んっ、ふっ、はっあん…♡

はっ、はっ、んっうん、はぁ…♡」

艶「んふ♡ お殿様…♡

おちんちんびゅー♡ またしたくなってきちゃった♡

あは♡ 敏感先っぽいじられて、イキそうなんだ♡

うんうん、もちろんいいよ♡ またお射精しちゃおうね♡

最後まで、おっぱいちゅっちゅ、してていいからね♡

私たちのおっぱい、ちゅうちゅう吸いながら、

おちんちんどっぴゅん♡

しちゃおうね♡」

白「最後は～人分のおっぱい、一緒にちゅうちゅうしましようか♡

できますか？ お殿様♡

お口をあくと、大きく開けて…乳首と一緒に…あんっ♡

ああ、お殿様…♡ さすがです…♡ んっく…♡」

艶「あはあ…♡

～人分のデカ乳、一緒に啜えて、んっ、んっ、んうん…♡

すごい、お殿様…♡ あああん…♡

はあ、はあ…♡ おちんちん、熱々う…♡

精液出ちゃうねえ…♡」

白「いいですよ、お殿様…♡ んっあん…♡

どうぞ、おちんちん、お射精を…♡

おっぱいちゅうちゅう舐めながら、

お熱い精液、お出ししてください…♡

おちんちんどっぴゅん、どうぞ、どうぞお…♡」

艶「おちんちんイッて♡ おちんちんイッてえ…♡

んっ、あっ、んっ、んっ、んっ、んっ、はっあん…♡」

白「んっああ…♡

お殿様…♡ んっくうん…っ♡

ぴゅっぴゅしながら…♡ すごい、吸い付き…♡ はっあん…♡

乳首、たくさん、吸われて…♡ あああ…♡」

艶「おちんちんどっぴゅどっぴゅ♡ また、すごい勢いでえ…♡

んっ、はぁ…♡ 濃いのいっぱい、出ちゃってるう…♡

ふー…っ、はー…っ、んっくう、はっあん…♡」

白「はぁ、はぁ、はぁ…♡

ああ、お殿様…♡ ふっふっ…♡」

艶「またたっくさん出せたねえ♡

えらいねえ、お殿様…♡ かっこいいよお…♡」

白「これでもう、敏感先っぽは平気でしょうか♡

ふっ、そうですよね♡

でしたら、確認のために…♡」

艶「もう一度、先っぽ重点おちんちんしこしこ、しちやおつか♡」

白「ほうら、しこしこしこしこしこ♡ しこしこしこしこしこ…♡」

艶「あれあれ？ どうしたの？

先っぽ、もう大丈夫なんじゃあなかったの？

またいっぱい、かわいい声が出ちゃってるよ？」

白「強がって、ウソをついたのですよね、お殿様。

それでは行けませんよ？

辛いのはわかりますが…しっかりおちんちん、鍛えないと♡」

艶「大丈夫♡

そんなウソつかなくても、お殿様のおちんちん、

ホントに強くなってるからね♡

証拠に、ほら…さっきより、先っぽ辛くないでしょ？

ふふふ…♡」

白「このしこしこ手コキを終えれば、

きっと、先のウソが本当になります♡

がんばって、先っぽしこしこ、乗り越えましょうね♡」

艶「今回も、お殿様がいっぱいがんばれるように、

応援してあげるからね♡

ほうら、お殿様♡

お口あぐん、して？

いい？ お殿様のお口に…私のよだれ、飲ませてあげるから♡

ほら…んぐう…♡

(キス・涎口移し 5秒)

っはぁ…♡ んふふ…♡」

白「はい、お殿様♡

私のも、ご一緒にどうぞ♡

お口、あぐん…♡

(キス 5秒)

っへぁ…♡ んふふ…♡」

艶「どう？ 私たちのよだれ♡

甘くて美味しいでしょ？」

白「いっぱい飲ませてあげますから…♡

よだれごつくんして、おちんちん興奮させて…♡

先っぽしこしこ、耐えきりましょうね♡」

艶「はあい、お殿様ぁ…♡

(キス 5秒)」

白「お殿様…♡ んう…♡

(キス 5秒)」

艶「あは…♡

おちんちんびくびくうってしてる♡

涎、口移してもらうの、好きなんだあ…♡」

白「とっても甘くて、美味しくて…♡

おちんちんびくびく震えちゃうくらいお好みなのですね…♡

ありがとうございます、お殿様…♡

(キス 5秒)」

艶「好きなだけ飲んでいいからねえ…♡

たっぷり汗かいて、喉も渴いてただろうし…♡

お水の代わりに、私たちのよだれで、喉をうるおしちゃおうね♡

(キス 5秒)

っはあ…♡」

白「(キス 5秒)」

艶「(キス 5秒)」

白「お殿様…♡

(キス 5秒)」

艶「いっぱい飲んで…♡ お殿様…♡

(キス 5秒)」

白「おちんちんどくどく、また、我慢汁が溢れて…♡

先っぽぬるぬる、気持ちよさそうですね…♡」

艶「またぴゅっぴゅしちやいそうなんだ？

うんうん♡ いいよ♡ 涎ごっくん、おちんちんぴゅっぴゅ…♡

亀頭訓練お射精終わらせて、強いおちんちんになっちゃおうね♡」

白「ぬるぬる我慢汁、おちんちんの先っぽ…♡

こちらの段差の部分にたっぷりなすりつけて…♡

ちゅこちゅこちゅこちゅこ…♡

気持ちいいですね、お殿様…♡」

艶「おちんちんたくさん気持ち良くされて、

またいっぱい、お射精しようね、お殿様…♡

(キス 5秒)」

白「お口の中で、私たちの味、たくさん感じて…♡

おちんちんどっぴゅん♡ してくださいね…♡

(キス 5秒)」

艶「(キス 5秒)」

白「(キス 5秒)」

艶「さあ、最後は同時に…♡」

白「私たちのよだれ、お口の中でまぜまぜしながら、

べっくんですよ…♡」

艶「(キス 5秒)」

白「(キス 5秒)」

艶「(キスしながら話す) どうぞ、お殿様♡ 出して、出してえ…♡」

白「(キスしながら話す) お射精どうぞ…♡♡

ぴゅっぴゅしてくだい…♡♡」

艶「(キス 5秒)」

白「(キス 5秒)」

艶「びゅー♡ びゅー♡ びゅーう…♡」

白「ぶっぶっぶっ、ぶっびゅう…♡♡ びゅーう…♡♡」

艶「(キス 5秒)」

白「(キス 5秒)」

艶「はぁ…♡

はぁい♡ お漏らしお疲れさま♡

またいっぱい、おちんちん気持ち良くされてよかったね♡ お殿様♡」

白「ふふふ…♡

これでおちんちんの訓練は、すべて終わりました…♡

精通式は、これにて終了です…♡」

艶「でも、安心して♡

精通式は終わったけど…このまま、引き続き…♡

お殿様の、筆おろし…始めちゃうから♡」

白「ええ…♡

おちんちん筆おろし、子作りの式…♡

おちんちんの本当の使い方を…今からお教えしますからね…♡」

艶「最後まで、たあっぷり…♡

おちんちん、気持ちよくなりましょね…♡」

白「最後まで、たあっぷり…♡

おちんちん、気持ちよくなりましようね…♡」

● 第5章

艶「さあ、お殿様♡

筆おろし…始めよっか♡」

白「わかりますか？ 筆おろし…おちんちんの、本当の使い方…♡

おちんちんを精通させ、皮も剥き剥きして、鍛え…♡

大人のおちんちんにした理由…♡」

艶「それはね…♡

お殿様のおちんちんを、こ…♡

私たちのおまんこに入れて、ぱんぱん♡ ってするからなんだよ？

ほら、見える？ お殿様♡

私のここについてる、いやらしい穴…♡

奥からとろとろ、蜜が漏れてるおまんこの穴…♡」

白「あそこにおちんちんをずっぷりと入れて、腰振り、ぱんぱん…♡

腰をぶつけ合って、おちんちんをぬぶぬぶ…♡

そして、おちんちんから出る精液を、おまんこの中でどっぷん…♡

それが、子作りなのですよ…♡

お殿様がいずれ、跡継ぎを残すため、何人もの女性と行うことになる、

子作り交尾…♡」

艶「私たちは、その練習台…♡

将来お殿様が、何の気兼ねもなく子作りできるように、

今のうちに、気持ちいい子作り交尾、しっかりお勉強しとこうね」

白「さあ、まずは先ほどまでと同様…♡

気持ちのいいおまんこの感触を、おちんちんに覚えさせましょう♡

でないと、いざ本番という時に、おまんこの快感に負け、

あっと言う間にお漏らしぴゅっぴゅ♡

なんてことになりかねませんからね♡」

艶「じゃあ…行くよ、お殿様♡

おちんちんもう、ビンッビンだし…私も…♡

もう、我慢できないから…♡

ほら、おまんこ、お殿様のおちんちんに近付けてえ…♡

んっあん…♡ あはあ…♡」

白「ふふ…♡

おちんちんにおまんこが触れてしまいましたね…♡

いかがですか？ にゆるにゆるしていて、とってもお熱いでしょう？

それがおまんこの感触…そして、おまんこの熱さ…♡

今からこの熱々の蜜壺の中に、おちんちんが入っていくんですよ…♡

ドキドキしちゃいますね…♡」

艶「私も、すっごくドキドキしてる…♡

練習とは言え、大好きなお殿様と、一つになれちゃうんだもん…♡

はあ…♡

行くよ、お殿様…♡

おまんこの中に…お殿様の、おちんちん…っ♡

入れちゃうよお…♡

んっうん…っ♡

んっ、くっ、あっくっ、はっああん…♡

ああ、おちんちん、どんどん入って…♡

あっ、んっ、やっあんっ、んっい…っ♡

おっ、おっ、おっ、おっおお…♡」

白「ほら…っ♡ おちんちんがどんどん、艶美の中に入っていく…♡
ずぶ、ずぶ、ずぶ、ずぶう…っ♡」

艶「くっふうう…っ♡ ふっ、くっ♡ うっくっ、ほっおお…♡

はっ、っああっ、おちんちん、入ったあ…♡ っあああ…♡

ふっ、ふっ、ふっ、くっふう…♡

ああ、お殿様…っ♡ んっあ、はあ…♡

これが、おちんちんの感触…♡

お殿様の、すごく熱くて…♡ っはあ、っはあ…♡」

白「ふふ…ありがとうございます、お殿様♡

艶美の処女…奪っていただいて…♡」

艶「うん…♡ そうだよ♡

私たちも、初めてなんだ…♡

お殿様のために、ずうっと取っておいたんだよ？

お互い、初めて同士のおまんこ交尾…♡

私、今、すっごく気持ちいい…♡ はあ、はあ、んっうん…♡」

白「お殿様はいかがですか？

おちんちん、にゆるにゆるのひだひだで包まれて…

おちんちん、気持ちいいですか？」

艶「ふふ…うん、ありがとう、お殿様♡

でも、子作り交尾はこんなものじゃあないよ…♡

今からおちんちんとおまんこ、いっぱい擦り合わせて、

一緒に気持ち良おくなっちゃうんだからね♡

たくさんたくさん感じちゃって…♡

また、精液たくさん、出したくなっちゃうんだよ♡」

白「楽しみですね、お殿様…♡

さあ、おちんちんに意識を集中させて…♡

艶美のおまんこの感触、どうぞ、お楽しみください…♡」

艶「ほうら…♡ おまんこ、ぱんぱん…♡

行くよ…っ♡

んっ、あっ、ああっ、んっううん…♡

ほら、ほらぁ…♡ おまんこっ、ずぶずぶ…っ♡

ううっ、くううっ、お殿様のっ、おちんちん…♡

あっ、あっ、おっ、おっおお…♡

んんっ…んお、おん、んっ、お、おお、ううっ、うん、おん♡

おんっ、お、おっ、うん、んっ、んっく、んっふ…♡

すっご…♡ これっ、うっくうっ、ほっおお…♡

おほおっ…おおんっ、おんっ、いや、やん、んおう、おう
おん、おんっ、んおっ、んおうっ…♡」

艶「(才小声 5秒)」

白「ふふ…♡

艶美ったら、すごい声を出して…♡

わかりますか？ お殿様のおちんちんのせいで、あんなはしたない声、
いっぱい出してしまっているんですよ…？

お殿様のおちんちんがすごすぎて…♡

お殿様のおちんちんがかっこよすぎて…♡

子作り交尾、気持ちいい、気持ちいい…♡」

艶「んおっ、おん、んくっ、んうっ…、んお、おおん、おっ♡

おんっ、んう、んお、んおっ、おっ、おっ、おっ…♡

っああ…っ♡ お殿様あ…♡

んっ、あっ、気持ちいい…っ♡

おまんこっ、ぱんぱんっ♡ 止まらないよお…♡

んっ、おん、んお、おっく、んっく、いや、うお、ん、んうっ♡

んお、んおう…♡

んっ、おお、おおんっ、おんっ、いや、やん、んおう、おう♡

おん、おんっ、んおっ、んおうっ…♡」

艶「(オホ声 5秒)」

白「お殿様も、ずいぶんと感じてくださっているようですね…♡

では、こちらもどうぞ…♡

先ほどのようにおっぱいをちゅうちゅう飲んで…♡

さらに、もっと…♡

おちんちんを強く、大きく、勃起させてください…♡

あん…♡ んっ、やっ、はっあん…♡

おっぱいちゅうちゅう…♡ お上手です…♡ んっうん…♡」

艶「うっく、うぐ、うお、うおんっ、おん、ほおっ、おほっ、おほおっ…♡

おおっ、おっ、ほおっ、おんっ、おん、おんっ、やんっ、ふおっ♡

お殿様あ…♡ っうっうん…♡

はっ、んうんっ♡

おちんちん、ぎゅっぎゅっって、締め付けちゃう…♡

おまんこっ、勝手に…♡ 初めてなのに、おちんちん好き好きって♡
おちんちんぎゅっぎゅ…♡

おっ、おっい、んお、おおん、おっ、おんっ、んう♡

んお、んおっ、おっ、おっ、おっ…♡

腰振り、止まらない…♡ お殿様のおちんちんっ、はっ、んっ♡

気持ちいいよお…♡

子作り、気持ちいい…♡

っああっ、んっうっ、奥っ♡ いっぱい奥っ♡

赤ちゃんデキるところ、届いちゃう…♡ おおっおお…っ♡

ん、っく、ん、んふう、んお、おう…♡

んお、お、んおっ、おおっ、ううおっ…♡」

艶「(オホ声 5秒)」

白「ふふ…♡

わかりますか？ おちんちんで感じますか？

艶美のおまんこ、一番奥…♡

そこに精液をびゅー、と吐き出すと、子供が出来るんです…♡

赤ちゃんが出来るんです…♡

それが子作り…♡ 孕ませ交尾です…♡

さあ、おちんちんに力を入れて、一番奥を、こりこり、とんとん…♡
いっぱい犯してあげてください…♡」

艶「んお、んう、おん、うん、おん、おんっ、ん、んお♡

ほお、おふ、ふおっ…♡

んっ、おっ、おう、んっ、んうっ、ひいっ♡

っおお、んおう、んっく、くお…っ♡

んっうう♡ はっあああん…♡

あっ、やつ、お殿様っ♡ おおっおおお…♡

んっおっ、イックっ、イックっ♡ 私っ、おまんこっ♡

おまんこイッちゃう♡ お殿様あ…♡

っおっおおおお…♡

イクイクっ、イクからっ♡ イクからっ、出してえ…♡

処女まんこにつ、孕ませぴゅっぴゅ…♡

熱い精液、どばどばあって、出して、出してえ…♡」

艶「(オホ声 5秒)」

白」どうぞ、お殿様…♡

子作り練習、最後の一手…♡

子宮に中出し、孕ませお射精です…♡

先ほどまでと同じように、いえ、それ以上の勢いで、

中に精液、お出ししてください…♡

どうぞ、お殿様…♡

艶美を孕ませて…♡ 子作り練習、孕ませ練習…♡

跡継ぎを作るための、おまんこ交尾…♡

その身体に、刻みつけてくださいませ…♡」

艶「ほおっ、んんお、つくお…っ♡

んうっ、おおん、うん、おんっ、おっ、んお、おお…っ♡

んっおうっ、イクイクっ、イックっ、ほおおおっ、イックうう…♡

んっおっ、ほおおっ♡ お殿様♡ お殿様あ…♡

んっおっ、おっ、おうっ、うおおっおおお…っ♡

（絶頂）んっううおおお…♡

っおおっ、んうおおっ♡ ほっおおう♡

くううおおお…♡

ふうっ、ほっおっ♡ んっおっ、くううん…♡

中っ、熱いのっ、びゆるびゆるっ、出てる…♡

おっ、んっ、んっおおっ、ほっおお…♡

子宮いっぱい、お殿様のっ、あったか精液い…♡

っあああ…っ♡ 幸せ、幸せえ…♡

お殿様につ、孕ませてっ、もらってるう…♡

んっ、おおっ、ほっおおっ♡ ふううう…♡

ふっう、ふっう、はっあ、はっああ…♡

は…、は…、は…、は…っ♡

んっ、ふっ、はあ、っはあ…♡

あああ…♡ お殿様あ…♡」

白「はい…♡ お殿様、お疲れさまでした…♡

よしよし、よしよし…♡

立派にお射精できましたね♡

さあ、おっぱい、まだ飲んでいただいていいですよ♡

お疲れでしょう？ 私のおっぱいの中で、ゆっくり休んで…♡」

艶「ねえ、お殿様…♡

子作り交尾、気持ち良かったでしょ？

でもね…♡ 子作りじゃない交尾も…すっごく気持ちいいんだよ？
知ってる？」

白「…艶美？」

何を言って…？」

艶「あは♡ ごめんね、白雪…♡

私、もっとお殿様と楽しいこと、したいんだ♡

だからあ…♡

ほら、お殿様…♡ 今度はこっち…♡

子作りじゃあない…ただ、気持ち良くなるためだけの、お尻交尾…♡

お尻の穴で、おちんちん…♡ しちゃおうね…♡

んっひ…っ♡

おおおっおお…♡ んうっおおっ、ほっおおおん…♡

ふっうっ、っううん…♡」

白「え、艶美…っ。あなたは、また…っ。

んっう…っ♡ お殿様…っ♡ ふふ…♡

艶美のお尻、気持ちいいのですか？

おっぱいちゅうちゅう、さらに強く…♡

もう…♡ 仕方ありませんね…♡」

艶「あは…っ♡

お殿様…♡ 私の、初めてのお尻交尾…♡

こっちでも、たくさん、楽しもうねえ…♡

んっおっおお…っ♡

ひい、おほお、ううおっ…♡

おお、ん、んふ、んお、んう、お、っおお…♡

お、おおっ、ん、んふう、んっ、んお、おん、んう…♡

んお、うっふ、うん、おほ、おんっ、おんっ、おんっ♡

んっおっ、ほっおおっ、くっうん…♡

ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ、んふ、んっふ♡

おお、おお、おおん、んおん…っ♡

おっ、っおおっ、ずぼずぼっ、お尻い…♡

ケツ穴っ、いっぱいっ、拡げられてえ…♡

気持ちいいよお…♡

んおっ、おんっ、おっ、んお、おおんっ、おお、んっ♡

うん、おんっ、お、おっ、おんっ、やんっ、おお、うおんっ♡

艶「(オホ声 5秒)」

白「子作りとは関係ない、快樂だけのお尻交尾…♡

キツキツ尻穴、おちんちんずぼずぼ♡

いかがですか…？ ふふふ…♡

大人となればこういった、

快樂のための交尾というのも確かにあるものです♡

今のうちに知っておくのも悪くはないかも知れませんか♡」

艶「そう、だよお…♡ んうっお…♡

いっつも、赤ちゃん作ることはっかり考えてたら、

いくら気持ち良くなったって、っおお…♡

いつか、嫌になっちゃうでしょ？ んっお、ほお…♡

だからたまにはこうやってえ、んっひい…♡

おちんちん気持ち良くなるためだけの♡

おちんちんハメハメも…っ、大事なんだよお…♡

おん、うん、おん、おんっ、ん、んお、ほお、おふ、ふお…♡

んっううん…♡ お尻、気持ちいい…♡

おお、ん、んふ、んお、んう、お、っおお…♡

お、おおっ、ん、んふう、んっ、んお、おん、んう…♡

はっあ、ふっうう…♡」

艶「(オホ声 5秒)」

白「お殿様の場合は、お相手できる女性がいくらでもおりますので、
そういったことはないと思いますが…♡

お相手の女性が妊娠している時など、おまんこが使えない場合に、

お尻を使って交尾する場合がありますから…♡

お尻交尾の快感も、おちんちに覚えさせて、

しっかり楽しめるようにしましょうね…♡

んっうん…♡

ええ、おっぱいも存分にお吸いになって…♡

おちんちん、さらに、硬くして…♡

んっ、くっ、はっあんっ、んっうん…♡」

艶「んお、んふう、うう、うお、おう、んう、ん、んっく、くう…♡

んんんう…♡

んおっ、ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ♡

んふ、んっふ、おお、おお、おおん、んおん…っ♡

うつくうん…♡ ほっおおっ、うつくう…♡

へっ、はっ、はっあっ、ほおお…♡

お殿様…♡ うんっ、はっ、ふっ、はっあっ、っおお…♡

やっ、やあっ、私、そろそろ…♡

お尻っ、イッちやいそ…♡ はっああ…♡

お殿様あ…♡ だから、お殿様も、出して、出してえ…♡

お尻にびゅうって、おちんちん、お射精い…♡」

艶「オホ声 5秒」

白「ええ、いいですよ、お殿様…♡

おまんこにしたように、お尻にも、どっぴゅんお射精…♡

子作りとは関係のない、気持ち良くなるための、快樂お射精…♡

気持ち良くなるためだけに、たっぷりお漏らし♡

しちゃいましょうね…♡

ほら、お顔におっぱい押し付けて、ぎゅ、ぎゅ、ぎゅう…♡

どうぞ、お殿様…♡

おちんちん気持ち良くなって…♡

おちんちん気持ち良く、どっぴり、お射精…♡

どうぞお…♡

よしよし、よしよし…♡」

艶「ん、んお、んっ、うん、おんっ、お、おっ、おんっ♡

おおっ、んっ、んぐっ、んう、んっ…♡

んっおっ、イックっ、イックっ、んいっくう…♡

ほっおおっ、んっおおおっ♡ んっくっ、んっひいいん…♡

うっおっ、ほおおっ、んううおっ、ほおおっおお…♡

お殿様あ…♡ 出して出してっ、出してっ、出してえ…♡

んっおおおおお…っ♡ ほおおっおお…♡

（絶頂）んっいいいいん…♡

んっいつ、ほおおおおっ、うっおっ、ほっおおおん…♡

んうううう…♡ ふっ、くっ、ほっおおっ、くっふううん…♡

熱いのっ、お尻に…♡ びゆるびゆる、くうっううん…♡

ほっお、ほっお、ほっおおお、ふうううう…♡

は…、は…、は…♡ はああああ…♡

んう…♡

はあ、はあ、はああ…♡ あはあ…♡」

白「お疲れさまでした、お殿様…♡

お射精する時のお顔…とってもかわいらしくって…♡

私も、興奮してきました…♡」

艶「はあ、はあ…♡

じゃあ、お殿様…♡

次は、白雪の処女おまんこにも…♡

子作りお射精、しちゃおうね♡」

白「ええ…♡

どうか、お願いします、お殿様…♡

私のことも、お殿様の精液で、しっかりと…♡

孕ませてくださいね…♡

ふふふふふ…♡」

● 第6章

白「さあ、お殿様…♡

お次はこの私、白雪の処女おまんこ…♡

お殿様のおちんちんで、突き破ってくださいませ…♡」

艶「んふふ…♡

もうお殿様のおちんちんは、初めて童貞おちんちんじゃあないから、

余裕だね？

私のおまんこも、お尻の穴も、強烈にイカせてくれたもんねえ♡」

白「ええ…♡

期待しております♡　どうか私に、幸せな時間を…♡

与えてくださいませ…♡

では、おまんこを、お殿様のおちんちんに…♡

んっう…♡ はぁ、はぁ、はぁ…♡

ぁぁ、お殿様のおちんちん、とっても熱く…♡

ふー…っ、はー…っ♡

私のおまんこも、今は相当熱くなっているはずですが…っ♡

お殿様は、それ以上なのでしょう…♡

はぁ、んうん、はぁ…♡

ぁぁ、お殿様…♡ おまんこ、参ります…♡

私の夢…♡ 念願の…♡

お殿様との、子作り交尾い…♡

んっうっおお…♡

っおおおっ、んうっおおっ、ほっおおおんっ、うううおおお…♡

んっい♡ んっひっ、んっいいんっ、おっおおお…♡」

艶「ほら、入るよお…♡ じっと見てみて…♡

お殿様のおちんちん、どんどん白雪の中に隠れていく…♡

入ってく…♡

処女まんこ、貫いて…♡」

白「はっ、ふっ、はっ、ほっおお…♡

ふー…っ、ふー…っ、おっおおっ、くっううん…♡

お殿様のおちんちん…♡ ずっぷり、中に…♡

んっお、ほっおう…♡

硬い…♡ 熱い…♡ とっても、大きいのが…♡

っああ、くううう…♡ お、お殿様…♡

おまんこ、ひくひくって…♡

おちんちん入ってきたのがうれしくて、動いちゃってあります…♡

恥ずかしい、です…♡ うううう…♡

艶「どう？ 白雪のおまんこ…♡

私のと、どんな風に違うのかな♡

お殿様はこれから、何十人って女の人と、

いっぱい子作りすることになるんだからね…♡

おまんこの感触の違いってのも、ちゃあんと覚えておこうね♡

んふふ…♡」

白「ふー…♡ はー…♡ はー…♡

お殿様…♡

申し訳ありません…♡ お待たせしました…♡

ようやく、おまんこが落ち着いてきましたので…♡

早速、子作り本番…♡ おちんちん出し入れ、いたします…♡

どうか、私のおまんこ…お楽しみくださいね…♡

はぁ、はぁ、はぁ…♡ んっう…♡

んっ、おっ、おおっ、くっうん…♡

お殿様…♡ ほっおお…♡

おんっ、いや、おん、おんっ、おう、うんっ、お、んっ♡

んっ、うん、おんっ、お、おっ、おんっ♡

ん、おん、ほお、おおん、うん、おんっ、おっ、んお、おおんっ♡

んっおっ、くっうっ、ほっおおん…♡

へっ、はっ、おおっおお…♡

おちんちん、気持ちいい…♡

これっ、こんな…♡ おおお…♡

思っていた以上に…♡ おちんちん、ずんずん…♡

おまんこっ、響く…♡

おっ、おっ、おっ、ふおおっおお…♡」

艶「あは…♡ んもう、白雪ったら…♡

私があれば感じてたの、見てたくせに…♡

油断しちゃってさぁ…♡

お殿様はすごくかわいいけど、おちんちは本当に、

えげつなくて、かっこいいんだから…♡

ねえ、お殿様あ…♡

んふふ…♡ 聞こえてるのかな、これ♡

お殿様も、白雪のおまんこ気持ち良すぎて、

お顔とろんってしちゃってるもんねえ♡」

白「(オホ声 5秒)」

白「おお、おん、うん、うつふ、うん、おほ、おんっ、おんっ、おんっ♡

ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ、んふ、んっふ♡

おお、おお、おおん、んおん…♡

ふっ、おっ、んうっおっ、ほっおおん…♡

お殿様っ、っうんっ、んっいいん…♡

おちんちんっ、ずぶずぶ…っ♡

うっ、くっ、ほっおっ、んっふうう…♡

へっ、はっ、腰振りっ、止まりません…♡

私、こんなっ、はしたないこと…♡

幼い頃からっ、お殿様の前では、おしとやかでいるようにと…っ♡

教育されてきたというのに…っ、んっいいい…♡

んっうおっ、おっふ、っくうう、んうあああ…っ♡

んいつ、んっひい…っ♡

へあっ、ふあっ、あっふ、んういい…っ♡

こんなっ、下品な声…っ♡ 下品な腰使いい…♡

デカ乳揺らしてっ、デカケツっ、だぶだぶっ、押し付けてっ、

淫らに動いてえ…♡

んっおおおお…♡

おまんこっ、おちんちんにっ、甘えてしまいます…♡

ううっおおお…っ♡

おおおっ、っんんおっ、おおおおっ♡

おうっ、んっおっ、おんんっおおおっ、っんん…っ♡

んっ、んっうっ、おっ、っんっ、おっ、おおっ、おおおうっ♡

んんっ、っおおっんっ、んっ、おっ、おおっ、っんっ、んうおお…っ♡

んっうおっ、ほっおおっ、ふうっおっ、くううおお…♡

んっ、っうっ、おっ、おおおっんんんっおおおうっ♡

っうっ、おおおおっうっ、んんおおおおっんんっ、んお…っ♡

んうっ、ほっ、おおっ、くっううん…♡」

艶「あはあ…♡

ほらほら、お殿様あ…♡ 白雪のおまんこに集中しすぎちゃやゝあ♡

私のおっぱい、ちゅうちゅう吸って♡

っあん♡ いきなりっ、んっうん…♡

あはっ、お殿様ったらっ、これ…♡ 半分、無意識…♡

お口の前に乳首っ、差し出したらっ、勝手に啜えて、んっうい…っ♡

おっぱいごくごくっ、飲むみたいにつ、本能っ、ちゅぱちゅぱ…っ♡

あはあ…っ♡

よしよし、よしよおし…♡ お殿様あ…♡

おちんちん気持ちいいねえ♡

白雪のドスケベ腰振り、感じまくっちゃうねえ♡ んひひ…♡」

白「(オホ声 5秒)」

白「おおっ、おおんんっ、っおおおっ、おおおっうっ♡

うっ、っおっ、おおおっうっ♡

っんんんおおおっんっ、んおっ、おっ、おっんん…っ♡

はっ、あっ、おおおっ、んっうおお…♡

お殿様…♡ んっうん、くっうう…♡

おっ、ほっ、うっおおっ、んっいい…♡

あっ、だめっ、お殿様っ、くっうう…♡

来てますっ、来てっ♡ 気持ちいいのっ、いっぱい…♡

ぞくぞくっ、おちんちんっ、おまんこからっ、はっああん…♡

おっ、おっ、うっおおおっ、んうおお…♡

来るっ、来るっ、来ひやうっ、イック…♡

んっ、んうっおっ、んんっおっ、っうっ、っうっ、っおっ、おっ♡

おおっうっ、んんおっ、おおおっんんっ、おっ、っんん…っ♡

はっあああ…♡

おまんこイキます…♡ おまんこイキます…♡

イキますからっ、おちんちん…♡ お殿様もっ、おっおお…っ♡

中にください…♡ 中出し精液、奥にっ、種付け…♡

私のおまんこにっ、孕ませ練習…♡

将来のためのっ、子作り、学習…♡

女を、私もっ♡ 孕ませてください…♡

んっ、んうっ、おおおおおっ、んっ、んっ、っおおっ♡

おうっうっ、っおおおっ、おおっ♡

うっ、っんんんっおおっ、っんっ、っおっ、おっ、んんっ…っ♡

んんっうっ、っおっ、おおっんんっおっ、おっ、っふうっ♡

ふうっ、っおっ、おおっうっ、んんんんっおおおんっ♡

っおおっ、うおおん…っ♡

くううっおお…♡」

艶「ほうら、お殿様…♡ 出して、出して…♡

おっぱいちゅうちゅう吸っちゃって、

赤ちゃんみたいにかわいい顔しながらあ♡

白雪のこと孕ませちゃう、大人なこと、しちゃおうねえ♡

私のお腹、ぽかぽかにしてくれたみたいにい、白雪の子宮も、

どっぷりどろどろ、ほかほか孕ませ汁で、いっぱいにしてあげてえ…♡

ほうら、ほうら、出しちゃえ、出しちゃえ…♡

金玉から精液、どっくどく…♡」

白「(オホ声 5秒)」

白「おっ、っんんんっおっ、おっ、うっ、うっ、っおおっ♡

おっ、うっ、んんっ、んおんんんっ、っおおっ、んんんおお…♡

うっ、おおっ、っんんんっおおおおっ、おっうっ♡

っおおおおっうっ、っんっ、おおおっんっ、んんおおっ、おっん…っ♡

んうおおっおおお…♡

うっおっ、んっくっ、ほっおおっ、ふうおおおお…♡

おっ、んうおっ、イクイクっ♡ お殿様っ♡

ひっくっ、いっくっ、んいっくっ、ふううおおおお…♡

んっおおっ、ほおおっ、くううおおっ、ほうおおおおお…♡

おまんこっ、イキます…っ♡

んっひいひいん…♡

(絶頂) んうおおおおっおお…♡

んうっおっ、うっく♡ ほっおおっ、んっいいいい…♡

っああ…っ♡ 子宮っ、一番奥っ、びちゃびちゃっ、精液い…♡

んいっ、んっひっ、んうおっ、くっふううう…♡

奥にたくさん、溜まっています…♡

赤ちゃんのお部屋…っ♡ 私のっ、子袋に…♡

お殿様のっ、愛するお方の精液がっ、どっぷり…っ♡ おっおお…♡

へっ、はっ、おっほっ、うっおおお…♡

ふー…っ、ふー…っ♡ ほっおおっ、んううっおおお…♡

はっあ、はっあ、んっくう、はっあああ…♡

はあ、はあ、んうん、はあああ…♡

ああ、お殿様…っ♡ はあ、くう、はあ、っああああ…♡

はあ、はあ、はあ、んっううん…♡

っはあ…♡ はあ、はあ、ああ…♡

お殿様…♡」

艶「んふふ…♡

これで私も、白雪も、どっちも孕ませてくれちゃったね♡

でも…お殿様のおちんちんは、まだまだ元気元気みたいだねえ♡

っあんっ♡

ほら、おっぱいちゅうちゅうも、まだこんなに強くって…♡

やる気満々…♡

それなら…やることは、「っだよね」♡

白「っはあ、はあ…♡

艶美の言うとおり…♡

子作りではなくとも…

おちんちんがイライラムラムラ治まらない時は…♡

こちらの穴で…♡

んっお、くっうん…♡

子作りではない、快樂交尾…♡

おケツまんこで、おちんちん気持ち良く、いただきます…♡

んうっお…♡ くっふううん…♡

おおおっ、ううっおおっ、んっいつ、ほっおおお♡

おおおお…♡ お尻につ、ずっぷり…♡ うおおおっ♡

くううおお…♡ へっ、はっ、くっうっ、おお…♡

はっ、はっ、はっ、うううん…♡

ああ…♡ お尻、すごいです…♡ お殿様…♡

ガチガチおちんちん、お尻にみっちり、詰まって…♡

あっああ…♡ 私のお尻もっ、ぎゅうぎゅう♡

おちんちん、締め付けてえ…♡

ああああ…♡

おおおっ、おおっんっおおおっ、うっ、っうっ、おおっ♡

っうんっ、んっおっ、っんんんおっ、おっ、っんっ、んうう…っ♡

んっ、いつ、うっおっ、んうおおお…♡

うっ、くっ、ほおおっ、うおおっおおお…♡

お殿様っ、お殿様あ…♡」

艶「んふふ…♡

あの白雪が、こんなに乱れちゃうなんて…♡

おまんこ交尾ってすごいよねえ…♡

あ、今はお尻交尾か♡ ふふ、でも、お尻おまんこだから、同じかな
お殿様のおちんちんが、かっこよすぎるのが悪いんだよ？

お顔はとってもかわいくて、おっぱいちゅうちゅう♡

全然止まらないのに…♡

おちんちんはもう、すっごく立派で、たくましくって…♡

白雪のこと、あんなにおかしくしちゃってる…♡」

白「(オホ声 5秒)」

白「んっ、んんっうっ、おおおんっ、んっ、っおっ、っうっうおおおっ♡

おおっ、んっ、っおっ、おっ、っんっ、んおっ、おおおっんっ♡

おっんっおっ、おうっ、うっ、おっ、おうっ、っんっ、んっおお…っ♡

おおおっ、んんっ、おおおおお…っ、んんんっ、んうおっおお…っ♡

っおおっ、おおおおっ♡ おちんちんっ、奥でっ♡ びくびくう…♡

皮剥けおちんちんのっ♡ カリ首で…♡

お尻の弱いところっ♡ ほじられてえ…♡

んっ、おおおおっうっ、うっ、っおっ、おうっ、んんっ♡

っおっ、おんんんっおおお…っ♡

うっ、おっ、これっ、すごいです…♡

頭っ、真っ白になって…♡ お殿様っ、お殿様…♡

お殿様のことしかっ、お殿様とっ、おちんちんすることばかりにっ、
なってしまうて…♡

んんっうっ、おおおっんんっ、んおおおおっ♡

おおっ、おうっ、っんんおおおっんんおおっんっ♡

おおおっ、んうおおっ♡ へっ、はっ、へえっあっ、うっおお…♡」

艶「んっうう…♡ すごいねえ、お殿様…♡

おっぱいちゅうちゅうも、どんどん強くなってきた…♡

はっあ…♡ 私もまた、いっぱい気持ち良く…♡

ああああ…♡ お殿様…♡ かわいいお殿様あ…♡

かわいいのにかっこいい、最高のお殿様あ…♡」

白「(オホ声 5秒)」

白「んっ、っうっ、っおっ、っんっ、んおおっ♡

おっ、おおっ、うっ、っんっ、んおおっ、おおっんんっおおおっ♡

おおおおっ、んんっ、おっほおっ、おおっうっうっ♡

おおっ、っううんっ、っんうんっ、んんうおおんっ♡

ふっ、おっ、おおおっ、んっくうん…♡

んっおっ、お尻っ、熱いですっ♡ おおおお…っ。

おちんちんずぶずぶっ♡

お尻おまんこっ、どっちゅんどっちゅん…♡

何度も何度もっ、尻穴っ、挿挿…♡

激しいずぶずぶでっ、お尻っ、感じて…♡

くっ、おっ、おっほっ、んうおおお…♡

イック…っ♡ お尻イクっ、お尻イック♡

ケツまんこっ、イキます…っ♡

またっ、お下品にっ、はしたなく…っ、絶頂っ、来ます…っ♡

くおっおおっおお…♡

おっんっ、っおおっ、おうっ、っうっ、おおおうっ♡

っんっ、んっ、っおっ、おおんんんおおおっ♡

うおおおっ、おっんっ、っおおっ、おうっ、うっ♡

おおっ、おっうっ、っんっおおっんっ♡」

艶「お殿様も出ちゃう？」

うんうん、いいよ、いいよお…♡

白雪のお尻に、どっぴゅう♡って、熱いの出して…♡

おちんちん気持ち良くなるだけのお射精…♡

子作り終わりの快感だけのぴゅっぴゅでえ…♡

最後におちんちん、スッキリさせちやおうねえ…♡

ほうら、おっぱいもっとちゅうちゅうしながらあ…♡ ああんっ♡

いっぱい出して…♡ お尻に中出し…♡

お尻にどっぴゅう…♡」

白「(オホ声 5秒)」

白「おおっんっ、っおおおおっうっ、っうっ、っおおおっ♡

おっうっ、っんっ、んおおっ、っんんおっ、んんん…っ♡

んんんうっ、っおおっ、おんんっ、おおおっ、おうっ、っおおっ♡

んんんっおっ、おっ、おっんっ、んおっ、おおんっ、ん…っ♡

んうおおっおおお…♡

イクイクっ、イクイクっ、イキますっ、ほおおっおお…♡

んっ、くっ、ほおおっ、んっいいん…♡

へっ、あっ、ほおおっ、んうおおおお…♡

イツきゅううううっう…♡

(絶頂) はっ、ふっ、ううおっ、んっいい…♡

へっ、あっ、あっああっ、うっううん…♡

出てる…っ♡ 出ます…♡ お尻に、熱いの…っ♡

どくどく、びゅっぷうう…♡ おおおおお…♡

うっ、くっ、はっくっ、んっいい…♡

はー…っ、はー…♡ っあああっ、くっうん…♡

お尻交尾…っ♡ 最高です、お殿様…♡

うっ、ほっ、んうおっ、うっくう…♡

はっ、はっ、はっ、はあっああ…♡

ふうううう…♡

んっううん…♡ はあ、はあ…♡

艶「んふふ…♡

お殿様あ…♡「

白「はあ、はあ、ふう…♡

お疲れさまでした、お殿様…♡

いかがでしたか、私たちとの、子作り練習…♡

本番では、私たち以外との女性とも、

おまんこ子作りすることになります…♡

基本的に、何か変わるといことはありません…♡

今日のことを忘れずに、しっかり覚えていてくださいね…♡」

艶「んふふ♡ それがすっかりわかってくれたところでえ…♡

お風呂にでも行こっか♡

汗もたっぷり描いちゃったし、身体中、べとべとだしね♡」

白「艶美の言うとおりですね…♡

では、今からお風呂で、身体を綺麗にいたしまようか…♡

もちろん、私たちが、洗ってさしあげますよ♡」

艶「私たちに、ゼーんぶお任せしちゃってね♡

お殿様♡ んふふふふ…♡」

● 第7章

艶「はあい、お湯をかけますよ〜♡」

白「はあい、お湯をかけますよ〜♡」

艶「さあ、お殿様♡

お身体、洗ってあげるからね〜♡」

白「**私たちが丁寧に、身体中をきれいにしてさしあげます♡**

艶「特にい…どろっどろになっちゃった、おちんちんをね♡」

白「**これからたくさんお使いになる、大事なおちんちんですから♡**

きれいきれいにしましょうね♡」

艶「んふふ…♡ 見ててね、お殿様♡

こうして石けんを、身体中にたっぷりこすりつけてえ…♡

おっぱいやお腹の辺り、あわあわたあっぷりにしちゃったらあ…♡

ほら…お殿様あ…♡ 行くよお…♡」

白「こちらも泡まみれにしましたから…♡

私と艶美で、お殿様を…♡

あわあわ、挟んで…♡

おっぱいでごしごし♡ してあげますね♡」

艶「にゅる♡ にゅる♡

ごしごし♡ ごしごし♡」

白「お殿様の身体、おっぱいやお腹で、ごっし、ごっしい…♡

泡まみれにしてあげますからねえ♡」

艶「こうすれば、全身泡まみれ、

身体があっという間に綺麗になるし…♡

お殿様も、私たちの柔らかい身体、楽しめて、お得でしょ？」

白「おっぱいをむちいって、押し当てて…♡

ごしごし、ごしごし…♡ にゅる、にゅる、にゅる、にゅる…♡」

艶「あはあ♡ お殿様、また気持ちよさそうなお顔お…♡

あわあわおっぱい洗い、気持ちいいの？」

白「ふふふ…♡

どうやらそのようですね♡ その証拠に…ほら♡

お殿様のおちんちん、また、むくむくと…♡」

艶「あはぁ♡ 本当だ…♡

すごいなあ、お殿様…♡

これなら本当に、子作り本番も安泰だねえ♡」

白「さあ、お殿様♡ 勃起ついでに、おちんちんもきれいにしましょうか

♡

あわあわまみれのお手々、おちんちんをきゅっと掴んで…♡」

艶「おちんちん、ごっしごおし…♡」

白「はぁい、はぁい♡ おちんちんごしごし、ごしごおし…♡

いっぱい洗ってあげますからねえ♡」

艶「身体をおっぱいとお腹でこすこすされてえ…♡

おちんちんもお、いっぱい撫で撫で、ごしごし洗い…♡

特にこの、剥いたばかりの皮の部分…♡

剥き立ておちんちん、きれいきれいにしないとだねえ…♡」

白「指で輪っかを作りまして、こちらをお殿様の亀頭に合わせて…♡

ぐしぐしぐしぐし…♡ 亀さん洗い…♡」

艶「あはっ♡ 気持ちよさそうな声、出てきちゃったあ♡

おちんちん洗ってもらってるだけなのにねえ♡

白「そうですよ、お殿様♡

これはあくまで、おちんちんを洗っているだけなのですよ？

勃起までは仕方ありませんが、お射精なんて…♡

またおちんちん、汚してしまうなんて、いけませんよ?」

艶「いくらおっぱいむにゅむにゅ、おなかすりすり…♡

おちんちんにゅこにゅこが気持ち良くてえ…♡

お射精ぴゅっぴゅはあ…♡」

白「え？ 出る？ あ…っ♡」

艶「あはあ…♡

出ちゃったあ♡ んもう、お殿様ったらあ…♡

おちんちんきれいにしないとダメなのに、また汚しちゃってるう…♡」

白「いけませんねえ、お殿様…♡

ふふふ…♡ 仕方ありません…♡

おちんちんを洗っても勃起しなくなるまで、一旦、

おちんちん抜き抜きした方がよさそうですね♡」

艶「そうだねえ♡

それなら…ついでにまた、子作りの練習しちやおっか♡

本当は、明日しようと思ってたことなんだけど…♡

今度はお殿様の方から、おちんちんずぼずぼお♡ってる、

子作り交尾…♡」

白「先ほどは、私や艶美が動いてさしあげましたよね？

ですが今度は、お殿様が腰をふりふりして、

私たちのおまんこを、ずぼずぼするんです♡

わかりますよね？」

艶「湯船に浸かって、ぽかぽかあったまりながら…♡

かっこいいおちんちん出し入れで、私たちのこと、気持ち良くしてね♡」

白「さあ、お殿様…♡

目の前にある、艶美のお尻…♡ そして、おまんこ…♡

そこにおちんちん、ずぶうって入れるんです♡

出来ますよね？」

艶「いいよ、来て…♡

お殿様…♡ 私の大きい尻肉掴んで、支えにして…♡

勃起おちんちん、中にゆぶうって♡

突っ込んでえ…♡

んっう…っ♡ うんっ♡ そうだよ、お殿様…♡

そのまま、奥まで…♡

おおっおおお…♡ んっうっ、おちんちん、きった…♡

んっひい…♡

おおっおおおっ♡

いきなりっ、ぱんぱんっ♡ あはあ…♡

お殿様っ、すっごいつ、くっうん…♡

んっ、おおおおっ、おおおおおっ♡

うおおおおっ、おっ、おおっ、おおおっ、ほおおお…っ♡

んっほ…っ、おっ、おっ、おおおっ、んっおっ、おおおっ…っ♡

おお…おっほおおおっ、おおっ、おおおおお…っ♡」

艶「(オホ声 5秒)」

白「ふふ…っ♡

まだほとんど教えてないのに、おちんちんずぼずぼ…♡

先ほどの子作り経験済みとはいえ、

この腰振りは、すばらしいです…♡

さすがお殿様…♡

艶美のおまんこ、ばちゅばちゅ、犯しまくりで…♡

そんなかつこいいところを見せられたら…この白雪…。

ますますお殿様のことが大好きになってしまいます…♡

(耳舐め 5秒)

はっぁ…♡ あぁ、お殿様…♡」

艶「んん…っ、うほおっ、おおおっ、おおお…っ♡

おおっ、うっおおっ、おおっううう…っ♡

ほおっ、おおっ、ほっ、おおっ、んうおっ、おおおっ♡

ほっおお、んうおっ、おおっ、うんんっ、ほっお…っ♡

んっおっ、んっくっ、すごいっ、お殿様ぁ…♡

初めてのおちんちんどちゅどちゅなのにつ♡

私のおまんこっ、おっほお…♡

いっぱいっ、気持ち良くっ、されちゃってえ…♡

おおおっ、おおおおっ、おおおっ、うっほお、おおっほお…っ♡

おおっ、んうおお、おおおお…っ、んっうっおおお…っ♡

お殿様っ♡ 好きっ、好きい…っ♡

おっ、ほっ、んっほっ、くううおおおお…♡

んおお…っ、んんんおお…っ、おおっんっ、んんんっ♡

おおお…っ、おおおっん…っ♡

お…っ、ほおおおおお…っ、おおおおお…っ、おお…っ♡」

白「(耳舐め 5秒)」

艶「(オホ声 5秒)」

白「お殿様…♡

(耳舐め 5秒)

どうぞ、どうぞ…♡

好きなだけ、おちんちん、ぱんぱん、ぱんぱん…♡

後ろからたくさん、抱きしめていてさしあげますから…♡

力いっぱい、全力で…♡

おちんちん、どっちゅんどっちゅん…♡

(耳舐め 5秒)」

艶「おおお…っ、おおっ、ん…っ、んんおおおおお…っ♡

おおおおお…っ、おっんんお…っ♡

ほおおおおお…っ、おお…っ、おっお…っ♡

んっいいいん…♡

お殿様っ、うつくうっ、お殿様あ…っ♡

ふつくううん…っ♡

ふっ、ほっ、うっおっ、んっううう…っ♡

子宮っ、突かれて…♡ くっ、うっ、うっおっ、ほっおおん…♡

熱いっ、おちんちん…っ♡

おまんこっ、焼けちゃう…っ♡ どろどろっ、とろけちゃう…♡

おちんちん責めっ、すっごいのお…♡

んっお、おっほ、っおおお、んっおおお…っ♡

おっ、おっ、おっ、おっおおっお…っ♡

白「(耳舐め 5秒)」

艶「(オホ声 5秒)」

白「ふふふ…♡

お殿様…♡

抜き差ししているおちんちん、

どんどん真っ白に汚れていきますね…♡

わかりますか…？

これが、艶美の本気汁…♡

おちんちんで突かれて、本気で感じている時の、ドスケベ汁です…♡
それだけお殿様のおちんちんが、強くて、かっこよくって…♡
最高だったことですよ…♡

(耳舐め 5秒)

さあ、お殿様…♡

このまま艶美のこと、イカせてあげてください…♡
おまんこどちゅどちゅ、おちんちんで犯して…♡
もちろん最後は、子作り種付け…♡

おちんちん、おまんこの奥で、びゅー♡ びゅー♡ ですよ…♡

(耳舐め 5秒)

艶「んっ、うおおおんっ、おんっ、んっ、うんおっ♡

おおんっ、うおんっ、おおうおおうっお…っ♡

っおおっ、ほおおおっ、おちんちんっ、またおつきく…♡

んっくっ、イックっ、ほっおおっ、ひっぐう…♡

おまんこイック…♡ おちんちんでっ、またっ、イカされる…♡

んんっ…んお、おん、んっ、お、おお、ううっ、うん♡

おん、おんっ、お、おっ、うん、んっ、んっく、んっふ…♡

かっこいいちんちんでっ、ずぼずぼっ、ばちゅばちゅ…♡

おまんこ屈服させられてっ、イグイグっ、ひっぐうう…♡

うっおおっ、ほおおおっ、くううんっ、んっおおおお…♡

イッグ、イッグ、んいぐいぐっ、ふっぐううおおお…っ♡

おっ、おっ、おっ、おっ、おおっ♡ んおおおおお…♡

(絶頂) んっひいいいん…♡ おおおおっ、んうおおおっ♡

んっ、くっ、ほっおおおっ、ふうううん…♡

精液、どっぷう…♡ お腹の奥にっ、熱いのっ、出てるよお…♡

ふっ、おっ、おっほっ、くううう…♡

ほかほか、子作り汁…♡ 子宮にたくさん…♡

へっ、はっ、お殿様…♡

おちんちん、すっごく素敵い…♡

んおお…っ♡

はぁ、はぁ、はぁ…♡

白「(耳舐め 5秒)」

白「ふふふ…♡

おちんちん、お疲れさまです、お殿様…♡

では…♡

今度は私のおまんこも、お願いできますか…？

私のお尻もがっしり掴んで、おちんちんずっぱん…♡

私のおまんこにももう一度…♡

子作り精液、中出し、お願いします…♡」

艶「んふふ…♡ できるよね、お殿様♡

かっこいいおちんちんと、立派な金玉、ついてるもんね…♡

白雪のこと、気持ち良くしてあげられるよね？」

白「んっお…♡ おちんちん、まだこんなに…っ♡ くっお…♡

ふっ、くっ、入る…♡ 入ってきます…っ♡

うっおおっ、んうっおお…♡

おちんちん、後背位…♡

メスがオスに犯される格好で、おまんこ交尾い…♡

んっおおっおお…♡

んっうおっ、ほおおっ、うっくっ、ほおおおお…♡

へっ、はっ、ほっおおおっ、くっふうう…♡」♡

艶「ほうら、お殿様あ…♡

おちんちん、ぱんぱんぱんだよお…♡

(耳舐め 5秒)

はぁ…♡ 私もいっぱい、応援してあげるからね…♡」

艶「(耳舐め 5秒)」

白「んおっおお…♡

うっおおっ、んっおっ、おっほっ、くううおお…♡

あっ、くっ、おちんちんっ、ずぶずぶ…っ♡

出し入れっ、すごく上手でっ、くううう…♡

これは確かにっ、おまんこっ、本気になってしまいます…♡

本気汁、どろどろ…っ♡ いっぱい溢れてっ、ほおおお…♡

おほおっ…おおんっ、おんっ♡

いや、やん、んおう、おう、おん、おんっ、んおっ、んおうっ…♡

んおっ、おん、んくっ、んうっ…♡

んお、おおん、おっ、おんっ、んう、んお、んおっ♡

おっ、おっ、おっ、おっ…♡

んっおっ、くっうっ、ほおおおっ、っううん…♡

へっ、へっ、ほっ、ほっおおお…♡

んっひい…♡」

艶「ほら…♡

また白雪ったら、お下品な声、いっぱい出しちゃってる…♡

普段あんなに冷静沈着な白雪も、お殿様にかかれば、イチコロだね…♡

お殿様のおちんちん、本当に最高…♡

かつこよすぎて、メス殺しになっちゃってるねえ…♡

オスとして、相当立派になっちゃったねえ…♡

んふふ…♡

(耳舐め 5秒)

はぁ…♡」

白「(オホ声 5秒)」

艶「(耳舐め 5秒)」

白「うっおおっ、んっいい…♡

えっえああっ、くううう…♡

お殿様…っ♡ ああ、お殿様…♡ くっふううっ…♡

うっおおっ、おおおっ、ぱんぱんっ、すごいです…♡

お尻っ、どちゅどちゅっ、ぶつかって…♡

尻肉っ、波打ってっ、んっいつ、くうお…♡

こんなやらしい交尾っ♡ お殿様につ、していただけるなんてえ…♡

おっおおおお…っ♡ おまんこ熱くなっちゃいます…♡

子宮がっ、お殿様のおちんちんっ、欲しがって…♡

精液注いで欲しくてっ、きゅんきゅんっ、うずうずう…♡

んっ、おん、んお、おっく、んっく、いや、うおん♡

んうっ、んお、んおう…♡

ふっ、くっ、ほおおっ、んっいいん…っ♡

おおおっ、うっおおっ、んっひ♡

うおおおお…♡

んっ、おお、おおんっ、おんっ、いや、やん♡

んおう、おう、おん、おんっ、んおっ、んおうっ…♡

うっく、うぐ、うお、うおんっ、おん、ほおっ、おほおっ…♡

お殿様あ…っ♡ んっひいいんっ♡

お殿様っ、お殿様あ…♡

おっ、おおっ、ほおっ、おんっ、おん、おんっ、やんっ、ふおっ♡」

艶「ああ、もう白雪ったら、完全にメスになっちゃってるね…♡

お殿様に孕まされたい、ただのメス…♡

女じゃなくなつてメスなんだよ？ 動物みたいになつちやてる…♡

だったらお殿様も、動物みたいになつちやっていいよね…♡

(耳舐め 5秒)

オスみたいになつて…♡

おちんちんガッチガチに太く、大きくして…♡

メスの白雪、孕ませちゃえ…♡

(耳舐め 5秒)」

白「(オホ声 5秒)」

艶「(耳舐め 5秒)」

白「おおおおっおおおお…♡

お殿様っ、おっほっ♡ お殿様あっ♡

おちんちん強い…っ♡

お尻がっしり掴まれてっ、奥までっ、んっひい…♡

おっ、おっい、んお、おおん、おっ、おんっ♡

んう、んお、んおっ、おっ、おっ、おっ…♡

ん、っく、ん、んふう、んお、おう…♡

んお、お、んおっ、おおっ、ううおっ…♡

おっおっ、うっおおっ、それっ、だっめっ、だめですっ、お殿様…♡

そんなにかっこいいおちんちん、突き込まれたら…♡

イグ…っ、おまんこイッグ…♡

もっとお殿様とおまんこ交尾、楽しみたいのに…♡

おまんこイグイグ♡ おまんこイギますう…♡ おおおお…っ♡」

艶「さあ、お射精だよお、お殿様…♡

白雪のよわよわ子宮に、孕ませどっぴゅん…♡

あっつい精液いっぱい出そうね…♡

金玉空っぽになっちゃうぐらい、熱くて濃いのが、たっくさん…♡

中出ししてえ…♡

(耳舐め 5秒)

出せ出せ、出せ出せ…♡

イケ、イケ、イッケえ♡ イケイケえ…♡

(耳舐め 5秒)」

白「(オホ声 5秒)」

艶〔耳舐め 5秒〕

白「んお、んう、おん、うん、おん、おんっ♡

ん、んお、ほお、おふ、ふおっ…♡

んっ、おっ、おう、んっ、んうっ♡

ひいつ、っおお、んおう、んっく、くお…っ♡

んっううんおお…♡

イグイグイグイグっ、ほおおおっ、イツグううう…っ♡

んっおっ、っおおおっ、くうおおっ、ほおおっおおおお…♡

んっいいいいん…♡

（絶頂）うおおおおあああ…♡

んっううおっ、ほおおおっ、くううっおっ、んいいいい…♡

へっ、はっ、おおおっ、お射精っ、びゅるるうう……♡

んっくううっうおお…っ♡

熱いつ、子宮っ、いっぱいっ、んっおおお…♡

孕む…っ♡ 孕みます…♡

こんなに強くっ、奥にっ、注がれたら…♡

愛するお殿様の赤ちゃん、絶対、孕むう…♡

はー…っ、はー…っ、はー…っ♡

うつくう…♡

ふっう、ふっう、ふううっ、はぁぁぁ…♡

っおお…っ♡ はぁ、はぁ、ふう…♡」

艶「お疲れ、お殿様…♡

連続交尾、大変なのに、すごいねえ…♡ んふふ…♡

じゃあ、お殿様♡

おちんちんスッキリしたところで、今度こそ、

身体をきれいにしちゃおうね♡」

白「ええ…♡

おちんちんスッキリして、落ち着いている今のうちに…♡

今度こそ、全身きれいきれいに、洗ってさしあげますね♡

ふふふふふ…♡」

● 第8章

艶「ほらほら、お殿様♡

こっちこっち♡

白「お風呂の後に夜風に当たるの、気持ちいいですよ♡

ふふふ…♡」

艶「うくん、いつ見ても、いい眺め♡♡

この天守閣から城下を見下ろすの、私、好きだなあ♡」

白「お殿様は…もしかしたら、初めてでしょうか？

こんな遅い時間に、この天守閣に出るというのは。

普段はもう、眠っている時間ですからね。」

艶「夜の町っていうのもいいものだよ♡

あちこちに明かりが付いてて、それが蛍みたいに浮かんで見えて…。」

白「今夜は特に、月がきれいな夜ですから。

驚くほどに、町が明るく見えますね。ふふふ…。」

艶「んう…？

こら♡ お殿様♡

その目…町に向いてないな？

今、どこを見てたのかなぁ♡」

白「え？ ふふ…♡

そうなのですか、お殿様？

一体どこを見ていたというのですか？」

艶「今、お殿様ってば、私たちが向こうを向いてるからって…♡

私たちのお尻、見てたでしょ？」

白「そうなのですか？ まったく、それはいけませんねえ♡

せつかくこんなにいい雰囲気だというのに…♡

おちんちんに正直すぎます♡」

艶「でも、おちんちん好きなのはいいことだよ♡

子作りにはとっても大事なことも♡

だから…また、ムラムラしちゃったおちんちん、

スッキリさせちゃおっか♡」

白「いいですね♡

それでは…ふふ、お殿様、ちょっとよろしいですか？

せっかく城下を見下ろせる場所にいますから…♡

艶美の後ろに回って…さあ、艶美の足をこう掴んで…♡」

艶「やんっ♡

ちよっと、白雪、何をーひゃあっ!？」

白「ほうら…♡

艶美の身体、持ち上げられましたね♡

これでちょうどいい高さに、艶美のお尻…♡

おまんこが来たでしょう？

そこにずぶうっと、お入れください♡」

艶「こんな、持ち上げ交尾…♡

城下を見下ろしながら、私、お殿様にハメられちゃうんだ…っ♡

やだ、ドキドキしてきちゃう…♡

おまんこきゅんきゅんってしてきちゃう…♡」

白「さあ、どうぞ、お殿様♡

おちんちんずっぷり、おまんこぱんぱん…♡

城下を見下ろしながらの子作り…初めてください♡」

艶「んっう…♡ お殿様の、まだこんな…っ♡

っおおおん…っ♡ んっ、ほっ、くっうんっ、ほっお…♡

おちんちん、入ってえ…♡

ほおっ、んんお、っくお…っ♡

んうっ、おおん、うん、おんっ、おっ、んお、おお…っ♡

んっおっ、ほっおおっ、お殿様のっ、突き上げえ…♡

おっ、おおおおっ、すっごっ、お殿様あ…♡

ひい、おほお、ううおっ…♡

おお、ん、んふ、んお、んう、お、っおお…♡

お、おおっ、ん、んふう、んっ、んお、おん、んう…♡

んお、うっふ、うん、おほ、おんっ、おんっ、おんっ♡」

艶「オホ声 5秒」

白「お上手ですよ、お殿様…♡

おまんこ交尾、1っ教える度に、あっという間に習熟なさって…♡

かっこいいです、お殿様…♡

(耳舐め 5秒)

はあ…♡

持ち上げた艶美のお尻、ばっちゅんばっちゅん、打ち付けるように、
どちゅどちゅ、突き上げ…♡

おちんちん、鋭く出し入れ…♡ ご立派です…♡

ふふふ…♡

(耳舐め 5秒)

艶「はっ、はっ、あはあっ♡ んひひ…♡

城下を見下ろしながら、赤ちゃん作り…♡

向こうから見られることなんてないって、わかってても…♡

おおっおお…♡

やっぱ、これ、恥ずかしい…♡

ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ♡

んふ、んっふ、おお、おお、おおん、んおん…っ♡

恥ずかしくってえ…♡ 感じちゃう…♡

んおっ、おんっ、おっ、んお、おおんっ、おおんっ♡

うん、おんっ、お、おっ、おんっ、やんっ、おお、うおんっ♡

おん、うん、おん、おんっ、ん、んお、ほお、おふ、ふお…っ♡

お殿様…っ♡ うううん…♡

お殿様あつ、んいいい…っ♡

おちんちんっ、熱い…っ♡

ずっとっ、硬いつ、おつきいままでっ、んっうん…♡

全部の体位っ、気持ちいい…♡

お殿様につ、おちんちんずぶずぶされるのっ、全部っ、好き…♡

おお、ん、んふ、んお、んう、お、っおお…♡

お、おおっ、ん、んふう、んっ、んお、おん、んう…っ♡

んお、んふう、うう、うお、おう♡

んう、ん、んっく、くう…んんんう…♡」

艶「オホ声 5秒」

白「ふふ…♡ 大丈夫ですよ、お殿様…♡

もっとおちんちんに集中していただいて…♡

艶美は私が一緒に支えますから…♡

落とす心配はしないで…ただ、おちんちん出し入れにだけ、集中…♡

わかりますよ、お殿様…♡

もっとぱんぱん、したいんでしょう…？

おちんちん、おまんこの感触に慣れて…♡

もっと先へ…♡

もっとオスらしいおちんちん交尾…♡

見せてください…♡

(耳舐め 5秒)

かっこいいあなたを、見せてください…♡

お殿様…♡

(耳舐め 5秒)

艶「おおおおお…っ!？」

おちんちんっ、激しっ!？ んっいいいい…っ!？

んおっ、ん、んお、おん、おお、おん、おお♡

んっ、んふ、んっふ、おお、おお、おおん、んおん…っ♡

お殿様っ、強いっ、おちんちんっ、ずぶずぶうっ、くうっうん…♡

ん、んお、んっ、うん、おんっ、お、おっ、おんっ♡

おおっ、んっ、んぐっ、んう、んっ…♡

へっ、はっ、うっくっ、ほおおお…♡

お殿様っ、こんなっ、こんな交尾っ、あつくうっ、ほおおお…♡

うっいっ、うっぐっ、くうおおっ、へっえあああ…♡

おんっ、いや、おん、おんっ、おう、うんっ、お、んっ♡

んっ、うん、おんっ、お、おっ、おんっ♡ん、おん、ほお♡

おおん、うん、おんっ、おっ、んお、おおんっ♡

お殿様っ♡ あああっ、お殿様っ、くうおおお…♡

好きになっちゃうっ、ほおおっ、んうおおおっ♡

好きなのにつ、もっとっ、大好きっ♡

いっぱい好きっ、いっぱい好きっ♡

お殿様っ、お殿様あ…♡

おお、おん、うん、うつふ、うん、おほ♡

おんっ、おんっ、おんっ♡

んっおおっ、イグイグっ、うおおっ、おまんこイッグっ♡

おちんちん突き上げでっ、イカされっ、るううおお…っ♡」

艶「オホ声 5秒」

白「ふふ…♡

さあ、お殿様♡

艶美の子宮をどっちゅり犯して…♡

激しい腰振りでこじ開けて、一番奥に、どっぷり、中出し…♡

夜の城下を見下ろしながら、種付けしてください…♡

さあ、どうぞ、どうぞ、どうぞ…♡

出してください…♡ 中出しどうぞ…♡

おちんちんお射精…♡ 一番奥に…♡

びゅう、びゅう、びゅう、びゅう…♡」

艶「絶頂）んっっっっっっっ…♡

んっいいいっ、ほおおおっ♡ うっおおっ♡ くううう…♡

っああっああ…♡ どぐどぐ出てる…♡

熱いの出てるっ♡ おっおっ、くうおおお…♡

へっ、はっ、どろどろっ、子種汁う…♡

お殿様の…っ♡ ううううっ♡

強く、奥…っ♡ 押し付けられて…♡

くっほっ、ふっ、うううう…♡

おおおお…♡ ふー…っ、ふー…っ、ふーう…っ♡

はっ、はっ、はっああ…♡」

白「ふふふ…♡

おちんちん、ありがとうございます、お殿様♡

…はい？

あは…♡ 次は私のおまんこも…ですね？

ええ、もちろんです、お殿様♡

まさかそちらからお誘いしていただけたとは…♡

今日一日で、本当に成長しましたね…♡

嬉しいです、お殿様…♡」

艶「じゃあ…ほら、お殿様♡

今度は私がお手伝いするからね♡

白雪のお尻、ぐいって握って…♡」

白「んっう…♡ どうぞ、お殿様…♡

私の身体、持ち上げて…んっあっ♡

はあ、はあ…♡ ああ、私…♡

お殿様に、抱え上げて、いただいて…♡

大足開きの、はしたない格好…♡

城下に向かって、なんて姿を…♡

はあ、はあ、ああ…♡」

艶「はあい、お殿様…♡

まだまだ種付けし足りない、暴れん坊なおちんちん…♡

白雪の中に、ぶち込んで…♡

男らしいおちんちん出し入れて、喜ばせてあげて…♡」

白「おおお…っ♡ お殿様のっ、来るう…♡

下からっ、熱いの…っ、突き刺されてしまいますう…♡

んうおおっおおお…♡

うっ、くっ、ほおおおお…♡

っああっ、くううっ、んっいいああ…♡

ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ、んふ、んっふ♡

おお、おお、おおん、んおん…♡

んっうおっ、おっふ、っくうう、んうああ…っ♡

んいっ、んっひい…っ♡へあっ、ふあっ、あっふ、んういい…っ♡

んうおおおおお…っ♡

へっ、あっ、んっうういっ、ほおっおおお…♡

お殿様のっ、どちゅどちゅっ、突き上げ…っ♡

なんて男らしい…♡

本当につ、ご立派に、成長なさって…♡

あああ…っ♡ 子宮が疼いてしまいます…♡

強いオスにつ、メスの本能っ、なびいて…っ♡ ほっおおお…っ♡

おおおっ、っんんおっ、おおおおっ♡

おうっ、んっおっ、おんんっおおおっ、っんん…っ♡

んっ、んっうっ、おっ、っんっ、おっ、おおっ、おおおっ、っうっ♡

んんっ、っおおんっ、んっ、おっ、っんっ、んうおお…っ♡」

艶「お殿様あ…♡

(耳舐め 5秒)

もうすっかり、おちんちん大得意になっちゃったねえ…♡

もう子作りのお勉強、いらないね…♡

これからは、お勉強じゃなくて、ずうっと本番…♡

いろんな女孕ませまくる、子作り生活始まっちゃうねえ…♡

(耳舐め 5秒)

もちろん、私たちも…♡

いつでもお殿様のお相手、してあげるからね…♡

お殿様のお誘い、断る女なんていないから…♡

お殿様に求められれば、誰だって、すぐ…♡

おまんこ差し出すからねえ…♡」

白「(オホ声 5秒)」

白「んっ、っうっ、おっ、おおおっんんんっおおおっ

おおおっうっ、んんおおおっんんっ、んお…っ♡

はっ、んっ、お殿様…♡

お願いします、私にも…♡ 強い突き上げ…♡

味わわせてください…♡

先ほど、艶美にしていた、強い抽挿…っ♡

メスをおちんちんの虜にする、最高のおちんちん出し入れえ…♡

この白雪にも、味わわせてください…♡

お殿様の全力交尾で…♡ 子宮屈服、お願いしますう…♡

んうおおおおお…♡ ほおおっ、うおおおおおおお…♡

へっ、はぁっ、うっくっ、ほおおおおお…♡

すごっ、しゅごいですっ、うっひっ、んおおおおお…♡

ばちゅばちゅっ、ぐちゅぐちゅっ、おまんこの中っ、かき混ぜられてっ

♡

おっ、おっ、おっ、おおおおお…♡」

艶「ああ、これこれえ…♡

これに私も、やられちゃったんだあ…♡

お殿様の、全力交尾…♡

もうこんな腰振りできるようになっちゃったんだね…♡

ついさっきまで、かわいいへこへこ腰振りしちゃってたのに…♡

男の子の成長、早すぎだよお…♡

かっこよすぎい…♡

(耳舐め 5秒)

お殿様…♡ 好き、だあい好き…♡

おちんちん強い男の子、大好き、大好き…♡

孕まされたい…♡

お殿様の赤ちゃん欲しい…♡

私も、白雪も…♡ 他のお世話役の女の子も、みんな…♡

お殿様の、このかっこいいおちんちんで、孕まされたがってるよお…♡

(耳舐め 5秒)」

白「(オホ声 5秒)」

白「おおっ、 おおんんっ、 っおおおっ、 おおおっうっ、 うっ♡

っおお、 おおおっうっ♡

んんんおおっんっ、んおっ、おっ、おっんん…っ♡

んっ、んうっおっ、んんっおっ、っうっ、っうっ、っおっ、おっ♡

おおっうっ、んんおっ、おおおっんんっ、おっ、っんん…っ♡

うっくっ、ふうおっ、んっおおっ、んっひいん…♡

おおおっ、んうっおおおっ、うっ、くっ、ほおおおお…♡

ううおおっ、イグイグっ、お殿様っ、イギますっ♡

おまんこイギます…♡

子宮、降りて…♡ おちんちんにつ、子宮っ、くっついて…♡

精液直に注いで欲しいって♡ 直接孕ませ種付けしてくださいって♡

身体がっ、疼いて…っ♡ おおっおお…♡

イグイグっ、イッグっ、ほおおっ、んいっぐううう…♡

ほっおおおっ、イギますっ、イギますっ♡

お殿様っ、うおおっおお…♡

えっ、あっ、うくおっ、んいいおおお…♡

うっおっ、ほおおおっ、ううおおっ、んうおおお…♡「♡

艶「ほっら、出しているよお、お殿様あ…♡

どっぷり出してちゃお♡

熱々精液、いっぱい種付け…♡

赤ちゃん作ろ♡ 孕ませよ♡

私も、白雪も、みんな、みんな…♡

お殿様の精子で、ボテ腹にしちゃえ…♡

出して、出して、精子出して♡ 精液出してえ…♡

おちんちんぴゅっぴゅ♡ おちんちんぴゅっぴゅ…♡

びゅー、びゅー、びゅー、びゅー…っ♡」

白「(オホ声 5秒)」

白「(絶頂) ふうおおおおおおお…♡

んっおおおっ、んっいいっ、おっ、くうおおおおお…♡

んいつぐううおお…♡

イッグ、ひっぐっ、中出しされながらっ、おまんこイグっ、イッでます

う…っ♡ おおおお…♡

くっ、おっ、ふうおっ、ほっおお…♡

どろどろの、おちんちん汁…♡ ふうううおおおお…♡

子宮いっぱい…っ♡ 注がれてえ…♡

ふー…っ♡ ふー…っ♡ ふっくっ、ほおおおおお…♡

へっえ、はっあ、ほっおおっ、くううっおお…♡

はっ、ふっ、くっ、んっううん…♡

おおっおお…♡

はっ、はっ、はっ、っあああ…♡

お殿様あ…♡」

艶「あは…♡ おまんこからどろおって、いっぱい溢れてきてる…♡

いっぱい出したね♡ かつこいいい…♡ んふふ…♡

お疲れ、お殿様♡

おまんこ子作り、気持ち良かったーあっ!？」

白「お殿様!?!…ふふ、さすがに体力の限界だったようですね♡

今日は精通からずっと、お射精しっぱなしでしたから♡」

艶「もうおねむの時間だもんねえ♡

よしよし♡ がんばったねえ♡ んふふ…♡」

白「すぐにお布団にお連れします♡

今日はもう、お休みとしましょうか♡」

艶「子作りの続きは、また明日…ね？

ぐっすり眠って、体力を回復したら…

また、いっぱい気持ちいいことしちゃうね♡」

白「ええ♡ お殿様…♡

おやすみなさい…♡ ふふふふふふふふ…♡」

● 第9章

艶「ほらほら、お殿様…じゃなかった、ボクちゃん♡

こっちに面白いもの、いっぱいあるよ♡」

白「こら、艶美…っ。

はしやぎすぎです…っ。」

艶「そんなことないよお♡

だって、せっかくのお祭りなんだよ？

楽しまないよ損だよ、損♡」

白「そうは言っても…っ。

これはあくまでお忍びなのですよ？

あんまり目立つようなことをしては、民にバレてしまいます…っ。」

艶「だからボクちゃんって呼んで、バレないようにしてるんじゃない…♡

ねえ、ボクちゃん？ んふふ…♡」

白「その呼び方も気に入らないんですよ…っ。

もう…っ。」

艶「まあまあ、そんなことよりさ♡

ほら、白雪♡ あっちにあんたの大好きな飴売りがいるよ？

買ってくれば？」

白「えっ、飴ですか？

ど、どこに…。

で、ではなく…っ。

そんなことを言って、ごまかそうとしたって…っ。」

艶「ごまかしてなんかいいお♡

ボクちゃんも飴、欲しいよねえ？

ほうら、頷いた♡ ボクちゃんの分も一緒に、

買ってきてよ。」

白「む、むう…。

お殿様がそういうのであれば…。

では、行って参ります。しばらく待っていてくださいね。

と言っても、かなり混み合っているようですから、どれだけかかるか…。」

艶「んひひ…♡ 行った行った♡

さ、ボクちゃん♡ 今のうちに、あっちに行こ♡

んふふ…♡

ここなら大丈夫だよ、お殿様♡

おちんちん…したくなっちゃったんでしょ？

お殿様ったら、お祭りよりもおまんこだなんて…♡

もうすっかり大人の男になっちゃったんだね♡

白雪から離れる作戦も上手く行ったし…この路地裏なら、

他の人にバレずに、おまんこできるからね♡

はあい、お殿様♡ どうぞお♡

民たちのお祭りの喧噪聞きながら、お忍びおまんこ交尾…♡

隠れて子作りおちんちん、いっぱいしちやおうね…♡

んっうん…♡ おちんちん、熱う…っ♡

はっ、んっ、くっうん…っ♡

ほっおおおん…っ♡ おおっ、んっううおっ♡

うっくっ、ほっお…♡

ふー…っ、ふー…っ♡ お殿様の、おちんちん…っ♡

おまんこする度に、おっきくなってるみたい…♡

どんどんおまんこ、拡げられて…っ♡ いっぱい、感じちゃう…っ♡
んっ、んうっ、おおおおおっ♡

んっ、んっ、っおおっ、おうっうっ、っおおおっ、おおっ♡

んんんっおおおっ、っんっ、っおっ、おっ、んんっ…っ♡

んんっうっ、っおっ、おおっんんっおっ♡

おっ、っふうっ、ふうっ、っおっ、おおっうっ♡

んんんっおおおんっ、っおおっ、うおおん…っ♡

んうおおお…っ♡ ふっ、くっ、んうおっ、んっいいん…♡♡

おっ、っんんっおっ、おっ、うっ、うっ、っおおっ♡

おっ、うっ、んんっ、んおんんっ、っおおっ、んんんおお…♡

はっ、はっ、これ、やば…っ♡

喘ぎ声、我慢しようと思ったけど、無理…っ♡ おおっおおお…っ♡

おちんちん気持ち良すぎてっ、っおおお…っ♡

ほっ、くっ、おっほっ、んっうんお…♡

お下品な声、いっぱい出ちゃう…っ♡

お祭りの音、なかったら…っ♡ バレちゃってたあ…っ♡

んうっお…っ♡

うっ、おおっ、っんんんっおおおおっ、おっうっ♡

おおおっうっ、んっ、おおおっんっ、んんおおっ、おっん…っ♡

おおおっ、おおっんんっおおおっ、うっ、っうっ、おおっ♡

っうんっ、んっおっ、っんんんおっ、おっ、っんっ、んう…っ♡

あっ、んっおっ、うっくっ、ほおおお…っ♡

おまんこっ、ずぼずぼっ、気持ちいいっ♡ おおおお…っ♡

お殿様っ、んっうんっ、ほっ、くっ、うっおっ♡

んっいあああ…っ♡

んっ、んんっうっ、おおおんっ、んっ、っおっ、っうっうおおおっ♡

おおうっ、んっ、っおっ、おっ、おっ、っんっ♡

んおっ、おおおっんっ♡

おっんっおっ、おうっ、うっ、おっ、おうっ、っんっ♡

んっおお…っ、おおおっ、んんっ、おおおおお…っ♡

んんんっ、んうおっおお…っ♡

んうい…っ♡ お殿様っ、手、手が…っ♡

おっぱいっ、むぎゅうって、おっおおお…っ♡

背中越しにっ、一生懸命、手を伸ばしてっ、おっぱい、揉み揉み…っ♡

必死におっぱい揉んで…っ♡ お殿様っ、かわいいよお…っ♡

んっ、おおおっうっ、うっ、っおっ、おうっ♡

んんっ、っおっ、おんんんっおおお…っ♡

あっあああ…っ♡

おちんちんっ、こんなにつ、かっこいいのに…っ♡

ほっおお…っ♡ んおっ、んっうっ、おっ、ほっ、ほっお…♡

お殿様がっ、かわいすぎて…っ♡ ううん…♡

子宮っ、きゅんきゅんっ、疼いちゃう…っ♡

お殿様の赤ちゃん産んであげたくなっちゃって…っ♡

おまんこっ、おちんちんっ、締め付けちゃう…っ♡

んうおおっおおお…っ♡

んんっうっ、おおおっんんっ、んおおおおっ♡

おおっ、おうっ、っんんおおおっんんおおっんっ♡

んっ、っうっ、っおっ、っんっ、んおおっ♡

っおっ、おおっ、うっ、っんっ、んおおっ、んんっおおおっ♡

ほっ、へっ、ほっ、ほおおお…♡

んっおっ、んうおおっ、うううっ、おっおおお…♡

んうおおおおお…っ♡

んっいいっ、ほおおおっ、くっうおおお…♡

おちんちんっ、どちゅどちゅ来たっ♡ お殿様のっ、全力腰振り…♡

おおおおお…っ♡ 子宮押されるっ♡ 子宮犯されるっ♡

お殿様っ、んっくおっ♡ それ好きっ、それ好きっ♡

おまんこイグイグっ、おまんこっ、イググうおお…っ♡

んうっおおお…♡

んうおっ、おっほっ、出してっ、お殿様っ、精子っ、ちょうだいっ、

奥っ、奥うっ、ほおおお…♡

んっうおおお…っ♡

イック、イックっ、うっおおおっ、ひっぐうおおお…っ♡

イクイクイクっ、ほおおっ、んうおおお…♡

出してっ、出してっ、お殿様っ、出してえ…♡

おっ、おっ、おっ、おおお…♡

（絶頂）おっへああああ…っ♡

んっいいいっ、うおおっ、ほおおお…♡

うっうっ、くっふっ、んうおっ、ほおおお…♡

っおおっ、んうっおっ、どぶどぶっ、射精…っ♡

へっ、はっ、くっふっ、ふうっお、ほおおお…♡

子宮、熱い…♡

お殿様…っ、おちんちんだけじゃなくて、精液も…♡

毎日、成長して…っ、たっぷり、濃厚に、なってってえ…♡

おおお…っ♡

ふー…っ♡ ふー…っ♡ はああああ…っ♡

んうおっ！？ お、お殿様っ！？

ま、待って…っ。まさか、連続…っ。

んうおおおおお…っ♡

お尻…っ、お尻いい…っ♡

んっおおっ、ほおおお…♡ ふっ、くっ、うおっおおお…♡

お尻にっ、おちんちん…っ♡ どっちゅん、突き刺さって…♡

これ、やばい…っ♡ お尻っ、きゅんきゅん、止まんない…っ♡

おおおおおおお…っ♡

おおおおおっ、んんっ、おっほおっ、おおっうっうっ♡

おおっ、っううんっ、っんうんっ、んんうおおんっ♡

おっんっ、っおおっ、おうっ、っうっ、おおおうっ♡

っんっ、んっ、っおっ、おおんんんおおおっ♡

うおおおっ、おっんっ、っおおっ、おうっ、うっ、おおっ♡

おっうっ、っんんっおおおっんんっ♡

おっへああ…♡

お殿様っ、お尻っ、交尾っ、すごいですうっ♡

おおっおおおおお…っ♡

ずんずんいっぱい♡ お尻っ、出し入れ…っ♡

中出し精液まみれのっ、にゆるにゆるおちんちんでっ、

尻穴っ、じゅぷじゅぷう…っ♡

おおおおっ、んっいいいつ、お尻っ、ばちゅばちゅ…っ♡

犯されるのっ、気持ちいい…っ♡

おおっんっ、っおおおおっうっ、っうっ、っおおおっ♡

おっうっ、っんんっ、んおおっ、っんんんおっ、んんん…っ♡

んんんうっ、っおおっ、おっ、おんんんっ、おおおっ♡

おうっ、っうっ、っおおっ、おっ、うっ、んんんっおっ♡

おっ、おっんっ、んおっ、おおんっ、ん…っ♡

お殿様…っ♡ ううっおおっ、んうおおおおお…っ♡

んっいいいい…♡ おっぱい、また…っ♡

むぎゅむぎゅっ、強くう…♡

んんっ、おおおおおっ、おおおおおおおっ、うおおおおおっ♡

おっ、おおっ、おおおっ、ほおおお…っ♡

くううおおお…っ♡

乳首っ、つままれて…っ♡

こっ、こんなのっ、我慢っ、無理いい…♡

んっほ…っ、おっ、おっ、おおおっ、んっお、おおおっ…っ♡

おお…おっほおおおっ、おおっ、おおおお…っ♡

うっおっ、おおおっ、イックっ、お尻っ、またイクっ、またイクっ♡

お殿様っ、ごめんなさい…っ♡ ザコ尻イギます…っ♡

お殿様のおちんちんに負けちゃってっ♡

ケツ穴イギますっ、くうおっおお…♡

んん…っ、うほおっ、おおおっ、おお…っ♡

おおっ、うっおおっ、おおっうう…っ♡

ほおっ、おおっ、ほっ、おおっ、んうおっ、おおおっ♡

ほっお、んうおっ、おおっ、うんんっ、ほっお…っ♡

んうおおおおっおお…っ♡

ほおおおっ、んうおおおっ、んっいいっ♡

ほおおおおお…♡

うおおおっ♡ イグイグイグイグっ♡

ほおおおっ、ひっぐうおおお…♡

おケツイグっ、ケツ穴イグっ♡

うっおおおおっ、くうおおおお…っ♡

おおおおっ、うおおおっ、んうおおおおっ♡

んうおおおお…♡

イッグうおおおおおお…♡

（絶頂）おっほえええああ…っ♡

射精っ♡ お尻っ、イッでるところっ、中出し…っ♡

お殿様っ、おおおおっ、お殿様っ、んっひい…♡

お尻にっ、中出し…っ♡ イッでるお尻にっ、熱々精子…っ♡

くうおっ、ふっくうおおおお…っ♡ おおおお…♡

精液、ありがとうございます…っ♡ ううおおおおお…っ♡

お殿様、好き、好き、好きいい…♡

へっ、はっ、ふうおっ、くううおお…♡

ふっう、ふっう、ふっううっ、んっうう…♡

おおおお…っ♡

ふっう、ふっうう、はっあ、はあ…♡

あ…、お殿様…♡ 素敵すぎだよ…♡

おちんちん、してもらったびに…っ、大好きになっちゃう…♡

んふふ…♡

はあ、はあ、はあ…♡

ん…？

あ、白雪、戻ってきたみたい…♡

ふふ、ちょうどいいや♡

次、私がちょっと遊びに行ってくるんで…その間に白雪と…ね？

んふふ…♡

じゃ、またね、お殿様♡」

白「…お殿様？

どうしてこのようなところに？

今そこで、艶美に教えてもらったのですが…あっ！？

お、おちんちん…っ、ということは…♡

あは…♡

そうでしたか…♡ ここで艶美と、子作りしていたのですね♡

ふふ…なるほど…♡

艶美の抜け駆けは許せませんが…。

こうして交代してくれたので、まあ、いいでしょう♡

それでは、お殿様♡

さあ、どうぞ…♡

艶美に代わり、私のおまんこで、おちんちんのお相手をいたします♡
まだまだ大きいままのおちんちんと、丸い金玉…♡

私のおまんこで、スッキリさせてください♡

んっお…っ♡ ふっう、ほっお…♡

んうおおおおお…っ♡

へっ、はっ、んっうおっ、ほっおおお…♡

お殿、様あ…♡ んっう…っ♡

おおおっ、おおおおおっ、おおおっ、うっほお、おおっほお…っ♡

おおっ、んうおお、おおおお…っ、んっうっおおお…っ♡

んおお…っ、んんんおお…っ♡

おおっんっ、んんんっ、おおお…っ、おおおおっん…っ♡

ほおおおおお…っ、おおおおお…っ、おお…っ♡

くうっうん…♡ ううっ、おおっ、んうっおっ、くっおお…♡

ぱんぱんっ、ぱんぱん…っ♡ 子作り交尾っ♡

とってもお上手です…っ♡

おおお…っ、おお…っ、ん…っ、んんんおおおおお…っ♡

おおおおお…っ、おっんんお…っ、ほおおおおお…っ♡

おお…っ、おっお…っ♡

うっおおっ、くううう…っ♡

あっ、あっ、おまんこっ、ぐりぐり…っ♡

私の気持ちいいところっ、全部っ、知られて…っ、おおおお…っ♡

んっお、おっほ、っおおお、んうっおおお…っ♡

おっ、おっ、おっ、おっおおっおお…っ♡

んっ、うおおおんっ、おんっ、んっ、うんおっ♡

おおんっ、うおんっ、おおうおおうっお…っ♡

ふっ、くっ、ほおおっ、んっうん…♡

くっ、ほっ、ほっおおっ、うううんお…♡

はっああっ、くううう…っ♡

あっ、あっ、はいっ、そこです…っ♡

そこっ、亀頭でっ、押されるとっ、私はあ…っ♡

うおおおおお…っ♡

んんっ…んお、おん、んっ、お、おお、ううっ♡

うん、おん、おんっ、お、おっ、うん、んっ、んっく、んっふ…♡

おほおっ…おおんっ、おんっ、いや、やん、んおう♡

おう、おん、おんっ、んおっ、んおう…♡

へっえあああ…っ♡ はしたない声っ、いっぱい上げて…っ♡

感じまくってしまいます…っ♡ んうおおっおお…っ♡

んおっ、おん、んくっ、んうっ…♡

んお、おおん、おっ、おんっ、んう、んお♡

んおっ、おっ、おっ、おっ、おっ…♡

んっ、おん、んお、おっく、んっく、いや♡

うお、ん、んうっ、んお、んおう…♡

くっ、おっ、ほおおっ、くうおおおお…♡

ふっ、ぐうううっ♡

お殿様っ、おちんちん…♡ 膨らんでえ…♡

くっううう…っ♡

おおおお…っ♡ それにっ、尻肉も…っ♡

手のひらっ、沈んで…っ♡

いっぱいにぎにぎっ、おっほお…♡

お尻っ、気持ちいいです…っ♡ うっくっ、ほおおお…っ♡

おおおお…っ♡ でも、それはっ、くううう…♡ ほお…♡

そんなっ、尻肉っ、拡げられて…っ♡

あっくうっ、ほっおお…♡

お尻の穴、見つめられては…っ♡ 恥ずかしいです…っ♡

んっ、おお、おおんっ、おんっ、いや、やん、んおう♡

おう、おん、おんっ、んおっ、んおうっ…♡

んうおおおおお…っ♡

高速腰振りっ、来たっ、きったっ、んうおおっ、くううおおお…♡

うっく、うぐ、うお、うおんっ、おん、ほおっ、おほっ、おほおっ…♡

おおおおお…っ♡

おまんこっ、えぐられ…っ♡

くうおおっ、ふっくうおおおお…っ♡

おっ、おおっ、おっ、ほおっ、おんっ、おん、おんっ、やんっ、ふおっ

♡

お殿様っ、くっくっくっ、うおおおっ♡

んいいいいん…♡ おおおおおお…っ♡

お尻っ、もぎゅもぎゅっ、揉みくちやにされて…っ♡

おまんこごりゅごりゅっ、おっほっ♡ くうおおおお…っ♡

おっ、おっい、んお、おおん、おっ、おんっ♡

んう、んお、んおっ、おっ、おっ、おっ…♡

ん、っく、ん、んふう、んお、おう…♡

んお、お、んおっ、おおっ、ううおっ…♡

んっいいいん…♡

んいつぐっ、イッグっ、うっおおっ、いつぐう…♡

おまんこイギます…♡ おまんこイグっ♡

おちんちんでっ、イカされっ、くううおおおお…♡

はいっ♡ はいっ♡ 出してっ、くださいい…♡

おまんこの中っ、熱いのっ、たくさん…っ♡

おおおっ、んうおお…♡

精子っ、ください…っ♡

どびゅどびゅっ、中出しっ、種付けっ、ほおおお…っ♡

イグイグイグっ♡ イグイグっ♡ うおおおおお…っ♡

お殿様っ、お殿様っ、うおおおっ、んうおおおお…っ♡

くうおおおおおお…っ♡

(絶頂) うんうおおおおっおおお…っ♡

ううおおおっ、うっくっ、おおっほっ、ふっぐうおおおお…っ♡

ふっ、くっ、おっくっ、うおおおおお…♡

へっえああ…っ♡ くうおおっ、んうっうっ、くっふう…♡

はっ、はっ、精液、どぼどぼお…♡

子宮にいっぱいっ、流し込まれて…♡

はっ、くっ、おおおお…っ♡

んっくうお…っ♡ ほっお、ほっおおっ、ふううっ、はぁぁ…♡

はぁ、はぁ…♡ お殿様…♡

んっうん…♡ はぁ、はぁ、ふう…♡

んっい…っ♡ お殿様…っ、まだ、お尻…♡

そんなにお尻の穴を、見られては…♡

おおおっ!?

お殿様っ、それは…っ♡

んっくうおおおお…っ♡

ほっおおっ、うおおおおお…♡

お尻っ、おちんちん…っ♡ ずっぷり…っ♡ くううう…♡

くっ、ほっ、ふうおおっ、んいい…♡

へっえっ、はっぁぁぁ…っ♡

っぁぁぁ…っ♡ お、お殿様…っ♡

はっ、はっ、うっくっ、うううう…っ♡

だから、先ほどからずっと、私のお尻を…っ♡

ふー…っ♡ ふー…っ♡

ううう…っ♡ おちんちん、お尻の中でっ、そりたって…っ♡

んお、んう、おん、うん、おん♡

おんっ、ん、んお、ほお、おふ、ふおっ…♡

んっ、おっ、おう、んっ、んうっ、ひいっ、っおお♡

んおう、んっく、くお…♡

んうおおおお…♡ お殿様っ♡

くうおおお…♡

ほうおっ、んうおおっ、うっおおっ、んっいいい…♡

尻穴っ、ずぼずぼっ、どちゅどちゅうっ、くううおおおお…♡

おおおお…♡

尻肉弄ばれながらっ、お尻の穴までっ、熱くっ、ほじられてえ…♡

ほおっ、んんお、っくお…♡

んうっ、おおん、うん、おんっ、おっ、んお、おお…♡

んうおおっ、うっひっ、ほおおお…♡

声が…っ、大きい声…♡ 外っ、響いて…♡

くううう…♡

お祭りの音でもっ、隠し切れないような声…♡

出てしまいます…♡ おおおお…♡

こっ、こんなところでっ、この国のっ、城主が…♡

お忍びお尻交尾しているところなどっ、見られたらあ…っ♡

お殿様の威厳が…っ♡ うおっ、おおおお…♡

でもっ、ケツ穴っ、気持ちいい…っ♡

喘ぎ声っ、我慢っ、できません…っ♡

お殿様あ…♡

ひい、おほお、ううおっ…♡ おお、ん、んふ、んお、んう♡

おお…お、おおっ、ん、んふう、んっ、んお、おん、んう…♡

んお、うっふ、うん、おほ、おんっ、おんっ、おんっ♡

ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ♡

んふ、んっふ、おお、おお、おおん、んおん…っ♡

んうおおおおっおおおお…っ♡

尻穴抽挿っ、激しくうっ、ほおおおお…♡

おおおおおお…っ♡ 焼けるっ♡ 焼けますっ♡

お尻の穴っ♡ ほじほじ交尾っ♡ くおおおおおお…っ♡

お尻っ、焼けてっ♡ ただれてっ♡ とろけてっ、形が変わってえ…♡

んおおっ、ううおおっ♡ お殿様のおちんちんの形になってえ…♡

んいいいい…っ♡

んおっ、おんっ、おっ、んお、おおんっ、おお、んっ♡

うん、おんっ、お、おっ、おんっ、やんっ、おお、うおんっ♡

おん、うん、おん、おんっ、ん、んお、ほお、おふ、ふお…っ♡

おおおおっ、イッグ、イッグっ、お尻イグっ♡

おケツイギますっ、おおおお…っ♡

んいいいい…っ♡

はいっ、はいいい…っ♡ 出してくださいっ♡

お尻っ、精子っ、中出しっ、びゅっびゅう…っ♡

熱いのいっぱいっ、お尻の中につ、注いでっ、放ってっ、

ぶちまけてくださいい…っ♡

んおおおっ、ほおおおっ♡ ほおおおっ、くうおおおお…♡

イグイグイグイグっ、うおおおっ、イッグうう…♡

ふうおっ、んうおおおっ、くっおおおっ、ほおおっおおお…っ♡

（絶頂）んうおおおっおおお…っ♡

うっおおおっ♡ ほおおお…っ♡

尻穴っ、きゅうううって…♡ んうっおおっ、ほおおお…っ♡

熱いのっ、出てます…っ♡ お尻っ、おちんちんっ、搾って…っ♡

くうっううおおお…っ♡

ふー…っ、ふー…っ、ふーう…っ♡

はっ、はっ、はっ、くっうう…♡

んっおお…っ♡ へっ、はっ、お殿様…っ♡ うううう…っ♡

はぁ、はぁ、はぁ…♡ あぁ…っ♡

ふう、はぁ、はぁ…っ♡」

艶「あは♡ ちょうど終わったみたいだね♡」

白「艶美…。

まったく、あなたという人は…。」

艶「んふふ…♡ でも、楽しかったでしょ？」

白「まあ…それは、そうですね♡

ふふふ…♡」

艶「さ、お殿様…じゃなくて、ボクちゃん♡

改めて、お祭り、回ろっか♡」

白「ああ、そうでした。

先ほどの飴売りが今から芸を見せるというので、戻ってきたのです。

さぁ、みんなで見に行きましょう♡

急がないと、終わってしまいますよ♡

ふふふふふ…♡」

● 第10章

艶「ふふ、お殿様…♡

今日は楽しかったですね…♡」

白「お祭りもちろん、楽しかったですし…♡

あの路地裏でした子作り交尾も、とっても気持ち良くて…♡」

艶「でも、そんな楽しい今日も、もうおしまい…♡

名残惜しいけど、おねむしちゃおうね、お殿様…♡」

白「今日は、眠るまで…私たち二人で、こうして、

むぎゅうと挟んでいてさしあげますから…♡

この状態で、おやすみしようね…♡」

艶「ふふ…♡ ただでさえあったかいお布団なのに、

むっちりおっぱいで包まれて、さらにあったかあったか…♡」

白「お殿様も、とっても気持ちよさそうな顔で…♡

私たちも嬉しいです♡

ただ…おちんちんの方が…♡」

艶「また、勃起しちゃってるねえ♡ んふふ…♡

柔らかおっぱい押し付けられて、興奮しちゃったんだね♡」

白「では、仕方ありませんね…♡

またおちんちん、スッキリさせてあげましょう…♡

ただし、もう寝る前ですから、激しい交尾などはなしにして…♡」

艶「おちんちん、優しく握って…♡

手コキでしこしこ、どっぴゅん♡ させてあげちゃうね♡」

白「ほうら…♡ しこしこ、しこしこ…♡

私たちのおっぱい感じながら、おちんちん、よしよし…♡」

艶「おちんちん、気持ちいいねえ…♡

おっぱいにもゆもにゅ感じながら、おちんちん撫で撫で…♡

どれだけ交尾に慣れちゃっても、やっぱりこれも、

すっごくおちんちんに響いちゃう…♡」

白「男の子なら、みんなそうですから…♡

大きくて柔らかい、ドスケベおっぱいに勝てる男は、

この世の中にはいませんよ…♡

ふふふ…♡」

艶「ああ、お殿様…♡

おちんちんびくびく、感じちゃってる…♡」

白「では、もっとおちんちん気持ち良くなるように…♡
こういうことも、してさしあげましょう♡。

艶美？」

艶「うん、大丈夫だよ、白雪♡」

白「それでは…♡

あゝ…♡」

艶「(耳舐め 10秒)」

白「(耳舐め 10秒)」

艶「二人一緒に、お耳をぺろぺろ…♡

お殿様、これ、好きだもんねえ♡」

白「前にしてあげた時も、

とっても気持ちよさそうにしてくれていましたよね…♡

これでいっぱい、おちんちん、感じて下さいね…♡」

艶「(耳舐め 10秒)」

白「(耳舐め 10秒)」

艶「あはぁ…♡

おちんちん、どんどんびくびく、いっぱい震える…♡

寝る前なのに、すっごく元気…♡」

白「元気なおちんちんから、あったか精液、

びゅるるって吐き出して…♡

タマタマスッキリ空っぽにして、

ぐうぐうおねむ、しましようにねえ…♡」

艶「(耳舐め 10秒)」

白「(耳舐め 10秒)」

艶「はぁ…♡

よしよし、よしよおし…♡

おちんちん、いいい、いいいお…♡」

白「タマタマも、こうして撫で撫で、していてあげますからね…♡

いっぱい出して♡ たくさん出ちゃってね♡って…♡

金玉応援、おちんちん、よしよし…♡」

艶「(耳舐め 10秒)」

白「(耳舐め 10秒)」

艶「あは♡ そろそろイッちやいそう？

うんうん、いいよ…♡

おちんちんびゅー、しちゃおうねえ…♡

あったかぽかぽかおちんちん汁、お漏らししちゃおうねえ…♡」

白「はあい、はあい…♡

おちんちんどうぞ、おちんちんどうぞお…♡

たっぷりどっぴゅん、してくださいねえ…♡」

艶「(耳舐め 10秒)」

白「(耳舐め 10秒)」

艶「お射精、どうぞお…♡」

白「お射精、どうぞお…♡」

艶「びゅっ、びゅっ、びゅっ、びゅー…♡」

白「どっぴゅう、ぶっぴゅう、びゅるるう…♡」

艶「(耳舐め 10秒)」

白「(耳舐め 10秒)」

艶「んふふ…♡」

おちんちんお射精、いっぱい出たねえ…♡

おちんちん、スッキリできたかな？」

白「いえ…まだまだおちんちん、硬いままのようですね♡

さすがお殿様…♡

子作りのために、とっても優秀なおちんちんです♡」

艶「でも、こういう時にはちょっと不便だねえ…♡

まあ、それも私たちに任せてくれれば、大丈夫♡」

白「さあ…もう一度、おちんちんどぴゅどぴゅしましょうね♡

今度はこちら…私たちのおっぱいを、一緒にちゅうちゅう、
しましうか♡」

艶「はい、おっぱいどうぞ♡ お殿様♡」

白「爆乳おっぱいの、やらしい乳首…♡

ぱくんと啜えて、好きなだけ、ちゅうちゅうしてください♡」

艶「んっやあ…♡ あはあん♡」

白「んっう…っ♡ ふふふ…っ♡」

艶「おっぱいちゅぱちゅぱ、おっぱいちゅっちゅう…♡

おちんちん、しこしこしこしこお…♡」

白「おっぱいちゅうちゅう、上手ですよお…♡

母乳が出る身体であれば、きっと、

たくさん溢れていたでしょうね…♡」

艶「おちんちんかっこよくって、交尾も上手で…♡

おっぱいちゅっちゅも上手なお殿様…♡

ドスケベ交尾する才能、持ちすぎだよお…♡」

白「そんなお殿様のお側にいられて、私たちは幸せです…♡

ありがとうございます…♡

んっう…♡」

艶「やっあ…♡ おっぱいちゅうちゅう、強くなったあ…♡

んっ、はっ、はっあん…♡

おちんちもどどん熱くなってきた…♡」

白「興奮、強まっているようですね…♡

おちんちんドキドキに合わせて、乳首への吸い付きも、強く…♡

あ…っ♡」

艶「ひっあ…っ♡

あっ、あっ、私のだけっ、おっぱいっ、ちゅうちゅうう…っ♡

おっお…っ♡ 吸い付き、強い…っ♡

いっぱい感じちゃう、いっぱいっ、乳首っ、吸われて…っ♡

伸びてえ…♡ んっくううん…♡」

白「ああ、お殿様…♡

おっぱいを吸うだけで、女性をこんなに喜ばせるとは、さすがです…♡

ですが、どうして艶美のおっぱいだけを…んっひい♡

うっおお…っ♡」

艶「っはあ…♡

あは、今度は白雪のだけ、おっぱいちゅっちゅ…♡

私たちのお乳、吸い比べされてる…♡」

白「っはあ、っふう…♡

お殿様…♡ どっちのおっぱいが、好きですか…？

私と艶美、どちらの方が…んうっ♡」

艶「んっおお…っ♡ また、私…♡

んっ、くっ、おっほっ、はっああん…♡

おっぱい気持ちいいよお、お殿様…♡

ふっ、くっ、はっくっ、ほっお…♡

あ…っ♡」

白「ほっおう…♡ 次は私のっ、ですね…♡

んうっお…っ♡

はっ、んっ、お殿様…っ♡ ちゅうちゅう、上手う…♡

へっ、はっ、んっお、くっふ…♡

ああ…っ♡ 出ないのに、おっぱい、出ちやいそっなくらい…♡

乳首、吸われてえ…♡ うううん…♡」

艶「んっあ…っ♡ また、二人、一緒…♡」

艶「おっ、んうおっ、んっふっ、ふうおおお…♡

へっ、はっ、ほっ、っううん…♡」

白「んっおっ、おっお、おおっ、ううお…♡

あっ、んっ、やっ、やっあん…♡」

艶「はっ、ふっ、くう…♡

おちんちん、出ちやいそう…？

うん、いいよ、出して、出して…♡」

白「私たちのおっぱい吸いながら、

おちんちんびゅっびゅ、してください…♡

熱いのいっぱい、出してください…♡」

艶「はあい、はあい…♡

びゅーびゅーどうぞお…♡

熱いのどうぞお…♡ びゆるびゆる、びゅっびゅう…♡」

白「出して下さい…♡

あったか精液、おちんちん汁、どっぴゅどぴゅう…♡

出して、下さいあい…♡ んっううん…♡」

艶「びゅるるう…♡ ぶっぴゅ♡

ぶっぴゅ♡ ぶっぴゅうん…♡」

白「どっぴゅ、ぶっぴゅ♡ ぶっぴゅ♡

びゅるるう…♡」

艶「はあ、はあ、ふう、はあ…♡

んふふ…♡ お殿様…♡

またいっぱい、精液出たねえ…♡」

白「ん…お殿様、一気に眠たくなってきちゃったんですね…♡

はい、いいですよ…♡

後片付けは、私たちに任せて…

どうぞそのまま、おやすみください…♡」

艶「また明日ね…♡ お殿様…♡

明日もたくさん、いやらしいこと…♡

しまくっちゃおうねえ…♡ んふふふふ…♡」

● 第11章

艶「ふふ…♡ お殿様、こんばんは♡

うん♡ 今日は私一人だよ♡

白雪は、別のお役目があって、来られないの♡

もしかしたら少しさびしくって、物足りないかもしれないけど…♡

でも、その分私一人で濃密にお世話してあげるから、

きっと大丈夫だよ♡

それに…ね？

今日は、私…♡ お殿様のお世話役になってから、いっちなん…♡

おまんこが熱くなっちゃってる日だから…♡

女の子にはね、赤ちゃんが出来やすい日っていうのがあるんだ…♡

それが私は、今日ってこと…♡

一番赤ちゃん、孕みやすくて…♡ 赤ちゃんできやすくて…♡

お殿様のおちんちんが、欲しくて欲しくてたままない日だから…♡

今日は、大好きなお殿様のおちんちん、いゝ…っばい…♡

犯してあげちゃうからね…♡

ほうら…♡

んっい…♡ わかる、でしょ…っ♡

おまんこ、いつもより濡れ濡れ、ほかほか、あつつあつう…♡

おちんちんに触れただけで、本気汁、漏れ出して…♡

ああ、おちんちん、おちんちん、欲しい…♡

奥までずっぷり、突っ込んで、デッカイ尻肉揺らしまくって、

だぶだぶ交尾い…♡

入れたら止まらなくなっちゃうと思うけど、いいよね…？

お殿様はもう、すごく立派な大人で、かっこいい男の人だから…♡

ちやあんと受け止めてくれるよね…っ♡

行くよ、お殿様あ…っ♡

おっおおおおお…っ♡ んっくっ、ほっおお…っ♡

んっうん…♡

おお、ん、んふ、んお、んう、お、っおお…♡

お、おおっ、ん、んふう、んっ、んお、おん、んう…っ♡

んお、んふう、うう、うお、おう、んう、ん、んっく、くう…♡

んんんう…♡

んおっ、ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ♡

んふ、んっふ、おお、おお、おおん、んおん…っ♡

んっううんおお…っ♡

お殿様あ…♡

ん、んお、んっ、うん、おんっ、お、おっ、おんっ♡

おおっ、んっ、んぐっ、んう、んっ…♡

んっ、くっ、ほっおっ、くうおおお…っ♡

へっ、はっ、お殿様っ、好きっ、好きっ♡

おちんちん好きっ、すっきい…♡

(ディープキス 5秒)

っへあ…っ♡

ちゅー…っ♡ いっぱいちゅーするね、お殿様…っ♡

口づけ、お殿様と…っ♡ 夫婦（めおと）のように、ちゅー…っ♡

(ディープキス 5秒)

おんっ、いや、おん、おんっ、おう、うんっ、お、んっ♡

んっ、うん、おんっ、お、おっ、おんっ♡

ん、おん、ほお、おおん、うん、おんっ、おっ、んお、おおんっ♡

んっおっ、うううんっ、ほおおっ、んっうううん…っ♡

(ディープキス 5秒)

へっ、はっ、ほっ、ふっう…っ♡

好き、好き好き、好き好き好きっ、お殿様あ…♡

おお、おん、うん、うつふ、うん、おほ、おんっ、おんっ、おんっ♡

ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ、んふ♡

んっふ、おお、おお、おおん、んおん…♡

赤ちゃん欲しい…っ♡

おまんこの奥、精液びゅっびゅうって…♡

孕み汁、注いで欲しいの…っ♡

んっうおっ、おっふ、つくうう、んうあああ…っ♡

んいっ、んっひい…っ♡

へあっ、ふあっ、あっふ、んういい…っ♡

んっおっ、んっくっ、ほっおおっ、くうううん…♡

今までも、何度も、孕ませてって、言ったりしたけど…っ♡

あれは全部、演技みたいなものでね…っ♡

お殿様のおちんちん、金玉、喜ばせるための、ただの台詞…っ♡
でも、今はっ、本気い…♡ おっおおお…っ♡

本当につ、お殿様のっ、赤ちゃん…っ♡

孕んであげたくって…っ。うっお…♡

おおおっ、っんんおっ、おおおおっ、おうっ♡

んっおっ、おんんっおおっ、っんん…っ♡

ふー…っ、ふー…っ、ふううう…っ♡

(ディープキス 5秒)

へっ、はっ、おおおお…っ♡ お殿様っ、お殿様っ♡

おっ、おっ、おっおおっ、うっおお…♡

んっ、んっうっ、おっ、っんっ、おっ、おおっ、おおおっ♡

っうっ、んんっ、っおおっんっ、んっ、おっ、おおっ♡

っんっ、んうおお…っ♡

んっ、っうっ、おっ、おおおっんんんっおおおうっ♡

っうっ、おおおおっうっ、んんおおおおっんんっ、んお…っ♡

おまんこ出し入れっ、止まんない…♡

大事なお殿様のことっ、犯しちゃってるのに…♡

上からのしかかって、おちんちんずばずばしちやってるのにい…♡

おまんこ好きすぎてっ、気持ち良くってっ、止まんない…♡

おおっ、おおんんっ、っおおっ、おおっうっ♡

うっ、っおっ、おおっうっ♡

んんんおおおっんっ、んおっ、おっ、おっんん…♡

(ディープキス 5秒)

おおっおお…♡

イグイグっ、おまんこっ、発情おまんこっ、ザコすぎてっ、もう…♡

んっ、んうっおっ、んんっおっ、っうっ、っうっ、っおっ♡

おおっ、んんおっ、おおっんんっ、おっ、っんん…♡

イグ…♡ もうイグっ、イグイグっ、おおっ、くうう…♡

出して、出してっ、お殿様…♡

おまんこ孕ませっ、精液中出し…♡

いっぱい奥にっ、どびゅどびゅ出してっ、ほおおっ、くうおお…♡

おっ、おおっ、イグイグっ、ひっぐう…♡

おっ、んっおっ、ううおおっ、ふうおおお…♡

(絶頂) んうおおおおお…♡ くおおっ、んうおおお…♡

うっ、くっ、おっほっ、ふううおお…♡

中っ、どくどくっ、熱いのっ、びゅっびゅうう…♡

孕ませ精子、来てるっ、来てるよお…♡

うっ、くっ、ふうおっ、っおおお…♡

へっ、はっ、はっ、はあああ…♡

お殿様あ…♡

んっいっ♡

っはあ、っはあ…っ♡

お殿様…♡ うっぐ…っ♡

この格好、やばい…っ♡

これ、種付け用の、おちんちん、奥に押し付け体位…っ♡

子宮の奥までおちんちんずっぷり突き刺さっちゃう、

一番えっぐいヤツう…♡

教えてないのに、お殿様、なんで知って…♡

おおおおおおおお…っ♡ んっほおおおおお…♡

んっ、んうっ、おおおおおっ、んっ、んっ、っおおっ♡

おうっうっ、っおおおっ、おおっ♡

んんんおおっ、っんっ、っおっ、おっ、んんっ…っ♡

んんっうっ、っおっ、おおっんんっおっ、おっ、っふうっ♡

ふっうっ、っおっ、おおっうっ、んんんっおおおんっ♡

っおおっ、うおおん…っ♡

お殿様っ、んっおおおっ、好きっ、それ好きっ♡

強いおちんちん出し入れっ、やっべ♡ くうおおっおおお…♡

おっ、っんんっおっ、おっ、うっ、うっ、っおおっ、おっ♡

うっ、んっ、んおんんっ、っおおっ、んんんおお…♡

うっ、おおっ、っんんんっおおおおっ、おっうっ、っうっ♡

っおおおっうっ、っんっ、おおおっんっ、んんおおっ、おっん…っ♡

おおおっ、おおっんんっおおおっ、うっ、っうっ♡

おおっ、っうんっ、んっおっ、っんんんおっ♡

おっ、っんっ、んうう…っ♡

ふっ、ふっ、ふっ、ふううう…っ♡

(ディープキス 5秒)

へっ、はっ、はぁっ、はっぁぁあ…♡

すごい、すごいよ、お殿様…♡

教えてないのにつ、っおおお…っ♡

女、確実に孕ませるっ、交尾のやり方…っ♡

本能でわかっちゃってるっ、うっおお…♡

私っ、本気でっ、孕まされる…っ♡

お殿様の赤ちゃん…っ、うおおお…♡

種付けしてもらえう…♡

んっ、んんっうっ、おおおんっ、んっ、っおっ、っうっうおおおっ♡

おおっ、んっ、っおっ、おっ、おっ、っんっ、んおっ♡

おおおっんっ♡

おっんっおっ、おうっ、おっ、おうっ、っんっ、んっおお…っ♡

おおおっ、んんっ、おおおお…っ♡

んんっ、んうおっおお…っ♡

お殿様っ、好きっ、好き好きっ、大好きいつ、ほおおおお…♡

赤ちゃん、くださいっ♡

おちんちんっ、そのまま…っ♡ 奥までいっぱい、押し付けて…っ♡

子宮の入り口押し潰しながらっ、おちんちん、どちゅどちゅ…♡

そしたら孕むから…っ♡ 絶対赤ちゃん孕むからあ…♡

妊娠、させてえ…♡

んっ、おおおっうっ、うっ、っおっ、おうっ、んんっ♡

っおっ、おんんんっおおお…っ♡

んんっうっ、おおおっんんっ、んおおおおっ♡

おおっ、おうっ、っんんおおおっんんおおっんっ♡

(ディープキス 5秒)

んっ、っうっ、っおっ、っんっ、んおおっ♡

おおっ、うっ、っんっ、んおおっ、おおっんんっおおおっ♡

おおおおっ、んんっ、おっほおっ、おおっうっうっ♡

おおっ、っううんっ、っんうんっ、んんうおおんっ♡

ふっ、ぐっ、おおおおっ、んうおおお…っ♡

お殿様っ、っおおお…っ♡

ふっう、ふっうっ、ふうううっ、ふううう…っ♡

へっああ…っ♡ お殿様っ、好きっ、好きっ♡

もっ、□づけじゃ足んない…っ♡

顔中、べろべろっ、大好きだからっ、舐め回してあげたい…っ♡

(顔面舐め 5秒)

しゅきっ、しゅきっ、お殿様っ、しゅきい…♡

おっんっ、っおおっ、おうっ、っうっ、おおおうっ♡

っんっ、んっ、っおっ、おおんんんおおおっ♡

うおおおっ、おっんっ、っおおっ、おうっ、うっ♡

おおっ、おっうっ、っんんっおおおっんんっ♡

ほおおっおおお…っ♡

おおおつ、イグイグっ♡

またイグっ、おまんこっ、子宮っ、押し潰されてイグっ♡

孕ませ専用体位でっ、子宮屈服させられてイググうう…♡

お殿様っ、お殿様あっ♡ ほおおおお…♡

出してっ、出してっ♡ 精子ちょうだいっ♡

子宮いっぱいっ、熱々精液っ、金玉汁っ、

どばどばっ、出してえ…♡

おおおおおおお…っ♡

お殿様のっ、孕み汁っ、奥にくださいっ、

出してっ、出してえっ、ほおおおおお…♡

おおっんっ、っおおおおっうっ、っうっ、っおおおっ♡

おっうっ、っんんっ、んおおっ、っんんんおっ、んんん…っ♡

んんんんうっ、っおおっ、おっ、おんんんっ、おおおっ♡

おうっ、っうっ、っおおっ、おっ、うっ、んんんんっおっ♡

おっ、おっんっ、んおっ、おおんっ、ん…っ♡

ほおおおおお…っ♡ イググううっおおおお…っ♡

（絶頂）んうおおっおおおっおおお…っ♡

ほっおおおっ、うっおおっ、くふうおおおおお…♡

へっ、へっ、あちゅいのっ、出てえ…♡

うっおっ、くっふっ、ふうおっ、おっおお…♡

これ、ホントに孕む…っ♡ 絶対、出来てる…っ♡

あっあっなの、子宮いっぱい、流し込まれて…♡

くっ、ふっ、ふっくっ、ほっお…♡

んうん…♡

はぁ、はぁ、はぁ…♡ あは…♡

お殿様…♡

うん…♡ まだしたいんだね♡ もちろんいいよ…♡

それじゃあ最後は、ほら…♡

こうして、むぎゅうって抱きしめててあげるから…♡

この状態で、おちんちんしょっか…♡

お殿様のこと、だあい好きだから…♡

好き好き、だあいしゅきい…♡って、ぎゅっってしちゃうからね…♡

そのままおちんちんぱんぱんってして…♡

私のこと、しっかり孕ませられるように、追い打ち種付け…♡

してください…♡

んんっ、おおおおっ、おおおおおっ♡

うおおおおつ、おつ、おおつ、おおおつ、ほおおお…っ♡

んっほ…っ、おつ、おおおつ、んっおお、おおおつお…っ♡

おお…おっほおおおつ、おおつ、おおおおお…っ♡

おおおつおおお…っ♡ お殿様あ…♡

んん…っ、うほおつ、おおおつ、おおお…っ♡

おおつ、うっおおつ、おおっううう…っ♡

ほおつ、おおつ、ほっ、おおつ、んうおつ、おおおつ♡

ほっおお、んうおつ、おおつ、うんんっ、ほっお…っ♡

ふっ、ふっ、ふっ、ふっう…っ♡

(ディープキス 5秒)

へっえあああ…♡

お殿様っ、お殿様っ♡

おつ、うっおつ、んうおおつ、ほっおおお…♡

(顔面舐め 5秒)

ぷっあ…♡

(ディープキス 5秒)

ふっ、ふっ、ふっ、くううう…♡

おおおつ、おおおおおつ、おおおつ、うっほお、おおっほお…っ♡

おおっ、んうおお、おおおお…っ、んっうっおおお…っ♡

おおっおおお…♡

お殿様あ…っ♡

んおお…っ、んんんおお…っ♡

おおっんっ、んんんっ、おおお…っ、おおおおっん…っ♡

ほおおおおお…っ、おおおおお…っ、おお…っ♡

おおおお…っ、おお…っ、ん…っ♡

んんんおおおおおお…っ、おおおおおお…っ♡

おっんんお…っ、ほおおおおお…っ♡

おお…っ、おっお…っ♡

お殿様…♡ 大好きっ♡ 大好きっ♡

もっ、私…♡ お殿様がいないとっ、ダメみたい…♡

お殿様のことっ、最高のオスだっっ♡

身体がっ、認めちゃってる…♡

おまんこっ、完全メス落ち…♡ うっおお…♡

年下のお殿様のこと…っ♡ 強いオスだっっ…♡

最高にかっこいい、番いにならなきゃダメなオスだっっ、

認めちゃってるよお…♡

んっお、おっほ、っおおお、んうっおおお…っ♡

おっ、おっ、おっ、おっおおっおお…っ♡

んっ、うおおおんっ、おんっ、んっ、うんおっ♡

おおんっ、うおんっ、おおうおおうっお…っ♡

んっおおっ、ほっおおお…♡

お殿様っ、お殿様あ…♡

んんっ…んお、おん、んっ、お、おお、ううっ♡

うん、おん、おんっ、お、おっ、うん、んっ、んっく、んっふ…♡

んうおおおっ、ほっおおお…♡

んうおおおおおお…っ！？

んっいいいっ、んっひいいい…♡

お殿様っ、お殿様っ、ひぐひぐっ、ひっぐっ、ふうおおおっ♡

んいっぐおおお…っ♡

おまんこイギますっ♡

おちんちんっ、オスのっ、大好きな人のっ、

孕ませおちんちんでっ、イギますっ♡

ほおおおお…っ♡

おほおっ…おおんっ、おんっ♡

んおう、おう、おん、おんっ、んおっ、んおうっ…♡
うっおおおお…♡

出してっ、ください…♡ 精液っ、子宮…♡

トドメのっ、中出し…♡ うおおおお…♡

もうっ、絶対孕まされてるおまんこにっ♡

確実っ、絶対っ、追い打ちお射精…♡ うおおおお…♡

私のことっ、孕ませて…♡ ポテ腹にしてっ♡

お殿様の赤ちゃんっ、産ませてください…♡

んおっ、おん、んくっ、んうっ、んお、おおん、お♡

おんっ、んう、んお、んおっ、おっ、おっ、おっ…♡

んっ、おん、んお、おっく、んっく、いや、うおん♡

んうっ、んお、んおう…♡

(ディープキス 5秒)

(顔面舐め 5秒)

んっ、おお、おおんっ、おんっ、いや、やん、んおう、おう♡

おん、おんっ、んおっ、んおうっ…♡

うっく、うぐ、うお、うおんっ、おん♡

ほおっ、おほっ、おほおっ…♡

うおおっおおおお…♡

んいっぐっ、ひっぐっ、うっおおっ、うおおっおお…♡

イグイグイグイグっ♡ お殿様っ♡

ひっぐうおおっおおお…♡

うっおおっ、おおっ、んうっいっ、んっひいひい…っ♡

お殿様あ…っ♡ 好きいいいい…♡

(絶頂) うおおおおっおおお…っ♡

おおっ、んっいっ、んうおおっ、ほおお…♡

おお…っ♡ 精液、来たっ、きった…っ♡

熱いの…っ♡ 濃いの…♡ 今日一番…っ♡

今まで、一番濃いの…っ♡ どっぶり、種付けえ…♡

おおおおお…っ♡ うっおっ、ふんっおおお…♡

ああ、孕んだ、絶対、妊娠、確実、種付けえ…♡

お殿様の…っ♡ んっおっ、おお…♡

大好きな人の赤ちゃん…っ♡

出来ちゃったあ…♡

は…っ、は…っ、は…っあ…♡

ふうふうう…っ♡

ふっう、ふっう、ふっう、くううっ…♡

ふう、はぁ、はぁ、はぁ…♡

んふふ…♡ お殿様ぁ…♡

(ディープキス 5秒)

っはぁ…♡ んっう、ふう…♡

お殿様…♡

もう、言うまでもないことかもしれませんが…♡

私は…♡ 艶美は…♡

お殿様のことを、心から、愛しています…♡

大好き…っ♡

すっごく、すっごく、大好きだよ…っ♡

私の…っ、お殿様ぁ…♡

(ディープキス 5秒)

はっぁ…♡

ふふ…っ♡ ふふふふふ…っ♡ 「♡

● 第12章

白「お殿様…♡ 一日ぶりでございますね…♡

昨日は艶美と、本気の種付け交尾をしたとか…♡

他のお役目に出ていたのが悔やまれますが…

しかし、今日は昨日とは逆に、私一人で、お殿様のお相手…♡

昨日一日、他のお役目をしていた分…♡

おまんこの熱の高まりも、今までの倍以上…♡

本気でお殿様の赤ちゃんを、孕みたがっております…♡

お殿様…♡ よろしいですよね…？

この白雪の、発情本気、おまんこ杭打ち搾り…♡

あなたのかっこいいおちんちんで、受け止めてくださいませ…♡

(ディープキス 5秒)

っはぁ…♡ あは…っ♡

んうお…♡ ふっ、ふっ、はっぁ、んううん…♡

参ります…っ♡ お殿様ぁ…♡

おおおおっおおお…っ♡

んっおっ、ほっおっ、くうっ、ほっおお…♡

っおおおお…っ♡ お殿様…♡ くっううん…♡

おっ、おおっ、おっ、ほおっ、おんっ、おん、おんっ♡

おっ、おっい、んお、おおん、おっ、おんっ、んう♡

んお、んおっ、おっ、おっ、おっ…♡

ん、っく、ん、んふう、んお、おう…♡

お、お、んおっ、おおっ、ううおっ…♡

おっへぁ…っ♡ くっふっ、ほっおおお…♡

いかがですか…っ♡ お殿様…っ♡

今夜の私のっ、発情、本気おまんこは…っ♡ うっくっ、ほっお…♡

今までよりも、とっても熱く…っ♡

おまんこのひだひだ、一枚一枚がおちんちんへ吸い付いてっ♡

精液っ、お搾り…っ♡ 密着抽挿、しているのを…っ♡

感じてくれて、ありますか…っ♡ おおおお…っ♡

んお、んう、おん、うん、おん、おんっ、ん、んお、ほお
おふ、ふおっ…♡

んっ、おっ、おう、んっ、んうっ、ひいっ♡

っおお、んおう、んっく、くお…っ♡

これがっ、今の私の…っ♡

あなたへのっ、本気の証です…っ♡

おまんこがっ、ほかほかにっ、あったまって…っ♡

熱を帯びて…っ♡

孕ませおちんちん汁っ、搾り取ろうとっ、おおおお…っ♡

おちんちんっ、抱きしめてっ、いるのです…っ♡ くううおおお…♡

ほおっ、んんお、っくお…っ、んうっ♡

おおん、うん、おんっ、おっ、んお、おお…っ♡

ひい、おほお、ううおっ…♡

おお、ん、んふ、んお、んう、お、っおお…♡

おおっ、ん、んふう、んっ、んお、おん、んう…♡

ふっ、くっ、ほおおっ、んっうう…♡

(ディープキス 5秒)

ふっ、ほっ、ふっ、くっうう…♡

(ディープキス 5秒)

んお、うっふ、うん、おほ、おんっ、おんっ、おんっ♡

おおっおおお…っ♡ お殿様…っ♡ うっくうう…♡

お殿様あ…っ♡

うっ、ふっ、好きっ、好きですっ、お殿様あ…♡

大好き、大好き、止まりません…っ♡

おまんこっ、一刺しごとにつ、おっ、おっ、おっおお…♡

どんどん好きになっていきます…っ♡

くっううっ、ほっおお…っ♡

お殿様っ♡ 好きっ、好き…♡

ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ、んふ、んっふ♡

おお、おおん、んおん…っ♡

ほおおっおお…っ♡ 孕ませてください…っ♡ お殿様あ…♡

赤ちゃん欲しいですっ♡ 産み産みしてさしあげたいのです…っ♡

今までの、おちんちんを興奮させるための淫語とは違うのです…♡

今日はっ、今日だけはっ、ホントの本気い…♡

ほおおお…っ♡ ううっ、おおお…っ♡

お殿様の赤ちゃんっ、欲しくてっ、欲しくてえっ、

産んでさしあげたくって…♡

子宮っ、おちんちん、お迎えして…っ♡

うおおっおおお…♡

(ディープキス 5秒)

んおっ、おんっ、おっ、んお、おおんっ、おお、んっ♡

うん、おんっ、お、おっ、おんっ、やんっ、おお、うおんっ♡

うっ、くっ、おっほっ、ほおおお…っ♡

イグ…っ♡ おまんこ、イギます…っ♡ うおおお…♡

おちんちんお迎え子宮がっ、お殿様のっ、熱い亀頭でっ、

押し込まれて…♡

いぐ…っ♡ うっおっ、イグイグっ、ひっぐうう…♡

うおおっ、くううっおっ、ほおおっ、うおおおお…♡

んいっぐっ、イググっ、イギますイギますっ、おおおおお…っ♡

お殿様あ…っ♡ 出して、出してっ、うっおおっ、出してえ…♡

中出しっ、精液っ、種付けっ、孕ませえ…♡

おおおっ、うっおっ、くうおっ、ほおおおお…♡

ひっぐうおおおおお…♡

(絶頂) うおおっおおお…っ♡ くううおっ、ほおおっおお…♡

うつくうおお…っ♡ うっおおっ、くうおっ♡

どくどくっ、お射精い…♡ うっ、おっ♡

子宮につ、熱いのっ、流し込まれて…っ♡ くううう…っ♡

火傷しそうなくらい…っ、あったかい、精液…っ♡

幸せですう…♡ ほっおお…っ♡

ふっ、くっ、ほっ、ほおお…♡ うううう…っ♡

ふっう、ふっう、ふっう、ふー…っ♡

はっあ…っ♡

あは、お殿様…♡ やはりまだ、中出しし足りないですね…♡

お殿様の中の、オスの本能が…っ♡

私の子宮に、もっと、もっと、種付けしたいと…っ♡

おおおおっおお…っ♡

上からっ、強く…っ♡ おちんちん…っ♡

今度はっ、おちんちんの方からっ、子宮、押し込まれて…っ♡

入り口、圧迫…っ♡ 体重、乗つけられた、交尾…っ♡

ああ…っ♡ お殿様…っ♡ お殿様あ…♡

うおおっおおっおおお…っ♡

おん、うん、おん、おんっ、ん、んお、ほお、おふ、ふお…っ♡

おお、ん、んふ、んお、んう、お、っおお…お、おおっ♡

ん、んふう、んっ、んお、おん、んう…っ♡

んお、んふう、うう、うお、おう、んう、ん♡

んっく、くう…んんんう…♡

ほっおっ、ぐううおっ♡

圧迫交尾っ、すっごいつ、ですっ、っおおお…っ♡

こんなのっ、うっおおっ、こんなのっ、子宮…っ♡

壊れる…っ♡ 奥っ、押し込まれすぎて…っ♡

ふうおおおおっおおお…♡

んおっ、ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ♡

んふ、んっふ、おお、おお、おおん、んおん…っ♡

ん、んお、んっ、うん、おんっ、お、おっ、おんっ♡

おおっ、んっ、んぐっ、んう、んっ…♡

ふっ、ほっ、お殿様っ、っおおおお…っ♡

好きです、大好きっ、おっおおおお…♡

おちんちん、かっこいいです…っ♡

小さな身体でっ、強烈なっ、おちんちん…っ♡

奥までずっぷり押し込まれてっ、ふっぐううう…♡

子宮っ、いじめ…っ♡

私の子宮っ、完全につ、ちん落ちさせるつもり…っ♡

凶悪腰振り…っ♡ うっおお…っ♡

おんっ、いや、おん、おんっ、おう、うんっ、お、んっ♡

そんなお殿様が、大好きです…♡

もっ、好きすぎてっ、おまんこ発情、止まりません…♡

子宮っ、きゅんきゅんっ、疼きっぱなしで…っ♡

本気汁っ、溢れて…♡ しまいますう…♡

んっ、うん、おんっ、お、おっ、おんっ♡

ん、おん、ほお、おおん、うん、おんっ、おっ、んお、おおんっ♡

おお、おん、うん、おほ、おんっ、おんっ、おんっ♡

へっ、はっ、はっ、ほっおお…♡

(ディープキス 5秒)

っへああ…っ♡ お殿様…っ♡ うううう…っ♡

ふっ、ほっ、ほっおお…♡

(顔面舐め 5秒)

くっうう…っ♡ お顔、ぺろぺろ…っ♡

もっ、口づけでは、物足りません…♡

お殿様のお顔の味を、感じたいのですう…♡

(顔面舐め 5秒)

ん、んお、おん、おお、おん、おおん♡

んふ、んっふ、おお、おお、おおん、んおん…♡

んっうおっ、おっふ、っくうう、んうああ…♡

んいっ、んっひい…♡

へあっ、ふあっ、あっふ、んういい…♡

お殿様あ…♡ 孕ませて、孕ませて、くださいいい…♡

おおっおおお…♡

赤ちゃんっ、早くっ、産みたい…♡ 母としてっ、

あなたの赤ちゃんっ、育ててあげたいのです…♡

だからっ、孕ませ♡ 種付け♡ 早くっ、早くう…♡

(顔面舐め 5秒)

おおおっ、っんんおっ、おおおおっ♡

おうっ、んっおっ、おんんっおおおっ、っんん…♡

んっ、んっうっ、おっ、っんっ、おっ、おおっ、おおおっ♡

っうっ、んんっ、っおおんっ、んっ、おっ、おおっ♡

っんっ、んうおお…♡

うっおおっ、くうおおっ、ほおおっ、んいっぐうおお…♡

イグイグっ、またイグっ、お殿様のっ、全力突き刺し交尾…♡

子宮の入り口っ、亀頭で甘くところかされてっ、

おまんこイッグううおお…♡

んっ、っうっ、おっ、おおおっんんんっおおおっ♡

っうっ、おおおっうっ、んんおおおっんんっ、んお…♡

お殿様っ、お殿様あ…♡

出してっ、出してっ、ほおおっ、出してえ…♡

孕ませお射精っ、またっ、いっばいい…♡

奥にくださいっ、奥にっ、おっくっ♡

奥っ、奥っ♡ イグイグっ、ひっぐうおお…♡

おおおっ、うっおおっ、んうおおっ、奥ううううおお…♡

(絶頂) んうおおおおおおお…♡

くううっおおっ♡ ほおおっおおお…♡

うううっおお…♡ びゆるびゆるっ、ぶっびゅううう…♡

子宮に、いっばい…♡ くっふうっ、ほっおお…♡

うううお、くううう…♡ もっ、入らない…♡

おまんこっ、精液、溢れ…♡ ふううう…♡

ふっ、ふっ、ふっ、ふっううう…♡

んっぁ…♡　っはぁ、はぁぁぁ…♡

ええ、わかっております…♡

まだまだ、お射精…♡　種付けしてくださるのですよね…♡

もちろんです…♡　私も…♡　まだ、おまんこ、物足りません…♡

子宮に入りきらないくらいの中出し射精をいただいても、まだ…♡

お殿様と、交尾…♡　続けたいのです…♡

ですから、来てください…♡

おちんちん、ぱんぱん…♡　また、強く…♡

お殿様のこと、ぎゅうって、抱きしめていてさしあげますから…♡

おちんちん、いっぱい…♡　どうぞお…♡

おおっ、おおんんっ、っおおっ、おおおっうっ、うっ、っおお♡

おおおっうっ♡

っんんんおおおっんっ、んおっ、おっ、おっんん…♡

んっ、んうっおっ、んんっおっ、っうっ、っうっ♡

んんおっ、おおおっんんっ、おっ、っんん…♡

うっおっ、んうおおっ、うおおっ、ほおおお…♡

(ディープキス 5秒)

ほおおお…っ♡ うっ、ぐっ、ほおおっ、お殿様あ…♡

んっ、んうっ、おおおおおっ、んっ、んっ、っおおっ♡

おうっうっ、っおおおっ、おおっ♡

っんんんっおおおっ、っんっ、っおっ、おっ、んんっ…っ♡

んんっうっ、っおっ、おおっんんっおっ、おっ、っふうっ♡

ふっうっ、っおっ、おおっうっ、んんんっ♡

おおおんっ、っおおっ、うおおん…っ♡

(ディープキス 5秒)

へっ、へっ、はっああっ、おおお…♡

(顔面舐め 5秒)

くうっうっおおお…♡

もうっ、私…っ♡ お殿様とっ、子作りしていると…っ♡

自分がっ、自分でっ、なくなっているようで…♡ ほっおおお…♡

おまんこっ、きゅんきゅん…♡

オスのおちんちんにつ、媚び媚びっ、止まらない…♡

発情メスまんこっ、あなたというオスにつ、完全につ、落ちて…っ♡

おっおおおお…っ♡ 一生、あなたの側に…っ♡

あなたの番としてっ、子供っ♡ 永遠につ、生み続けたいって…♡

心もっ、身体もっ、おまんこもっ、子宮もお…♡

おっ、っんんっおっ、おっ、うっ、うっ、っおおっ♡

おっ、うっ、んっ、んおんんっ、っおおっ、んんんおお…♡

うっ、おおっ、っんんんっおおおおっ、おっうっ♡

おおおおっうっ、っんっ、おおおっんっ、んんおおっ、おっん…っ♡

うっおおおっ、んっおっ、くうおっ、ほおおおおお…♡

おおおっ、おおっんんっおおおっ、うっ、っうっ、おおっ♡

んっおっ、っんんんおっ、おっ、っんっ、んうう…っ♡

はっ、はっ、おおおっ、うっおおおお…♡

お殿様っ、お殿様っ♡ 好きっ、好きっ、好き好き好き好き…♡

(ディープキス 5秒)

孕ませてください…♡

赤ちゃんくださいっ♡

種付けっ、子種っ、植え付けてっ、孕ませえ…♡

もっ、止まりません…♡ あなたの赤ちゃん孕むまでっ♡

おまんこ発情っ♡ 止まりませんからあ…♡

んっ、んんっうっ、おおおんっ、んっ、っおっ、っうっうおおおっ♡

おおうっ、んっ、んっ、んおっ、おおおおっんっ♡

孕ませてっ♡ 妊娠させてくださいっ♡

中につ、たっぷりっ♡ いっぱいつ、どくどく…♡

子宮から溢れるぐらいのっ、濃厚おちんちん汁う…♡

たくさん、たっくさあん…♡

んっおっ、おうっ、うっ、おっ、おうっ、っんっ、んっおっ…♡

おおっ、んんっ、おおお…っ、んんっ、んうおっお…♡

んっ、おおおっうっ、うっ、っおっ♡

おうっ、んんっ、っおっ、おんんんっおお…♡

ほおおおっおお…♡

お殿様のっ、全力っ、腰振りい…♡ おおっおおお…♡

うっおっ、おまんこっ、えぐれるっ♡

おちんちに子宮っ、吸い付いてっ♡

持って行かれる…♡ おまんこっ、おかしくなりゆう…♡

んんっうっ、おおおっんんっ、んおおおっ、っうっ♡

おおっ、おうっ、っんんおおおっんんおおっんっ♡

うっおっ、ほおおっお…♡

イグイグイグっ♡ おまんこイグっ♡

おちんちんどっちゅり突き込まれてっ、

メスまんこっ、イギますうう…っ♡

うおおおおおお…っ♡

お殿様っ、お殿様っ♡ うっおおおっ、ほっおおお…♡

んっ、っうっ、っおっ、っんっ、んおおっ、うっ、っうっ♡

っおっ、おおっ、うっ、っんっ、んおおっ、おおっんっおおおっ♡

ひっぐっ、ひっぐうおっ、うっおおおっ、んうおおおお…♡

イグイグイグイグっ、イグからっ、出してえ…♡

トドメのお射精っ、妊娠確実大量種付けえ…♡

奥にくださいっ♡ いっぱいくださいっ♡ おおおっ、イッグっ♡

イギまんこっ、中出し…♡ うおおっおおお…♡

おっ、おっ、おっ、おっ、おっ、おっ、おっ、おおおっおおお…っ♡

お殿様あ…♡

ひっぐうおおおっおおお…♡

(絶頂) んうおおおっおおお…っ♡

うううおおおっ♡ ふぐっうおおおおお…♡

っおおお…っ♡ うっおっ、おおおっ、ぐっ、おっ、ぐうおっ♡

ほおおお…♡

ふうううう…っ♡ ぐっふううう…♡

へっ、はっ、うっおおっ、出て、るう…♡

子宮…っ、もっ、入りきらないのに…♡

入り口、おちんちんで蓋、されて…ッ♡ おっへ…♡

子宮、膨らまされて、無理矢理、押し込まれてえ…♡

ああ…っ♡ 孕む、これ、孕まないの、ウソ…♡

絶対、妊娠しました…♡ 確実に、あなたの赤ちゃんを…っ♡

ふっ、ほっ、ほっおっ、うううう…♡

ふー…っ、ふー…っ、ふー…っ♡ くっふうう…♡

はぁ、はぁ、はぁ…♡

お殿様ぁ…♡

私は…白雪は、あなたのことを…♡

心より、愛しております…♡

お世話役としてではなく…一人の女として…♡

分不相応とお笑いください…♡

ですが、それでも私は…♡

あなたの伴侶となって…♡ 一生を、添い遂げたいと…♡

願っております…♡

お殿様…♡

大好きです…♡

ふふ…♡ ふふふふふふ…♡「♡」

● 第13章

艶「んふ、お殿様…♡ 今日も来ちゃった♡」

白「お殿様は、一昨日、昨夜と…♡

艶美にも、この白雪にも、

妊娠確定孕ませ交尾をしてくださいましたが…♡

世の中には、万に一つということもございます♡

万が一、未だ妊娠に至っていないという可能性も考えて…♡

今夜、今一度…♡ 私たちとの孕ませ交尾、

お願いいたします…♡」

艶「なあって…♡

本当は、まだまだお殿様と、交尾しまくりたいだけなんだけどねえ…♡

んふ…♡

はあい♡ お殿様…♡

それじゃあここに、おちんちん、ぶち込んで♡

寝転がった私の上に覆い被さって、

おまんこ布団でおちんちんぬくぬく♡

ハメハメぱんぱん、してくださいあい…♡

おっおおお…♡ んっうん…♡

お殿様あ…♡

おっおおおっ、んんっ、おっほおっ、おおっうっうっ♡

おおっ、っううんっ、っんうんっ、んんうおおんっ♡

おっんっ、っおおっ、おうっ、っうっ、おおおうっ♡

っんっ、んっ、っおっ、おおんんんおおおっ♡

んっ、おっ、おっほっ、んっうん…♡」

艶「オホ声 5秒」

白「ふふ、お殿様…♡

私はお殿様のお背中に、失礼させていただいて…♡

おっぱいかけ布団…♡

ここでお殿様のかっこいい交尾、応援いたします…♡

(頬舐め 5秒)

はぁ…♡ ほっぺた、ぺろぺろ…♡

いっぱいお舐めしますから…♡

(頬舐め 5秒)

おちんちんも、ぱんぱん、ぱんぱん…♡

艷美の孕みまんこに追い種付け、お願いしまあす…♡

おちんちん、いっぱいすぼすぼ…♡

ぱんぱんぱんぱん…♡ どちゅどちゅどちゅどちゅ…♡「♡」

艷「うおおおつ、おっんつ、っおおつ、おうっ♡

うっ、おおつ、おっうっ、っんんっおおおっんんっ♡

おおっんっ、っおおおおっうっ、っうっ、っおおおつ、おっうっ♡

っんんっ、んおおつ、っんんおつ、んんん…っ♡

んっううん…♡ この間、お殿様に種付け、してもらってから…♡

おまんこっ、もっとお殿様のおちんちんに、負けちゃって…♡

んっおつ、うっおつ、おっほっ、おおお…♡

おちんちんいっぱい、感じちゃう…♡ うっおつ、んうおおっ♡

くっうっ、おおおおお…♡

お殿様っ、おちんちんっ、すっごいつ、ふうおおおおお…♡

んんんんうっ、っおおっ、おっ、おんんんっ、おおおっ♡

おうっ、っうっ、っおおっ、おっ、うっ、んんんっおっ♡

おっ、おっんっ、んおっ、おおんっ、ん…っ♡

おっへぁ…♡ おちんちん、好っきい…♡

気持ちいいっ、気持ちいいよお…♡

んんっ、おおおおおっ、おおおおおおおっ、うおおおおおっ♡

おっ、おおっ、おおおっ、ほおおお…っ♡」

艶「オホ声 5秒」

白「ふふ…♡♡ お殿様…♡

（頬舐め 5秒）

はぁ…♡ 種付け交尾中の横顔…♡

本当に、ご立派になりましたね…♡

もう、何の疑いようもない、大人の男…♡

女二人を孕ませた、父親のお顔です…♡

愛しております、お殿様…♡

（頬舐め 5秒）

さあ、私たちのお殿様…♡

艶美に種付け、してください…♡

中出し射精で、発情子宮を真っ白に、埋めてください…♡」

艶「おおおおおお…♡ お殿様…♡

おおおつ、来るっ、おっほっ、来る来るっ、ほおおお…♡

種付け来るっ、お射精来るっ♡

おちんちんっ、どくどくっ、脈打って…♡

はいっ♡ はいっ♡ お殿様っ、っおおお…♡

孕みまんこイキますっ♡ 孕みまんこイッちやいますっ♡

ほおおおお…♡

んうっおおおつ、くううおおおっ♡ んっいつ、ほおおお…♡

うっおおおつ、イグイグっ、イググっ♡

ほっおおおつ、イググうおおお…♡

おっ、おっ、おっ、おっ、おっおつ、うおおおおお…♡

（絶頂）んっいいいいおお…♡

うっおおおつ、んうおおお…♡

ふっぐっ、ふうおおつ、んっおおつ、んっいいいい…♡

中出しっ♡ 来てるっ♡ うっくっ、ほおおお…♡

へっ、ほっ、おっほっ、うううん…♡

お射精っ、熱いのっ、どくどくっ、くうっううっ…♡

お殿様…っ♡ おまんこっ、あっつい…♡

子宮ばかばか、幸せ…♡

んっひい…♡

はっ、ふあっ、ふっ、くっうん…♡」

白「ふふ…♡ 中出し種付け、お疲れさまでした、お殿様…♡

それでは、お次は…やんっ♡ んっ、あんっ♡

お殿様…っ♡

あは…♡ 私が話し出す前に、動き出して…♡

さすがです、お殿様…♡

ええ、どうぞ…♡

今度は私のおまんこ肉布団にて、おちんちん、お射精…♡

おおっおおっおおお…っ♡

んっ、おっ、ほっおっ、くっうん…♡

んっほ…っ、おっ、おっ、おおおっ、んっおお、おおおっお…っ♡

おっほおおおっ、おおっ、おおおおお…っ♡

んん…っ、うほおっ、おおおっ、おおお…っ♡

おおっ、うっおおっ、おおっううう…っ♡

おっへっ、ほっおっ、んっうんっ、ほおおおおお…っ♡

ほおっ、おおっ、ほっ、おおっ、んうおっ、おおおっ♡

ほっおお、んうおっ、おおっ、うんんっ、ほっお…っ♡」

艶「んふふ…お殿様あ…♡

今度は白雪に種付けだよ…♡

たぶん、もう妊娠してると思うけど…♡

改めて中出して、確実に孕ませしちゃおうね…♡

(頬舐め 5秒)

はぁ…♡ お殿様のかっこいいおちんちん出し入れて、

白雪のお腹、おっきくしてあげて…♡

(頬舐め 5秒)

んひひ…♡」

白「(オホ声 5秒)」

白「おおおっ、おおおおおっ、おおおっ、うっほお♡

おおっほお…っ、おおっ、んうおお、おおお…っ♡

んっうっおおお…っ♡

んおお…っ、んんんおお…っ、おおっんっ、んんんっ♡

おおお…っ、おおおおっん…っ♡

お…っ、ほおおおおお…っ、おおおおお…っ、おお…っ♡

うっおおっ、お殿様っ♡ おっ、うっ、おっおおっ、んおおお…っ♡

ふっぐうおおお…っ♡ お殿様っ、おちんちんっ、すごいです…♡

奥まですんずんっ、勢いよくっ、突き刺さって…♡

っおおっ、うっおおっ、おちんちに恋してる子宮っ、

たくさん、愛してくださって…♡ んっうお…っ♡

おおお…っ、おお…っ、ん…っ♡

んんんおおおおお…っ、おおおおお…っ♡

おっんんお…っ、ほおおおおお…っ♡

おお…っ、おっお…っ♡

身体が熱く…っ♡ おまんこっ、熱くう…♡

おおっ、んうおおっ、ほっ、ほっ、ほっおおっ、んうおおっおおお…♡

艶「お殿様がおちんちんぱんぱんってする度に、

白雪のやらしいおケツがだっぶんだっぶん、波打って…♡

こんないやらしい身体してる女を、好きに犯して、

孕ませられるんだよ…♡

お殿様、すごいね…♡ かわいい…♡

最高だよ、お殿様…♡

(頬舐め 5秒)

ほら、孕ませてあげて…♡

白雪、お母さんにしてあげて…♡

大好きなお殿様の赤ちゃん、産ませてあげてえ…♡

(頬舐め 5秒)」

白「(オホ声 5秒)」

白「うおおおおおっ おおおお…っ♡

ほおおおっ、うおおおっ、んうおおっ、くううっ おおおお…♡

んっおっ、くうおおっ♡ ふっ、ぐっ、おっおっ、ううおおおお…♡

おまんこイググ♡ おまんこイギますっ、おまんこっ、イグイグっ♡

おまんこひっぐっ、おまんこイギますう…♡

はいっ、はいっ♡ 奥にくださいっ♡ 出してください…♡

どぴゅどぴゅっ、びゅるるっ、どろどろ精液い…♡

ねばねばおちんちん汁っ♡ 奥にくださいっ♡ 中にくださいっ♡

んっお、おっほ、っおおお、んうっおおお…っ♡

おっ、おっ、おっ、おっおおっおお…っ♡

んっ、うおおおんっ、おんっ、んっ、うんおっ♡

おおんっ、うおんっ、おおうおおうっお…っ♡

うっおおっ、ほおおっおおお…♡

イグイグっ、イッグっ♡ うおおっおおっ♡

イッグうおおっおおお…♡

(絶頂) んうおおっおおおおお…♡ うっおおっ、くっおおお…♡

ほっ、おっ、ぐうおおっ、んいいい…♡

中出し、どくどく…っ♡

おっ、ほっ、おっほおっ♡ うっおおお…♡

っあああ…っ♡ 精液、たっぷりい…♡

孕みます、孕みます…♡ お殿様の赤ちゃん…っ♡

うっおおお…♡

へっ、はっ、ほっ、ほっお…♡

くっふううん…♡ ふっ、ふっ、ふっ、ふっ…♡「♡」

艶「あは…♡ お殿様…♡

種付け、ありがとね…♡

きっとこれで、私たち、絶対に妊娠——ひゃっあっ!?

あっ、うん…♡ お、お殿様…っ♡

おおっおおお…っ!?! う、っそ…っ♡

また、おちんちん、ぶちこまれ…っ♡

んんっ…んお、おん、んっ、お、おお、ううっ、うん、おん♡

おんっ、お、おっ、うん、んっ、んっく、んっふ…♡

おほおっ…おおんっ、おんっ、いや、やん、んおう♡

おう、おん、おんっ、んおっ、んおうっ…♡

うっおおお…っ♡

またっ、おまんこ交尾っ♡ すっごっ、ほっおおおお…♡

んおっ、おん、んくっ、んうっ…♡

んお、おおん、おっ、おんっ、んう、んお♡

んおっ、おっ、おっ、おっ、おっ…♡

んっ、おん、んお、おっく、んっく、いや、うお、ん、んうっ♡

んお、んおう…♡

んっうっ!?!?

(ディープキス 5秒)

へっあああ…っ♡ お殿っ、様あ…♡

んっ、おお、おおんっ、おんっ、いや、やん、んおう、おう♡

おん、おんっ、んおっ、んおうっ…♡」

艶「オホ声 5秒」

白「ああ、お殿様…♡

まだ、私たちに孕ませ交尾、してくれるなんて…っ♡

さすがです、お殿様…♡ 素敵…♡ 愛しております…♡」

艶「好きっ、好きっ、大好き大好きっ♡ お殿様っ、お殿様あ…♡」

白「(耳舐め 5秒)」

艶「お殿様っ、ありがとう…♡

孕ませおちんちん、ありっ、がとお…♡ ほっおおお…♡

うっおっ、んっおおっ、くっ、ほっ、ほっおおお…♡

好きっ、好き好きっ、んっおっ、好きい…♡

お願いっ、孕ませて…♡

お殿様の赤ちゃんっ、本気でっ、産みたいからあ…♡

かっこいいお殿様のっ、赤ちゃん…♡

かわいいお殿様そっくりなっ、赤ちゃん…♡

産んであげたいからあ…♡

うっく、うぐ、うお、うおんっ、おん、ほおっ、おほっ、おほおっ…♡

おっ、おおっ、おっ、ほおっ、おんっ、おん、おんっ、やんっ、ふおっ

♡

(ディープキス 5秒)

おっ、おっい、んお、おおん、おっ、おんっ、んう、んお♡

んおっ、おっ、おっ、おっ、おっ…♡

んっいいい…♡」

艶「大好きっ、大好きっ、好き好きっ♡ 好っきいっ♡

ほおおっおおお…っ」

白「(耳舐め 5秒)」

艶「(オホ声 5秒)」

白「(どっぞ、お殿様…♡

艶美がこんなに欲しがっている赤ちゃん…♡

どうか、お恵みください…♡

お殿様のおちんちんから出る、熱々の孕ませ汁…♡

孕み精液、子宮にどくどくたっぷり注いで…♡

孕ませてください…♡ 孕ませてください…♡

孕ませて、孕ませて、孕ませて、孕ませてえ…♡

(耳舐め 5秒)」

艶「ん、つく、ん、んふう、んお、おう…♡

んお、お、んおっ、おおっ、ううおっ…♡

んお、んう、おん、うん、おん、おんっ♡

ん、んお、ほお、おふ、ふおっ…♡

っおおっ、イッグう…♡

んっ、おっ、おう、んっ、んうっ、ひいっ、っおお♡

んおう、んっく、くお…っ♡

お殿様っ♡ お殿様っ♡ うっおおおっ、ほおおっおお…♡

ぐっ、おっ、おっほっ、うおおおお…♡

来る来るっ、来っる♡ うっおおっ♡ 来るううう…♡

ひっ、ほっ、うっおっ、くうおお…♡

種付けっ、孕ませっ♡ 幸せっ、妊娠お射精い…♡

おおおっ♡ んっおおっ、くうおっ♡ ほおおお…♡

イグイグイグっ、んおおっ、くうおおお…♡

お殿様あああ…っ♡

(絶頂) うおおっおおおお…♡

くっおおっ、おっほっ、ほおおっ、んっいいおおお…♡

っおおお…っ♡ 熱いっ、あちゅいよお…♡

びゅー…っ、びゅー…っ♡ ほおおお♡

ぶっびゅううう…♡

ふー…っ♡ ふー…っ♡ ほっおお…♡ おおおお…♡

うっふう…♡ ふううう…♡

へっえ、はっあ、うううっ、くっおおお…♡

お殿様あ…♡ はあ、はあ、はああ…♡

っおおお…っ♡「

白」ああ、お殿様…♡ お殿様…♡

もう、言葉はいりませんね…♡ あんっ♡

はあ、はあ…♡ おちんちん、来て…♡

おおおっおおお…っ♡ んっ、おっ、ほっおおっ、うううん…♡

ほおっ、んんお、つくお…っ♡

んうっ、おおん、うん、おんっ、おっ、んお、おお…っ♡

ひい、おほお、ううおっ…♡

おお、ん、んふ、んお、んう、お、っおお…♡

お、おっ、ん、んふう、んっ、んお、おん、んう…♡

(ディープキス 5秒)

んお、うっふ、うん、おほ、おんっ、おんっ、おんっ♡

お殿様あ…♡

うおおっおおお…っ♡」

艶「あは…♡ お殿様…♡

中出しどくどく…♡ 白雪にもまた、してあげる気なんだね…♡

うん、うん…♡

すごいよ、かっこいいよ…♡ そういうところが、本当に大好き…♡

お殿様、好き、好き…♡

孕ませお射精、いっぱい出してあげて…♡」

白「(オホ声 5秒)」

艶「(耳舐め 5秒)」

白「大好きです…♡ だあい好き…♡ だあい好き…♡
好き、好き、好き…♡」

白「ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ、んふ♡
んっふ、おお、おお、おおん、んおん…っ♡
んっおおっ、くおおおっっ、おっほっ、うっおおお…♡

赤ちゃん、赤ちゃん♡

お殿様の赤ちゃん…♡ 育てたいです…♡

お殿様の赤ちゃん産んで、立派に、育ててさしあげたいです…♡

だから、孕ませて…♡

孕ませて、妊娠させて…♡

ください、ください♡ 精子ください♡

中出しどっぴゅん、びゆるびゆるくださあい…♡

(ディープキス 5秒)

んおっ、おんっ、おっ、んお、おおんっ、おお、んっ♡
うん、おんっ、お、おっ、おんっ、やんっ、おお、うおんっ♡

うっおっ、ほっおおっ、くっふう♡

ほおおおお…♡

(ディープキス 5秒)

へっ、へっ、へっ、へっええ…♡」

艶「(耳舐め 5秒)」

白「お殿様っ♡ 好きですっ♡ 好きですっ♡

愛しておりますっ、好き好きっ♡ 好きっ、好きいっ♡」

艶「出して、出して…♡

どくどく出して…♡

白雪のおまんこに、どっぴゅん、びゅうびゅう…♡

しっかり赤ちゃん孕ませて、赤ちゃん、授けてあげてえ…♡

おちんちんから熱いの出して、お腹ぼっこり、

幸せボテ腹女にしてあげてえ…♡

お殿様♡ お殿様♡ お殿様あ…♡」

白「(オホ声 5秒)」

白「おん、うん、おん、おんっ、んお、ほお、おふ、ふお…っ♡

おお、ん、んふ、んお、んう、お、っおお…♡

お、おおっ、ん、んふう、んっ、んお、おん、んう…っ♡

ふっううう…♡

(ディープキス 5秒)

へっえああああ…♡ お殿様っ、イギますっ♡

おまんこイギますっ♡

おおおおっ、ふうおおお…♡

赤ちゃん孕まされてっ、イギますっ、イギますからっ、ほおおお…♡

ほっおおお…♡ うっおおっ、んっくうっ、ほおおお…♡

イグイグっ、んいっぐっ、うっおおっ♡ イギますう…っ♡

出して、出して、出してえっ、おおおおお…♡

中出しどっくんっ、精子いっぱいっ、奥にください…♡

おっ、おっ、イッグ、イッグっ、ほおおおっ、イッグおおお…♡

うっおおおっ、んうっおおおっ、くううおっ、ほおおお…っ♡

(絶頂) んっいいいい…♡ うううおっ、くううっおおお…♡

はっあああ…♡ はっあ、おっほっ、んおっおおお…♡

くううう…っ♡ ふうううう…♡

ふっう、ふっう、ふっう、ふー…っ♡

あったかい、です…♡ お殿様の、中出し、種付け、精液い…♡

ああ…っ♡ お腹いっぱい…♡

おまんこ、幸せたっぷりです…♡

ほっおお…♡ ふっう、ふっう、ふううう…♡

お殿様…♡ 好き…好きい…♡」

艶「お殿様…♡

孕ませ交尾、ありがとう…♡

すっごく気持ち良かったよ…♡」

白「これからも、永久に…♡

お側にいさせてくださいませ…♡

私の、お殿様…♡」

艶「愛しております、お殿様あ…♡ チュっ♡」

白「愛しております、お殿様あ…♡ チュっ♡」

● 第14章

艶「お殿様あ…♡

んお、んふう、うう、うお、おう、んう、ん、んつく、くう…♡

んんんう…♡

んっ、おっ、おおっ、くっうん…♡

はっ、はあっ、あああ…♡

今日もっ、おちんちん、気持ちいい…っ♡

うっ、おっ、っくっ、ほっお…♡

んおっ、ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ♡

んふ、んっふ、おお、おお、おおん、んおん…っ♡

あっ、んっうおっ、出るっ、出るっ、おっぱい出るう…♡

んっううん…っ♡ ほっおっ、くっうん…♡

うっ、くっ、ほっ、ほおっおお…♡

あはぁ…♡

おまんこ気持ち良くて、母乳、いっぱい出ちゃった…♡

こんなにお腹、大きくなっても交尾、してるから…♡

おちんちんに反応して、おっぱい、感じちゃってえ…♡

ん、んお、んっ、うん、おんっ、お、おっ、おんっ、おおっ♡

んっ、んぐっ、んう、んっ…♡」

艶「オホ声 5秒」

白「ふふふ…♡

お殿様…♡ ボテ腹交尾、いかがですか…♡

片や、自分で孕ませた女の、大きく膨れたお腹を見ながら、

ずばずばハメハメ…♡

片や、同じく孕ませた女に、膝枕をしてもらって…♡

頭をたっぷり、よしよし、撫で撫で…♡ たっぷり甘やかされて…♡

私も、艶美も、両方とも、すっかり孕まされて…♡

赤ちゃんもすすくすく育ち、母乳が出るようになって…♡

それでもお殿様の性欲は、まったく治まらないんですから…♡

本当に、大変で…幸せです♡」

艶「おんっ、いや、おん、おんっ、おう、うんっ、お、んっ♡

んっ、うん、おんっ、お、おっ、おんっ♡

ん、おん、ほお、おおん、うん、おんっ、おっ、んお、おおんっ♡

ほっおおおん…っ♡ うっ、おおおお…っ♡

ほら、お殿様あ…♡ おっぱい出しっぱなし、もったいないよ…っ♡

せっかくだから、飲んでみて…♡

私のおっぱい、ちゅうちゅう、ちゅぱちゅぱあ…♡

っあんっ♡ うん、そう、そう…♡

乳首啜えて、んっうん…♡

あっあっ、母乳、吸われて…♡ うっくう…♡

っあああ…っ♡ すごっ、お殿様…♡

母乳ごくごくっ、すごーい上手…っ♡

母乳いっぱい、出ちゃう、出ちゃう…♡

おっ、ほっ、んうおっ、くっうう…♡

へっあああ…っ♡

うっ、くっ、ほっ、ほっおお…♡」

艶「オホ声 5秒」

白「ふふふ…♡

お殿様は、以前からおっぱいを吸うのが得意でしたから…♡

本当におっぱいが出るようになって、

それは変わらないようですね…♡

さすがです、お殿様…♡ よしよし、よしよし…♡

ほら、お殿様…♡ 艶美のばかりではなく、こちらも…♡

美味しい母乳がたっぷり出るおっぱいは、

こちらにもあるのですから…♡

っあんっ♡ ううん…♡

はいっ、はい、そうですっ、くっうん…♡

あっ、あっ、本当につ、お上手で…っ♡ んっお…っ♡

おっぱい、出ちやいます…♡

ふうあっああ…♡ んっうんっ、はあ…♡」

艶「おお、おん、うん、うつふ、うん、おほ、おんっ、おんっ、おんっ♡

ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ、んふ♡

んっふ、おお、おお、おおん、んおん…♡

んっううん…♡ お殿様あ…♡

んっいいい…♡ ボテ腹交尾でっ、おちんちんっ、おつき…♡

ううつ、くっうつ、ほおおっ、おおお…♡

んっおおっ、イッグ、イックっ、くうおっ、うううん…♡

はえあああ…っ♡

おっぱいまたっ、ちゅうちゅう吸われてえ…♡

おっぱいとおまんこっ、一緒にイツちやう…♡

お殿様に気持ち良くされて、おまんこイツちやうよお…♡

んっいいい…っ♡

んっうおっ、おっふ、っくうう、んうあああ…っ♡

んいっ、んっひい…っ♡

へあっ、ふあっ、あっふ、んういい…っ♡

おおおっ、っんんおっ、おおおおっ♡

おうっ、んっおっ、おんんっおおおっ、っんん…っ♡

おおっおお…♡「

白「さあ、お殿様…♡

ポテ腹艶美に中出ししてください…♡

孕んでいても、私たちは、お殿様のお世話役ですから…♡

おちんちんの快樂のため…♡ お殿様が気持ち良くなるために…♡

今日もたくさん、お射精してください…♡

んっうう…♡ はい、はい…♡

私たちのおっぱい、ちゅうちゅうぐくぐく、いっぱい飲んで…♡

っおお…っ♡

おちんちんたくさん元気にして、お射精、どうぞお…♡

んっ、くっ、ほっおっ、んうおお…♡

んいいいん…♡」

艶「んっ、んっうっ、おっ、っんっ、おっ、おおっ、おおおっ♡

っうっ、んんっ、っおおっんっ、んっ、おっ♡

おおっ、っんっ、んうおお…っ♡

お殿様っ、お殿様っ、出してっ、出してえ…♡

んううおお…♡ ふっ、ほっ、ううんおっ、ううおおお…♡

うっ、ううおっ、んうおっ、くおおお…♡

イック、イック、イック、イックううう…っ♡ おおおおお…っ♡

(絶頂)へええあああああ…っ♡

おおおおっ、んうおおお…♡

うううっ、くうううう…っ♡

ふっ、ほっ、んおっほっ、んっいいん…♡

ああ、赤ちゃんいるのに、熱いのたくさん、注がれちゃってえ…♡

へー…っ、へっえあ…♡ ほっ、ほっ、ほっ、ほっおう…♡

んうっお…♡ んっうんっ、はっああ…♡

ああ、お殿様あ…♡ あはあ…♡

おっぱい出過ぎて、お顔、びちゃびちゃにしちゃったあ…♡

ごめんねえ♡ んふふ…♡」

白「ふふ…♡ ですが、そのおかげで…♡

おちんちんまだまだ、とっても元気いっぱい…♡

では、お殿様…♡

次はこの白雪との、ボテ腹おまんこ交尾…♡

いたしましょうねえ…♡

おおっおおお…っ♡

んっ、ふっ、ふっくっ、ほっおお…♡

んっ、っうっ、おっ、おおおっんんっおおおっ

っうっ、おおおっうっ、んんおおおっんんっ、んお…っ♡

おおっ、おおんんっ、っおおおっ♡

おおおっうっ、うっ、っおっ、おおおっうっ♡

んんんおおおっんっ、んおっ、おっ、おっんん…っ♡

んっううん…♡ お殿様あ…♡ ああ…♡

妊娠おまんこ…っ♡ いかがですか…っ♡

うっ、くっ、おっ、ほっおお…♡

へっあああ…♡ 母乳噴き出し、ぶっかけ交尾…♡

元気の出るおっぱい、たくさん、出ちゃってえ…♡

んっ、おっ、んっうんっ、っううんお…♡」

艶「んひひ…♡ お殿様…♡

お腹がこんなに大きく膨らんで、

ずっしり重たくなっちゃったおまんこ出し入れ…♡

おちんちんでいっぱい、感じちゃってるねえ…♡

膝枕してもらって、自分の赤ちゃんが中にあるお腹、

こんなに近くで感じながら、おまんこハメハメ…♡

すごいよねえ…♡ さすがだよねえ…♡

よしよし、よしよおし…♡」

白「(オホ声 5秒)」

白「んっ、んうっおっ、んんっおっ、っうっ、っうっ♡

っおっ、おっ、おおっうっ、んんおっ、おおおっんんっ♡

おっ、っんん…っ♡

お殿様…♡ おっぱい、飲んでください…♡

母乳飲んでっ、おっぱい、吸ってえ…♡

おおおおお…っ♡

んっ、くっ、ほっおっ、うおおお…♡

好きっ、好きですっ♡ おっぱいちゅうちゅう、

好き好きっ、好き…♡

んっ、んうっ、おおおおおっ、んっ、んっ、っおおっ♡

おうっうっ、っおおおっ、おおっ♡

うっ、っんんんっおおおっ、っんっ、っおっ、おっ、んんっ…っ♡

ふっ、くっ、おっ、ふうおお…♡

っあああ…♡

これから産まれる赤ちゃんのために出てくるおっぱい…♡

その父親のお殿様が、お先に、ちゅうちゅう…♡

いけないことなのに…♡

いけないことだから、気持ちいいですね…♡

うつくうっ♡

ほっおお…♡ はっ、あぁっ、はぁぁっ、んっうっ…♡

お殿様…♡ んふふ、お殿様ぁ…♡」

艶「んふふ…♡

ほら、お殿様ぁ…♡ こっちのおっぱいも、いっぱいどうぞお…♡

んっうお…っ♡ 勢い、すっごお…♡

はっぁっ♡ くっううん…♡

出るっ、出るっ♡ おっぱい出るっ♡ くっううん…♡

ほっおおおお…♡ うつくっ、ほっおお…♡

あぁ…っ♡ すっごいよお、お殿様ぁ…♡

もう、赤ちゃん産まれる前におっぱい、空っぽになっちゃいそう…♡

んっ、っううん…♡ まだ出て…っ♡

吸われっ、んううっ、くうっおお…♡

へっあああ…っ♡ はっ、はっ、はっ、んひひ…♡」

白「オホ声 5秒」

白「んんっうっ、っおっ、おおっんんっおっ、おっ、っふうっ♡

ふっうっ、っおっ、おおっうっ、んんんっおおおんっ♡

っおおっ、うおおん…っ♡

おっ、っんんっおっ、おっ、うっ、うっ、っおおっ♡

おっ、うっ、んんっ、んおんんっ、っおおっ、んんんおお…♡

っうううん…♡ お殿様…っ♡ いっく…っ♡

っくっうん…♡

ほっ、ううっ、んっおっ、んうおお…♡

おまんこっ、イキます…っ♡ おまんこイキます…♡

うううおっ、うっくおおお…♡

んうおおっ、うううん…♡

へっ、はっ、ふっ、ううんうおお…♡

ボテ腹交尾っ♡ おっぱいごくごく飲まれてっ♡

おっぱいっ、噴き出しながらっ♡

おまんこイキますっ、ほっおおお…♡

うっ、おおっ、っんんんっおおおおっ、おっうっ、っうっ♡
おおおおっうっ、おおおっんっ、んんおおっ、おっん…っ♡
おおおっ、おおっんんっおおおっ♡
うっ、っうっ、おおっ、っうんっ、んっおっ♡
っんんんおっ、おっ、っんっ、んうう…っ♡
んっうおっ、くっうおっ、おおおっ、んうっおおお…♡
お殿様っ♡ お殿様あっ♡
ううっ、ほおっおっ、くううおっ、んっいいい…♡」

艶「出して、出して、お殿様…♡

重たいお腹揺らして、おちんちんばこぼしてる白雪に…♡
がんばってるご褒美の、おちんちん汁、出してあげてえ…♡
んっい…♡

うんっ、私たちのおっぱい、飲み比べして…♡
母乳の味、しっかり覚えて…♡ おちんちに響かせてえ…♡
熱々お精子、たっぷり出してえ…♡
へっあああ…♡ ああ、お殿様あ…♡」

白「オホ声 5秒」

白「んっ、んんっうっ、おおおんっ、んっ、っおっ、っうっうおおおっ♡

おおっ、んっ、っおっ、おっ、おっ、っんっ♡

んおっ、おおおっんっ♡

おっんっおっ、おうっ、うっ、おっ、おうっ、っんっ♡

んっおお…っ、おおおっ、んんっ、おおおお…っ♡

んんんっ、んうおっおお…っ♡

イグイグっ、んいっぐっ、うっおおっ、イググう…♡

おまんこイググっ♡ おっぱい出る出るっ♡

うっおっ、くっおおおっ♡ ほっ、おおっ、うっおおっ、んひい…♡

お殿様あ…♡

(絶頂) んうっおおおっおお…♡

ふうっおおっ♡ おほっおっ♡

ううっおおっ、くうううおおおお…♡

ふっ、くっ、おっ、ほっおお…♡

ううおおっ、お殿様…っ♡ 精子、いっぱあい…♡

ふっ、ふっ、ほっ、くっふう…♡

っおおお…♡ ふー…っ、ふー…っ、ふーう…♡

あはあ…♡」

艶「あは…♡ お殿様…♡

あんっ♡ んっうん…♡

まだおっぱい、飲んじゃうの…？ やあん…♡

おっぱいちゅうちゅう吸ってるお殿様…♡

本当にかわいい…♡」

白「あぁ、お殿様…♡

何度でも言います…♡

私たちを孕ませてくれて、ありがとうございました…♡

こうしてお腹が大きくなって、より一層、

感謝の気持ちが強くなりました…♡」

艶「お殿様がくれた赤ちゃん…♡

大事な跡継ぎ候補として、大事に育てるからね…♡」

白「そして、この子が産まれたあとには…♡

また、次の赤ちゃんも、孕ませてくれますよね…♡」

艶「お殿様の赤ちゃんは、何人だって産んであげるからね…♡

お殿様のこと、愛してるから…♡」

白「これからも、どうか…♡

私たち二人と…♡ 孕ませ交尾…♡」

艶「いつまでも、楽しめようね…♡

ふふふふふふ…♡」

白「いつまでも、楽しめようね…♡

ふふふふふふ…♡」

艶「ちゅっ♡

白「ちゅっ♡

● 第15章

艶「お殿様あ…♡ はあい、あ〜ん…♡

んっうん…っ♡ あはあ…♡

どう、お殿様♡ おっぱいちゅうちゅう、美味し？

お殿様のために、母乳たっぷり出してあげるからあ…♡

たくさん飲んで、おちんちん元気にしてねえ…♡

んふふ…♡ あっという間にこんなに大きく…♡

身体は小さいのに、おちんちんだけ、バッキバキ…♡

かっこいいなあ…♡ んっあん…♡

ほうら、おちんちんしこしこ♡ おちんちんしこしこ♡

いっぱいしこしこしてあげるう♡

お殿様の大好きな、艶美のお手々で、おちんちん、いいこいいこお♡

おっぱいちゅうちゅう、母乳飲みながらあ…♡

おちんちんたっぷり、甘やかされちゃう…♡

気持ちいいねえ、最高だよねえ…♡

爆乳側室の甘い母乳…金玉にいっぱい、響いちゃあう…♡

おちんちんむくむくしちゃう…♡ 勃起止まんない…♡

んう、はあん、んっはあ、はあ…♡

おっぱいちゅうちゅう、すっごく上手…♡

やっあ、うん…っ♡

私もおっぱい、たくさん出ちゃう…♡

お殿様のこと、大好きで…っ、おっぱい、溢れちゃう…♡

くっふうん…♡

んっ、はっ、やっあん、はあ…♡

おっぱいたくさんお漏らししちゃう…♡

お殿様のための母乳、たくさん、噴き出しちゃう…♡

んっ、ふっ、お殿様あ…っ。

おっぱいちゅうちゅう、とっても上手う…♡

あっ、んっ、あっあんっ、はっああん…っ♡

あっ、あっ、やっ、やっあ…♡

んっうん…っ♡ ふっう、ふっう、はああ…♡

は…、は…、は…♡

ん…？ うん、お殿様…♡

おちんちん出ちやいそうなんだね♡

いいよお、出してえ…♡

私のおっぱいごくごく飲みながら、びゅーってしてえ…♡

授乳手コキでよしよしされて、かっこいいおちんちんから、

お漏らししちゃえ♡

私の母乳で元気になったおちんちん♡

たっぷりどっぴゅん、お射精してえ…♡

はあい、はあい、おちんちんどうぞお…♡

出して、出して、出して、出してえ…♡

はい、はい、はい、はい、はい、はあい♡

びゅっ、びゅっ、びゅ…う…っ♡

んっあ…っ、おっぱいちゅうちゅう、強…♡

うっくうん…っ♡

はっ、ふっ、んっうんっ、はあ…♡

ああ、お殿様あ…♡

真っ白おしっこ、勢いよく、噴き出して…♡

私の母乳に負けない勢いで…♡ かつこよすぎですよ♡

はあ、はあ…♡

ああ、お殿様…♡ いいですか？ お次は、私のおまんこに…♡

勢いよく、おちんちんお射精…♡

まっ白子作り孕み汁、私の中に、注いでくださいませ…♡

ほうら…♡ おちんちん、お迎えしちやいますよお…♡

んっいい…♡ んっうっ、はっあ、っおおお…っ♡

はっ、んっ、ほっお、ふうううん…♡

ふー…、ふー…、はっあ…♡

あは…♡ お殿様のおちんちん、おまんこの中にい…♡

ああ、お殿様あ…♡ だあい好き…♡

小っちゃくってかわいいのに、おちんちんはご立派で、

えげつなくってえ…♡

おまんこいっぱい、感じちゃあう…♡

んっ、おおおっうっ、うっ、っおっ、おうっ♡

んんっ、っおっ、おんんんっおおお…っ♡

へっえあああ…っ♡ お殿様あ…♡

んんっうっ、おおおっんんっ、んおおおおっ♡

おおっ、おうっ、っんんおおおっんんおおっんっ♡

おまんこ出し入れ…っ♡ ぱんぱん、抽挿…♡

お尻叩きつけ、騎乗位交尾い…♡ 気持ちいい…♡

私の方からおまんこして、おちんちん、搾ってあげてるのにい…♡

こっちばかり、いっぱい感じて、卑猥な声、止まらなあい…♡

んっ、っうっ、っおっ、っんっ、んおおっ♡

おおっ、うっ、っんっ、んおおっ、おおっんっおおおっ♡

おおおおっ、んんっ、おっほおっ、おおっうっうっ♡

おおっ、っううんっ、っんうんっ、んんうおおんっ♡

んっおっ、ほおっ、うくっ、ほおお…っ♡

はっあえええ…♡

おっぱい出ちゃう…♡ どばどば出しちゃう…♡

お殿様のお顔にたくさん、ぶっかけちゃう…♡

おっんっ、っおおっ、おうっ、っうっ、おおおうっ♡

っんっ、んっ、っおっ、おおんんんおおおっ♡

はっ、はあっ、お殿様っ、飲んでえ…♡

いっぱい噴き出る側室おっぱい母乳…♡

もつとぐくぐくしてえ…♡

んっいいいん…♡ ぱっくんちゅうちゅう、すっごい…♡

いい…♡

あっへえあ…♡

うおおおっ、おっんっ、っおおっ、おうっ、うっ、おおっ♡

おっうっ、っんっおおおっんっ♡

お殿様♡ お殿様あ…♡ 好きっ♡ 好きっ♡ 大好きいっ♡

んうっおおお…♡

おおっんっ、っおおおおっうっ、っうっ、っおおおっ♡

おっうっ、っんっ、んおおっ、っんんおっ、んんん…♡

んんんうっ、っおおっ、おっ、おんんっ、おおおっ、おうっ♡

んんんっおっ、おっ、おっんっ、んおっ、おおんっ、ん…♡

んっ、ふっ、ふっくうっ、ほっお…♡

んっ、うんっ、うっおおっ、はっああ…♡

んっうん…♡ うんっ、いいよっ、お殿様…♡

出してっ、精液っ、中にいっばい…♡

うううん…♡ 私もイクから…♡

母乳いっばいびゅっって出して、イッちゃうから…♡

中に出してね♡ たくさん出して…♡

おちんちんびゅーびゅー…♡ 中出しびゅー…♡

んんっ、おおおおっ、おおおおおっ、うおおおおっ♡

おっ、おおっ、おおおっ、ほおおお…♡

んううあっ、はっああんっ、んうっあっ、っううん…♡

おっ、おっ、イクイク、イックう…♡

ほっ、おっ、んうおっ、んうおおお…♡

（絶頂） あっへあえあああ…♡ おおおっ、んっおお…♡

んっいい…♡ お殿様…♡

熱いっ、どっびゅうっ♡ 精液、出てるう…♡

あっ、んうっあっ♡ 子作り汁っ♡ 赤ちゃん孕ませ汁う…♡

私の中に、たっくさあん…♡

はー…っ、はー…っ、んっはあ、んふふ…♡

ふっう、ふっう、ふううう…♡

はあ、ふう、はあ、はあ…♡ あはあ…♡

お殿様あ…♡ だあい好き…♡

私、一生…お殿様が大きくなるまで、ずっとずうっと…♡

一緒にいてあげますからねえ…♡

だあい好きだよ、お殿様あ…♡

んふふふ…♡ ちゅっ♡」

● 第16章

白「はい、お殿様♡ あゝん…♡

ふふふ…♡ おっぱいおいしいですか？ お殿様…♡

あなたのために、たっぷり母乳、出してあげますからね…♡

私のおっぱいから出る、甘あいお味…たっぷりごくごく、味わってくだ

さいませ…♡

よしよし、よしよし…♡

さあ、お殿様♡ こちらの方も…♡

おちんちんしこしこ…♡ 撫で撫で、撫で撫で…♡

おちんちん、いいこ、いいこお…♡

んっあん…っ♡

乳首ちゅうちゅう、さらに強く…♡

やつ、んっ、っあんっ、はあん…♡

そんなに強く吸われたら、おっぱい、噴き出てしまいます…♡

うっうん…♡ はっ、んっ、っあんっ、あはあ…♡

ああ、お殿様のお顔に、たっぷりと母乳が…♡

失礼いたしました、お殿様…え？

ふふ…♡ 母乳をぶっかけられて、嬉しいのですか？

でしたら、どうぞ…♡

またおっぱい、噴き出るぐらい強く、乳首をお吸いください…♡

そうすれば、いくらでも、お顔に母乳、さしあげますから…♡

お口でもお顔でも、好きなだけ、味わってくださいませ…♡

んっうん…♡

あはあ…♡

しこしこ、しこしこ…♡ おちんちんしこしこお…♡

はあ…♡

おちんちん、とっても熱く…♡

タマタマまでほかほかになって、

中で精子が熱湯のように滾っているようですね…♡

早くお外に出たいと…♡

早くおちんちんからお出かけしたいと…っ♡

私に訴えかけてくるかのように、おちんちん、どくどく…っ♡

はぁ…っ♡ お殿様のお口もっ、あっく…っ♡

合わせて、さらに強くう…っ♡

はっあん…っ♡ んっ、はっ、んっくっ、はぁん…っ♡

っはぁ、はぁ…っ♡

まだ、強くなるのですね…っ♡ おっぱい、ちゅっちゅう…っ♡

ああ…っ♡ すっごい、ですう…っ♡

やぁん…♡

っはぁ、っふう、はっあん…♡

はい、お殿様…っ♡

よろしいですよ…っ♡ おちんちん、びゅーう…っ♡

たっぷり出るまでしこしこしておりますから…♡

どうぞいっぱい、お射精してください…♡

私の母乳で、おちんちん、熱く…♡

んっふう…♡ ふふふ…っ♡

はい、はい、どうぞ、どうぞお…♡

甘々母乳飲みながら、お射精どうぞお…♡

はあい、はあい、はい、はい、はあい…♡

おちんちん、びゅーう…♡

んっはあ…♡ っああっ、たくさん、どぴゅどぴゅ…♡

おっぱい飲みながらっ、お射精…♡

うううん…♡ たっぷり、吸われてえ…♡

んっはあ…♡ はっ、ふっ、んっくっ、はっあん…♡

はー…♡ はー…っ、んっはあ…♡

んっううん…♡

ふー…っ、ふー…っ、ふー…っ、はっああ…♡

はあ、はあ…♡

ああ、お殿様…♡ 今日もすばらしいお射精です…♡

でしたら、このかっこいいお射精…♡

今度は私の中で、お出ししてください…♡

おまんこで、おちんちんお迎えいたしますから…♡

中で、どぶどぶ…♡ 種付けしてくださいませ…♡

んう、はあ、んうん、ふう…♡

んうっおおん…♡ んっ、はっ、はっあんっ、ふううう…♡

はあ、はあ、はあ…♡

ああ、お殿様のおちんちん…♡

いつにも増して、すばらしく、硬く…♡

はあ、はあ…♡ んうん…♡

んっほ…♡、おっ、おっ、おおおっ、んっお、おおおっ…♡

おっほおおおっ、おおっ、おおおおお…♡

へっあ…♡ お殿様あ…♡ うっくうん…♡

んん…♡、うほおっ、おおおっ、おおお…♡

おおっ、うっおおっ、おおっううう…♡

ほおっ、おおっ、ほっ、おおっ、んうおっ、おおおっ♡

ほっおお、んうおっ、おおっ、うんんっ、ほっお…♡

ああ…♡ お殿様のおちんちん…♡

やっぱり、気持ちいいです…♡

はっ、んっ、おまんこぱんぱん…♡

はしたないのに…♡ 恥ずかしいのに…♡

いやらしい腰振り、止まりません…♡

おおおっ、おおおおっ、おおおっ、うっほお、おおっほお…♡

おおっ、んうお、おおお…♡、んっうっおお…♡

っあああ…♡

んっうん、はっああ…♡ うっ、ふっ、んっふっ、ほっお…♡

んおお…っ、んんんおお…っ、おおっんっ♡

んんんっ、おおお…っ、おおおおっん…っ♡

ほおおおおお…っ、おおおおお…っ、おお…っ♡

おおおお…っ、ん…っ、んんんおおおおお…っ♡

おおおおおお…っ、おっんんお…っ♡

ほおおおおおお…っ、おお…っ、おっお…っ♡

うう、ふっ、くっふっ、ほっおお…♡

んっお、おっほ、っおおお、んうっおおお…っ♡

おっ、おっ、おっ、おっおおっおお…っ♡

んっひいん…っ♡

っおお…っ！？ お殿様…っ♡

おっぱい、ちゅぱちゅぱ、またあ…♡

交尾しながらっ、乳首、ちゅうちゅう…♡

くっ、ふっ、ほっおっ、んっううん…♡

そんなに吸われたら…っ♡ 母乳っ、またあ…♡

んっうん、くっううん…♡

ほっ、ふっ、んっふっ、くっああ…♡

んっ、うおおおんっ、おんっ、んっ、うんおっ、おおんっ♡

うおんっ、おおうおおうっお…っ♡

お殿様…っ♡ ああ、おっぱい、すごいです…♡

おちんちんもっ、ずんずん…♡ 奥に届いて…っ♡

おっ、おっ、おっ、おおおっ♡

ほっおおおう…っ♡ ふうっおっ、くうっうん…っ♡

ふううう…っ♡

はっあ、はっあっ、んっくっ、へあ…♡

ああ、お殿様…っ。おっぱい、掴んで…っ♡

もぎゅもぎゅ、ちゅぱちゅぱあ…♡

デカ乳弄ばれるのっ、好きですっ、好きです…っ♡

おおっおお…っ♡

うううんっ、ほっおおっ、うっくっ、ふっううっ…♡

はっ、はっ、はっああっ、おっおおお…♡

んっううん…♡ お殿様あ…♡

ああ、おちんちん…っ♡ 交尾い…♡

お殿様っ♡ 好きっ、好きっ、すっきっ、ほおおお…♡

んんっ…んお、おん、んっ、お、おお、ううっ、うん、おん♡

おんっ、お、おっ、うん、んっ、んっく、んっふ…♡

はっあ、はっああ、はいつ、はいい…♡

おちんちん、また、お射精するんですね…♡

ええ、いいですよ…っ♡

私の中に、たくさん、中出し…♡

跡継ぎのためのっ、子作りお射精…♡ いっぱい、いっぱい…♡

私の子宮、とろとろ濃厚おちんちん汁でっ、埋めてください…♡

おほおっ…おおんっ、おんっ、いや、やん、んおう♡

おう、おん、おんっ、んおっ、んおうっ…♡

っおっおお…っ。

イクっ、イック…っ♡

母乳汁撒き散らしながらっ、イキます、イキます…♡

うっ、くううっ、ほっおおっ、んうおおお…♡

おっ、おっ、おっおおっ、んうおおお…♡

イクイク、イック、んうんっおっ、イックうう…♡

ほっ、ほっ、ほおおっ、んうおおお…♡

（絶頂）んうおおっおおっおお…♡

ふっ、ほっ、ほおおっ、んっひいいいん…♡

ふっ、はっ、ほっおっ、くうううっ…♡

お殿様…っ♡ おちんちん、どくどく…♡

子宮の奥に、ねばっこいのが、どっぷり、たくさん…♡

ああ…っ♡ 孕み汁、注いでいただいて…っ♡

最高の気分です…♡ くっううん…♡

はっあ、はあ…♡ たっぷり、ごくごく…♡

おっぱいも、飲んでいただけ…♡

もう、幸せいっぱいでございます…♡

ふふふ…♡

お殿様…♡ 大好きです…♡

愛しております…♡

どうか、永遠に…♡ あなたのお側に、仕えさせてくださいませ…♡

白雪は、必ずや…あなたを永久（とわ）に、

お守りしてさしあげますからね…♡

ふふふふふ…♡ ちゅっ♡」

● 第17章

◆ 1

艶「お殿様♡ 朝だよ♡

さあさあさあ♡

もうおつきする時間なんだから、お布団から出てきてちょうだい♡

今日も艶美と、いっぱい楽しいことして遊ぶ約束でしょ？

昨日もすんごくお疲れで、まだまだ眠ってたいののはわかるけどお…。

お布団の中にいたら、私と楽しいことできないよ？

ほうら、だから早く起きて、お殿様♡

あなたの艶美がここで待ってるからね♡」

白「はあい、お殿様♡ 起床の時間がやってまいりましたよ♡

さあ、お布団から出てきてくださいませ♡

あたたかいお布団もいいですけど、もっともっとあたたかい、

この白雪が、あなたのことを抱きしめてさしあげますから♡

今日も私といっぱい遊びましょう？

気持ち良くて、ぽかぽかして、笑顔になっちゃう遊び…♡

幸せたっぷりの一日を、共に過ごしましょうね、お殿様…♡」

艶「起きてください、お殿様♡」

白「起きてください、お殿様♡」

艶「ほうら、お殿様♡ 朝ですよ♡

早く起きて♡ お布団なんか、蹴っ飛ばしていいからさ♡

早く出てこないと、すねちゃうぞ?」

白「あんまり長く眠っていたら、大事な約束に遅れてしまいますよ♡

大丈夫です♡ 私たち二人が、あなたをたっぷり温めてあげますから♡

さあ、お殿様…♡」

艶「私たちのところへ、来てください♡」

白「私たちのところへ、来てください♡」

艶「ほうら、お殿様…♡」

白「起きてくださあい…♡」

艶「早く起きて、こっちに来て…♡」

おいしいおいしい、お殿様専用の朝ご飯…♡

あったか母乳が待ってるよお…♡」

白「さあ、お布団から飛び出して、あったかぽかぽか乳布団へと映ってきてください♡ 美味しい母乳、飲ませてさしあげますから♡」

艶「早くおっぱい飲みに来て、お殿様あ…♡」

白「早くおっぱい飲みに来て、お殿様あ…♡」

艶「んふふ…♡

もうすっかりおねむだねえ、お殿様♡

それじゃあ今日は、もうおやすみしちゃおっか♡

ほら、お布団もぐって、目え閉じて、ゆっくり息をしてえ…♡

私が側にいてあげるからねえ…♡

優しくぎゅって抱きしめて、あったかくしててあげるからねえ…♡

うん、今日も一日お疲れさま♡

おやすみなさい、お殿様♡

また明日、一緒に楽しく遊ぼうねえ…♡　ちゅっ♡

白「さあ、お殿様♡ そろそろお休みの時間ですよ♡

まだまだ遊び足りないですか？

お気持ちはわかりますが、いけません♡

夜にはぐっすり眠るのも、お殿様の大事な務めですよ♡

しっかり休んで、体力を回復させれば…明日にはまた、

たっぷりと遊ぶことができるのですからね♡

さあ、私も一緒に眠ってさしあげますから、お布団へどうぞ♡

はあい…♡ おやすみなさい、お殿様…♡

ふふふふふ…♡ ちゅっ♡」

艶「お殿様♡ こっちこっち♡

こっちに来て、一緒に寝よ？」

白「もうお休みの時間ですよ♡ さあ、お布団へ来てください♡」

艶「今日はみんなで一緒に眠る日だからね♡

私たちに抱きしめられながら、ぐーぐーしようね♡」

白「温かいお布団の中で、さらにあたたかい、

私たちの身体に包まれて…♡

心も体も幸せいっぱいになりながら、おねんねしましょうね♡」

艶「はい、お殿様♡ おやすみなさい♡ ちゅっ♡」

白「はい、お殿様♡ おやすみなさい♡ ちゅっ♡」

艶「はあい、お殿様…♡ あ〜ん…♡」

白「母乳たくさん、ごくごく飲みましょうね…♡」

艶「んふふ♡ お殿様、おっぱい、おいしい？

「うん、うんお…♡」

白「よしよし、よしよし…♡

これだけ美味しいおっぱい、たくさん飲めば…♡

今夜もぐっすり眠れますよね…♡」

艶「美味しい母乳で、お腹いっぱいにして…♡

幸せいっぱいなおっぱい枕で、おねんねしようねえ…♡」

白「はあい、はあい…♡ お殿様あ…♡

お休みなさい…♡」

艶「ちゅっ♡」

白「ちゅっ♡」

艶「さあ、お殿様♡ お出かけの準備はできたかな？

今日もお殿様にとって、とっても大事な一日が始まるからね♡

いいことも、嫌なことも…、

いろんなことがいっぱい起きるかも知れないけど、大丈夫♡

ここに帰ってきさえすれば、私が待ってるからね♡

帰ってきたら、いっぱい甘やかしてあげる♡

お殿様の大好きなもの、たくさんあげちゃうからね♡

がんばってきてね、お殿様♡ チュっ♡

いってらっしゃい♡ んふふふふ♡「♡」

白「はい、お殿様♡ こちらで準備は完了ですね？

お忘れ物はありませんか？

もう一度、改めて確認してもよろしいのですよ？

大丈夫だと言うのなら、出発いたしましょうか♡

今日も一日が始まります♡

普通の日でも、大事な日でも、心がけは変わりません♡

どんなに辛いことがあっても、私たちは必ずや、

あなたの帰宅を待っておりますね♡

帰ってきたら、また、二人一緒に楽しく遊んで、

二人一緒に、あたたかい布団で眠りましょう♡

それでは、お殿様♡ チュっ♡

艶「大丈夫？ お殿様？ もう出発する時間だよ？

忘れ物とかあったりしない？」

白「お出かけしてから、忘れているのに気付いては、

もう遅いかもしれませんからね♡

今のうちに、しっかりと確認してくださいね♡」

艶「平気なの？ それなら、準備は完了だね♡

よかったね、お殿様♡」

白「それでは、出発いたしましょう。

今日も大変な一日が始まります♡

ですが、安心なさってくださいね♡」

艶「ここに帰ってくれば、私たちが絶対絶対待ってるからね♡」

白「はい♡ あなたのお帰り、心待ちにしております♡

それでは…♡」

艶「いってらっしゃい、お殿様♡ チュッ♡」

白「いってらっしゃい、お殿様♡ チュッ♡」

艶「あは♡ お殿様…♡」

白「ふふ♡ お殿様…♡」

艶「おっぱいちゅうちゅうしてくれるのは、嬉しいけど…♡

もう、お出かけする時間だよ?」

白「続きは帰ってきてからにしましょうね♡

大丈夫♡ 私たちは、けしていなくなったりしませんから♡」

艶「そうだよ♡

お殿様がお出かけしてる間に、お殿様のために、

母乳いっぱい溜めておくからね…♡」

白「帰ってきたらまた、お腹いっぱいになるまで、

たっぷりちゅうちゅう、ぐぐぐさせてあげますから…♡「♡

艶「はい、おっぱいごちそうさまでした、お殿様♡

白「それでは、いってらっしゃいませ、お殿様♡

お帰り、お待ちしております♡ ふふふ…♡「♡

艶「ちゅっ♡ ちゅっ♡

白「ちゅっ♡ ちゅっ♡